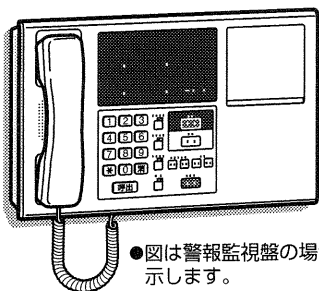
National

マンションHA Vシリーズ

# 警報監視盤

## 共用部システム

## 施工説明書

●図は警報監視盤の場合を示します。

### 施工される前に

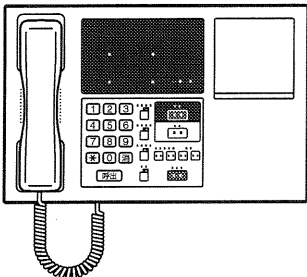
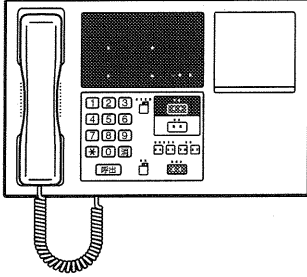
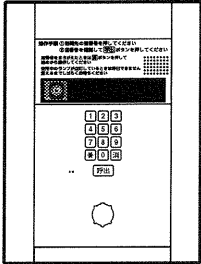
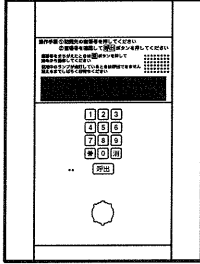
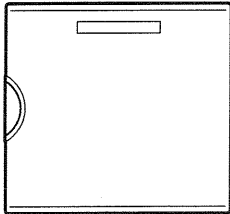
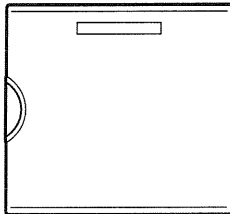
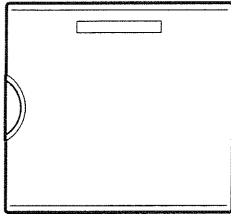
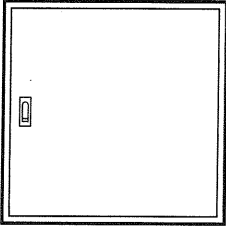
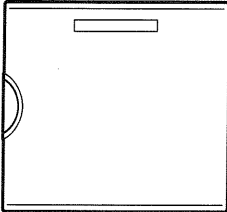
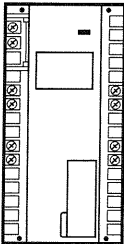
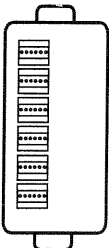
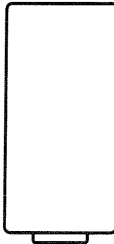
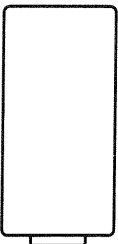
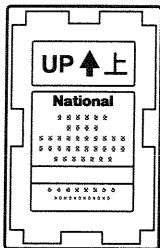
- ●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- ●施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- ●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書、施工説明書および設定マニュアルなどをお渡しください。
- ●保証書に必ず必要事項を記入してください。
- ●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。
- ●テンキーボタンでの設定については、設定マニュアルを参照してください。

| 品番 | 品名 |
|---|---|
| SHV4012 | Vシリーズ用 警報監視盤(2通話仕様) |
| SHV4022 | Vシリーズ用 警報監視盤(2通話仕様)(データ通信ポート付) |
| SHV4032 | Vシリーズ用 警報監視盤(2通話仕様)(マンションゲートウェイ対応タイプ) |
| SHV40101 | Vシリーズ用 副警報監視盤 |
| XSHV5111S | Vシリーズ用 カメラ付ロビーインターホン(ATシステム用)(10キー、逆マスターキー解錠機能付)(マットシルバー) |
| XSHV5111Y | Vシリーズ用 カメラ付ロビーインターホン(ATシステム用)(10キー、逆マスターキー解錠機能付)(マットグレイッシュブロンズ) |
| XSHV5112S | Vシリーズ用 カメラ付ロビーインターホン(ATシステム用)(10キー、逆マスターキー解錠機能付)(ステンレスヘアライン) |
| XSHV5011S | Vシリーズ用 ロビーインターホン(Aシステム用)(10キー、逆マスターキー解錠機能付)(マットシルバー) |
| XSHV5011Y | Vシリーズ用 ロビーインターホン(Aシステム用)(10キー、逆マスターキー解錠機能付)(マットグレイッシュブロンズ) |
| XSHV5012S | Vシリーズ用 ロビーインターホン(Aシステム用)(10キー、逆マスターキー解錠機能付)(ステンレスヘアライン) |
| SHV2311 | Vシリーズ用 通話・映像制御盤(1通話・1映像用) |
| SHV23[illegible] | Vシリーズ用 通話・映像制御盤(2通話・2映像用) |

| 品番 | 品名 |
|---|---|
| SHV2921 | Vシリーズ用 カメラアダプター(専用カメラ用) |
| SHV4211 | Vシリーズ用 インターフェース盤(RS232C用) |
| SHV4221 | Vシリーズ用 インターフェース盤(RS422用) |
| SHV4911 | Vシリーズ用 信号増幅器(警報監視盤用)(2系統) |
| SHV2441 | Vシリーズ用 映像増幅器(4出力用)(1通話・1映像用) |
| SHV2442 | Vシリーズ用 映像増幅器(4出力用)(2通話・2映像用) |
| SHV2411 | Vシリーズ用 映像増幅器(1出力用)(1通話・1映像用) |
| SHV2223 | Vシリーズ用 2分配器(1通話・1映像用)(パイプシャフト収納型) |
| SHV2224 | Vシリーズ用 2分配器(2通話・2映像用)(パイプシャフト収納型) |
| SHV2143 | Vシリーズ用 4分岐器(1通話・1映像用)(パイプシャフト収納型) |
| SHV2123 | Vシリーズ用 2分岐器(1通話・1映像用)(パイプシャフト収納型) |
| SHV2124 | Vシリーズ用 2分岐器(2通話・2映像用)(パイプシャフト収納型) |
| SHV2113 | Vシリーズ用 1分岐器(1通話・1映像用)(パイプシャフト収納型) |
| SHV2114 | Vシリーズ用 1分岐器(2通話・2映像用)(パイプシャフト収納型) |
| SHV2111 | Vシリーズ用 1分岐器(1通話・1映像用)(ボックス収納型) |
| SHV2112 | Vシリーズ用 1分岐器(2通話・2映像用)(ボックス収納型) |

# 安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**⚠警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

**⚠注意** 人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容

## ⚠警告

| | |
|---|---|
| 分解禁止 | **機器を分解したり、修理・改造はしない。**<br>感電・故障の原因となります。 |
| 必ず守る | **電源(AC100V)を切った状態で施工する。**<br>活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。 |
| | **AC100V専用です。接続前に入力電圧の確認をする。**<br>AC100V以外の電圧では発火・発熱の原因となります。 |
| | **AC100V用電源端子は確実に差し込む。**<br>差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。 |
| | **ヒューズ交換は電源(AC100V)および電源スイッチを切った状態で行う。**<br>電源を切らないと、感電の原因となります。 |
| 禁止 | **水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(給湯室など)には設置しない。**<br>感電・故障の原因となります。 |
| | **小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。**<br>発火・発煙の原因となります。 |
| ぬれ手禁止 | **ぬれた手でAC100V機器をさわったり、水をかけたりしない。**<br>感電・故障の原因となります。 |

## ⚠注意

| | |
|---|---|
|  アース線接続 | **アースの接続は確実に行う。**<br>使用時や漏電のときに感電するおそれがあります。 |

# もくじ

# 構成機器と付属品

| 警報監視盤（SHV4012・SHV4022・SHV4032） | 付属品 |
| --- | --- |
| | ●取付用木ネジ(M5×30)…4本<br>●ヒューズ(2A)…………2コ<br>●ヒューズ(3A)…………1コ<br>●取扱説明書……………1冊<br>●施工説明書(本書) ……1冊<br>●設定マニュアル ………1冊<br>●お客様ご相談窓口一覧表…1枚<br>●異常時の点検・処置一覧表…1枚<br>●保証書 …………………1枚 |

| 副警報監視盤（SHV40101） | 付属品 |
| --- | --- |
| | ●取付用木ネジ<br>(M5×30) ……………4本<br>●ヒューズ(1A)…………1コ<br>●共用部警戒区域名称<br>一覧表 …………………1枚 |

| カメラ付ロビーインターホン（XSHV5111S・XSHV5111Y・XSHV5112S） | 付属品 |
| --- | --- |
| | ●取付用なべ小ネジ<br>(M5×40) ……………4本<br>●取付用なべ小ネジ<br>(M5×20) ……………2本<br>●逆マスターキー接続用<br>リード線(2P)………1本<br>(取付金具内部に貼付) |

| ロビーインターホン（XSHV5011S・XSHV5011Y・XSHV5012S） | 付属品 |
| --- | --- |
| | ●取付用なべ小ネジ<br>(M5×40) ……………4本<br>●取付用なべ小ネジ<br>(M5×20) ……………2本<br>●逆マスターキー接続用<br>リード線(2P)………1本<br>(取付金具内部に貼付) |

| 通話・映像制御盤（SHV2311・SHV2312） | 付属品 |
| --- | --- |
| | ●ヒューズ(1.5A)………1コ<br>●施工らくらくシート …1枚<br>●露出ノックアウト用<br>ゴムブッシュ …………4枚<br>●取付ネジ(M5×48)… 4本 |

| カメラアダプター（SHV2921） | 付属品 |
| --- | --- |
| | ●ヒューズ(1.5A)………1コ<br>●施工らくらくシート …1枚<br>●露出ノックアウト用<br>ゴムブッシュ …………4枚<br>●取付ネジ(M5×48)… 4本 |

| インターフェース盤（SHV4211・SHV4221） | 付属品 |
| --- | --- |
| | ●ヒューズ(1A)…………1コ<br>●施工らくらくシート …1枚<br>●露出ノックアウト用<br>ゴムブッシュ …………4枚<br>●取付ネジ(M5×48)… 4本 |

| 信号増幅器<br>(SHV4911) | 付属品 |
|---|---|
| | ●ヒューズ(2A)…………2コ |

| 映像増幅器(4出力用)<br>(SHV2441・SHV2442) | 付属品 |
|---|---|
| | ●ヒューズ(1.5A)………1コ<br>●施工らくらくシート …1枚<br>●露出ノックアウト用<br>ゴムブッシュ …………4枚<br>●取付ネジ(M5×48)… 4本 |

| 映像増幅器(1出力用)<br>(SHV2411) | 付属品 |
|---|---|
| | ―――― |

| 2分配器(パイプシャフト収納型)<br>(SHV2223・SHV2224) | 付属品 |
|---|---|
| | ●取付用木ネジ<br>(M4×20)……………2本 |

| 4分岐器(パイプシャフト収納型)<br>(SHV2143) | 付属品 |
|---|---|
| | ●取付用木ネジ<br>(M4×20)……………2本 |

| 2分岐器(パイプシャフト収納型)<br>(SHV2123・SHV2124) | 付属品 |
|---|---|
| | ●取付用木ネジ<br>(M4×20)……………2本 |

| 1分岐器(パイプシャフト収納型)<br>(SHV2113・SHV2114) | 付属品 |
|---|---|
| | ●取付用木ネジ<br>(M4×20)……………2本 |

| 1分岐器(ボックス収納型)<br>(SHV2111・SHV2112) | 付属品 |
|---|---|
| | ―――― |

# 施工上のご注意

●カメラ付ロビーインターホン・ロビーインターホン以外の商品は 屋内専用 です。
屋外・屋側には設置しないでください。
●施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。回路のショートや故障の原因となります。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●接続方法に示す機器以外の機器を接続する場合には、当社へ相談してください。
不適切な接続は誤動作・故障の原因となります。
●端子表示のとおりに配線してください。配線を間違えるとシステムが動作しません。
●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●50Hz地区では、カメラ付ロビーインターホン（撮像範囲）に直接蛍光灯の光が入るとチラツキが出ることがあります。蛍光灯の光を遮るか、インバータ蛍光灯を使用してください。
●AM放送の送信所近く（強電界地域）では、電波の影響を受け通話中に音声が混入することがあります。ロビーインターホンの通話端子にラインフィルタ（品名：LFT/品番：WQT30312267）（別売）を取り付けてください。
●通話・映像線は圧着せずに必ず分岐器を使用してください。
●分岐器の分岐側端子は住宅情報盤専用端子です。（分岐器は接続できません。）
●通話・映像制御盤の未使用の映像入力端子（LM1、LM2）の終端スイッチは「ON」側、使用する映像入力端子（LM1、LM2）の終端スイッチは「OFF」側に設定してください。

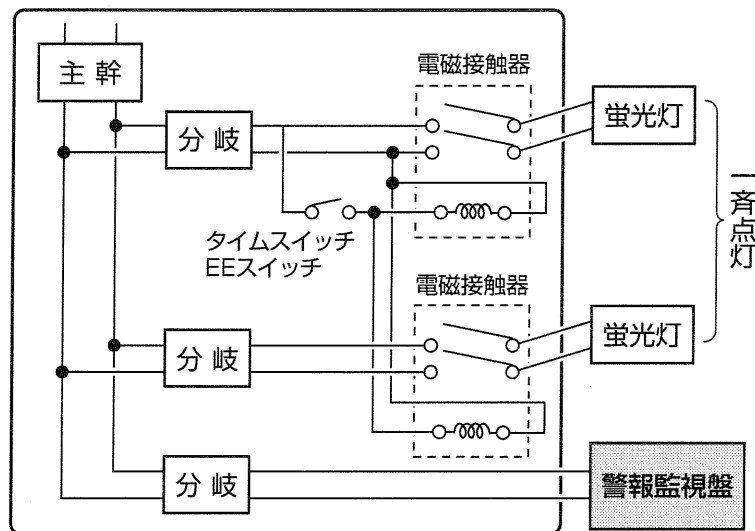
**注** 結線終了後、断線や接続不十分な部分がないか必ず確認してください。特に配線の途中で電線接続する場合は、ハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。また、配線はできるだけ接続個所を少なくしてください。

（電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤動作や動作しないなどの原因となります。）

## ■次のような場所には設置しないでください。（誤動作や故障の原因となります。）

●直射日光の当たる場所
●水滴、蒸気、ホコリなどがかかる場所
●周囲に操作上支障となる障害物のある場所
●衝撃、振動などの影響を受ける場所
●常に人がいなくて様子を確かめられない場所
●薬品などのガスが発生する場所
●強電界やノイズの発生する場所

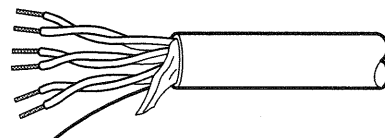
## 照明機器を一斉点灯させる場合のご注意

警報監視盤と同一の分電盤より電源が供給されている照明機器を、タイマーやEEスイッチなどにより一斉点灯すると、照明機器への突入電流の影響で警報監視盤本体のトランスがうなったり、電源ヒューズが切れてしまうことがあります。
このような場合は、警報監視盤の異常ではなく、照明機器への突入電流を抑える必要がありますので、当社までご相談ください。

## 使用電線についてのご注意

●日本電線工業規格（JCS5402）に準じた3prまたは2pr電線を使用してください。
●導体サイズについては、φ0.9mmまたは φ1.2mmを使用してください。

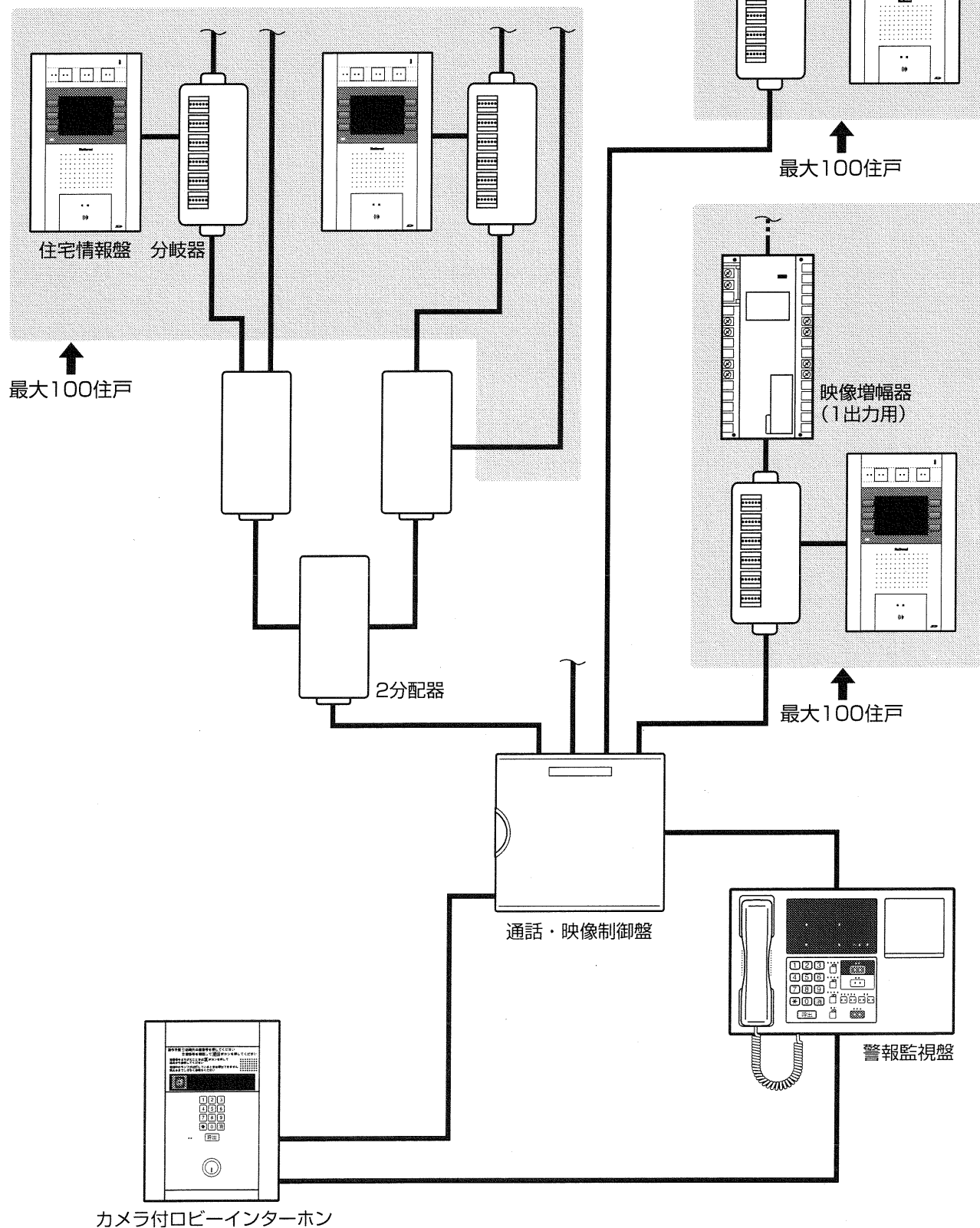
●中継端子台を使用する場合は、信号線と通話線との間に必ず１端子あけて結線してください。
●信号線・通話線に4pr以上の電線、AE線は使用できません。
●信号線、通話線、通話・映像線、映像線と電力線は30cm以上離してください。
●電線メーカーによっては、2pr線に対応できない場合があります。
詳しくは電線メーカー各社にお問い合わせください。
●導体サイズφ0.65mmは使用できません。
●カッド線は使用できません。

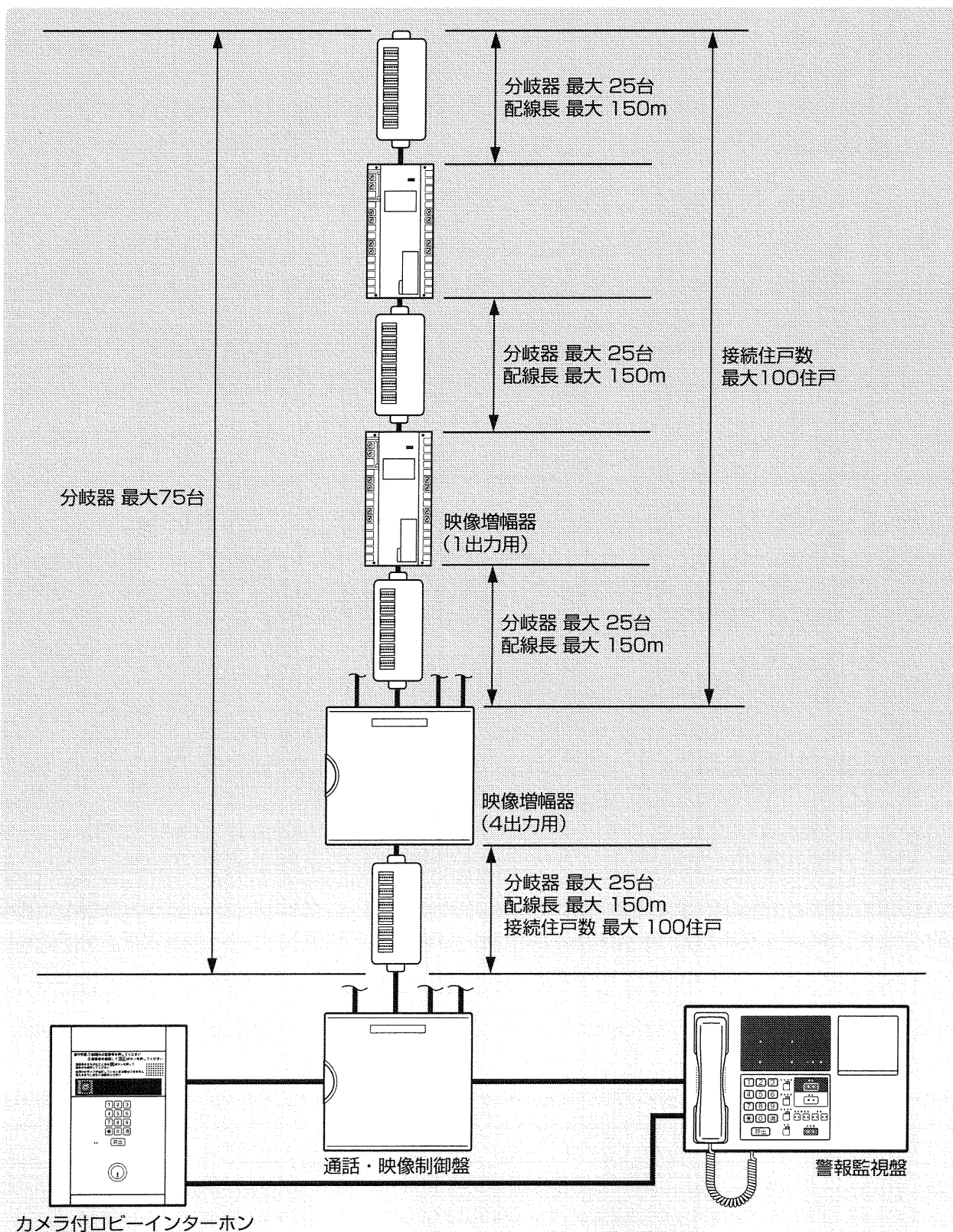
〈電線推奨メーカー〉　2006年3月現在

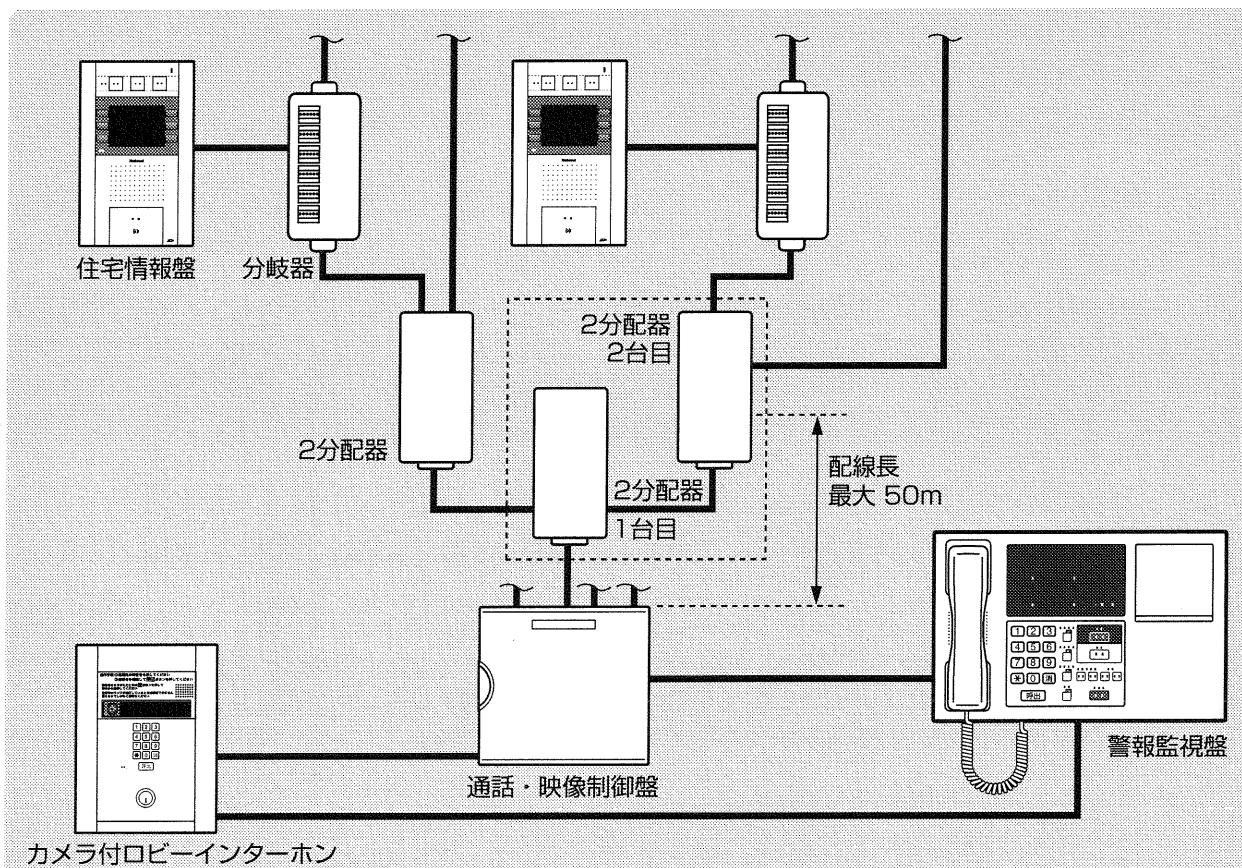
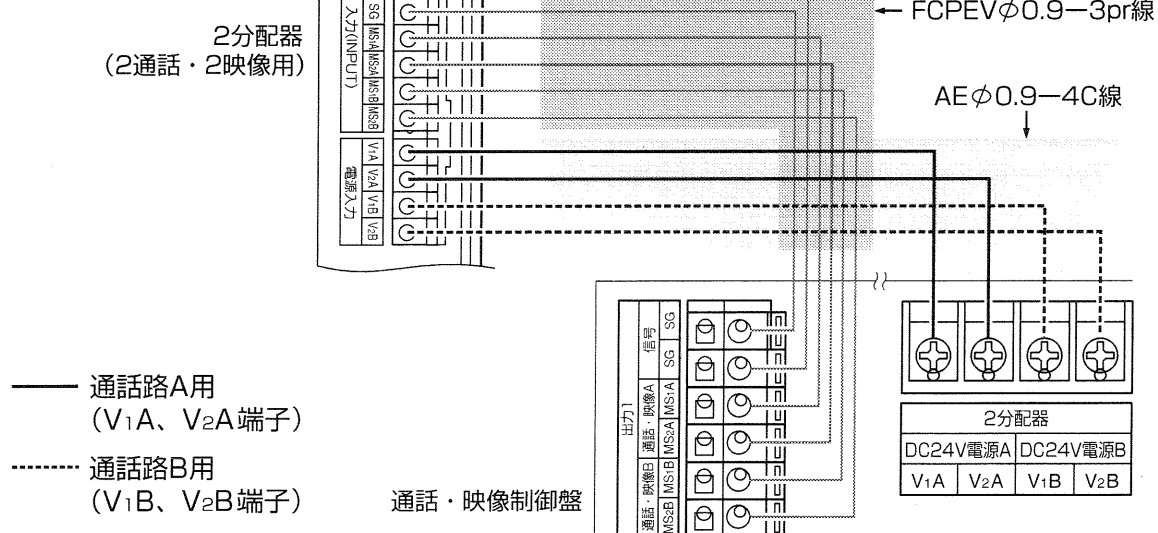
| | | | |
|---|---|---|---|
| 日本電線 | 昭和電線 | 古河電工 | 三菱電線工業 |
| 住友電工 | 日立電線 | 矢崎総業 | 伸興電線 |
| 富士電線 | 華陽電線 | フジクラ | |

●図はFCPEV線（3pr）を示します。

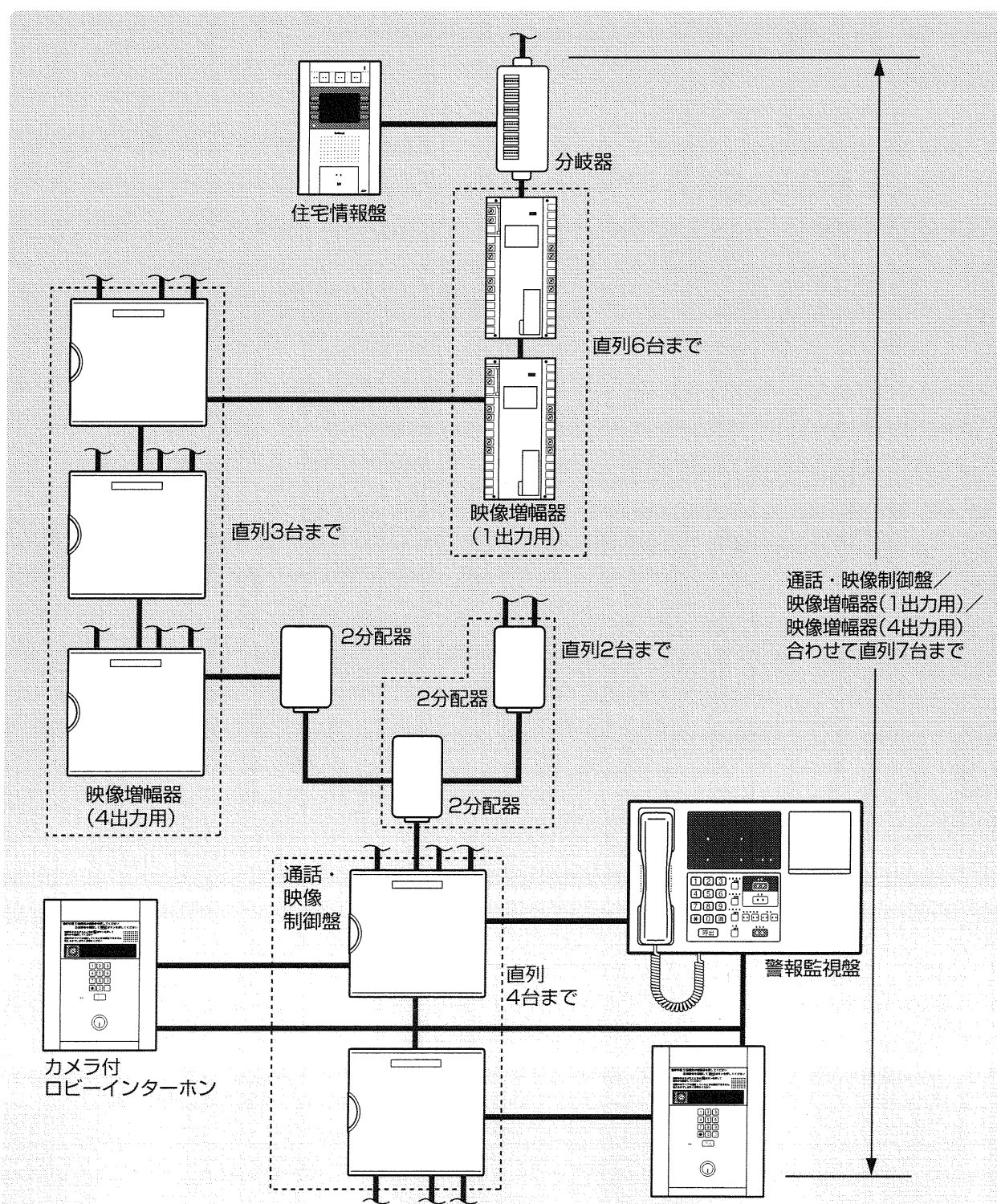
# システム設計上のご注意

## ■通話・映像制御盤1出力当たりの住戸数制限について…

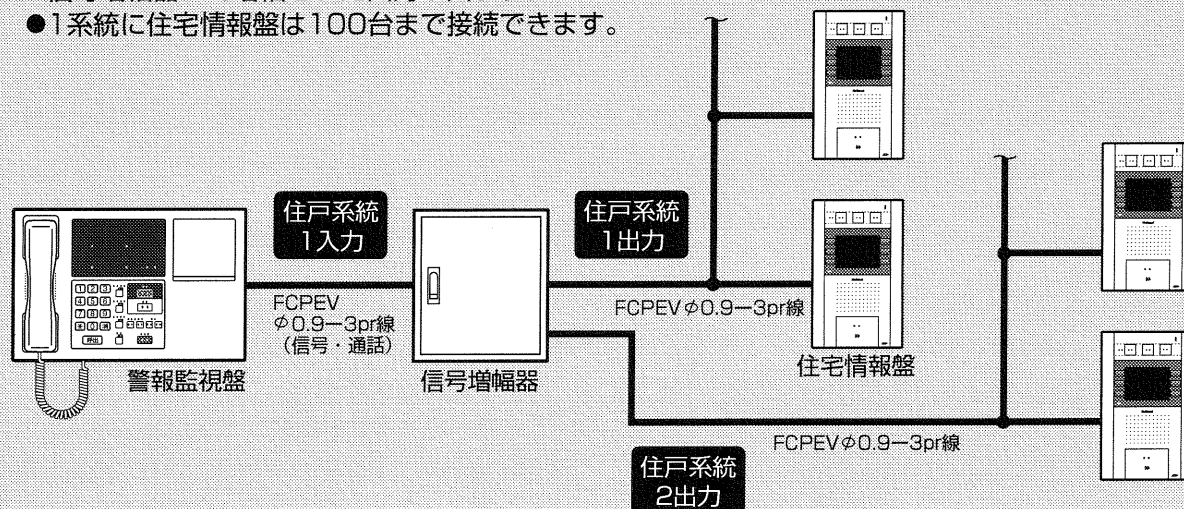
●通話・映像制御盤の1出力当たり、最大100住戸接続できます。
2分配器、映像増幅器(1出力用)を接続しても最大接続住戸数は変わりません。
※100住戸を越える住宅情報盤との接続は信号増幅器が必要です。

## ■幹線1系統当たりの分岐器台数の制限について…

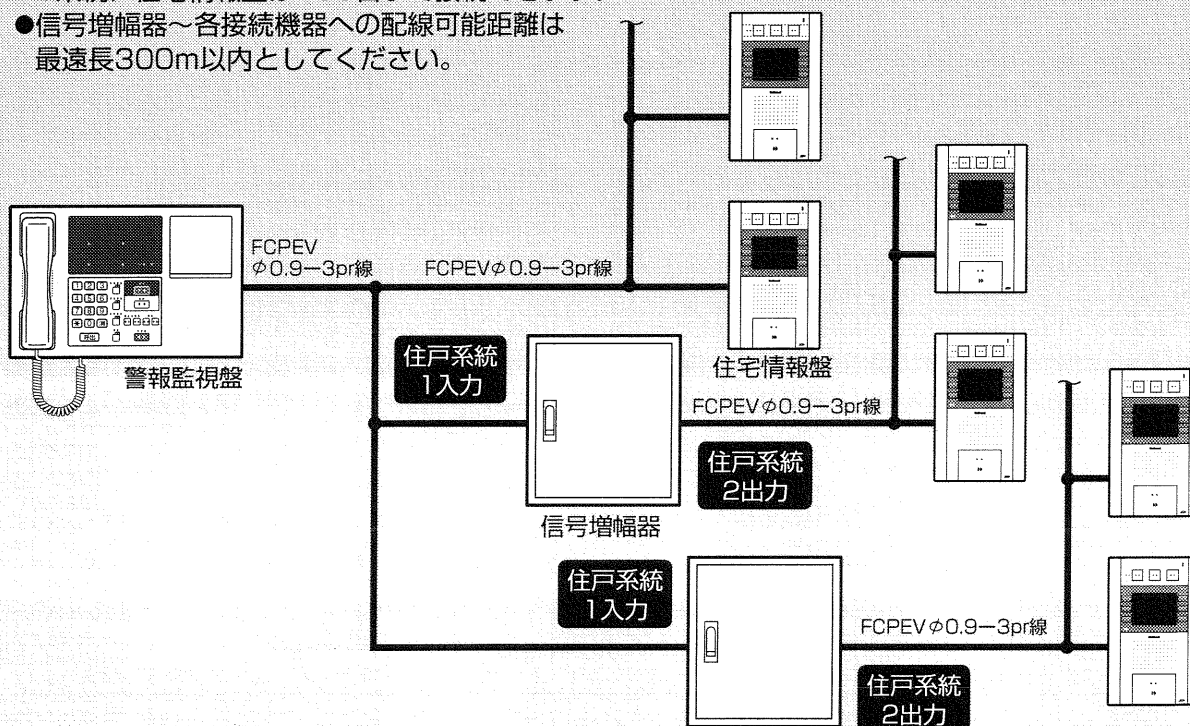
●幹線1系統当たり、最大25台まで接続できます。
映像増幅器を使用して幹線を延長する場合、通話・映像制御盤から最遠端の分岐器まで、
最大75台まで接続できます。
※100住戸を越える住宅情報盤との接続は信号増幅器が必要です。

## ■2分配器の使用についてのご注意

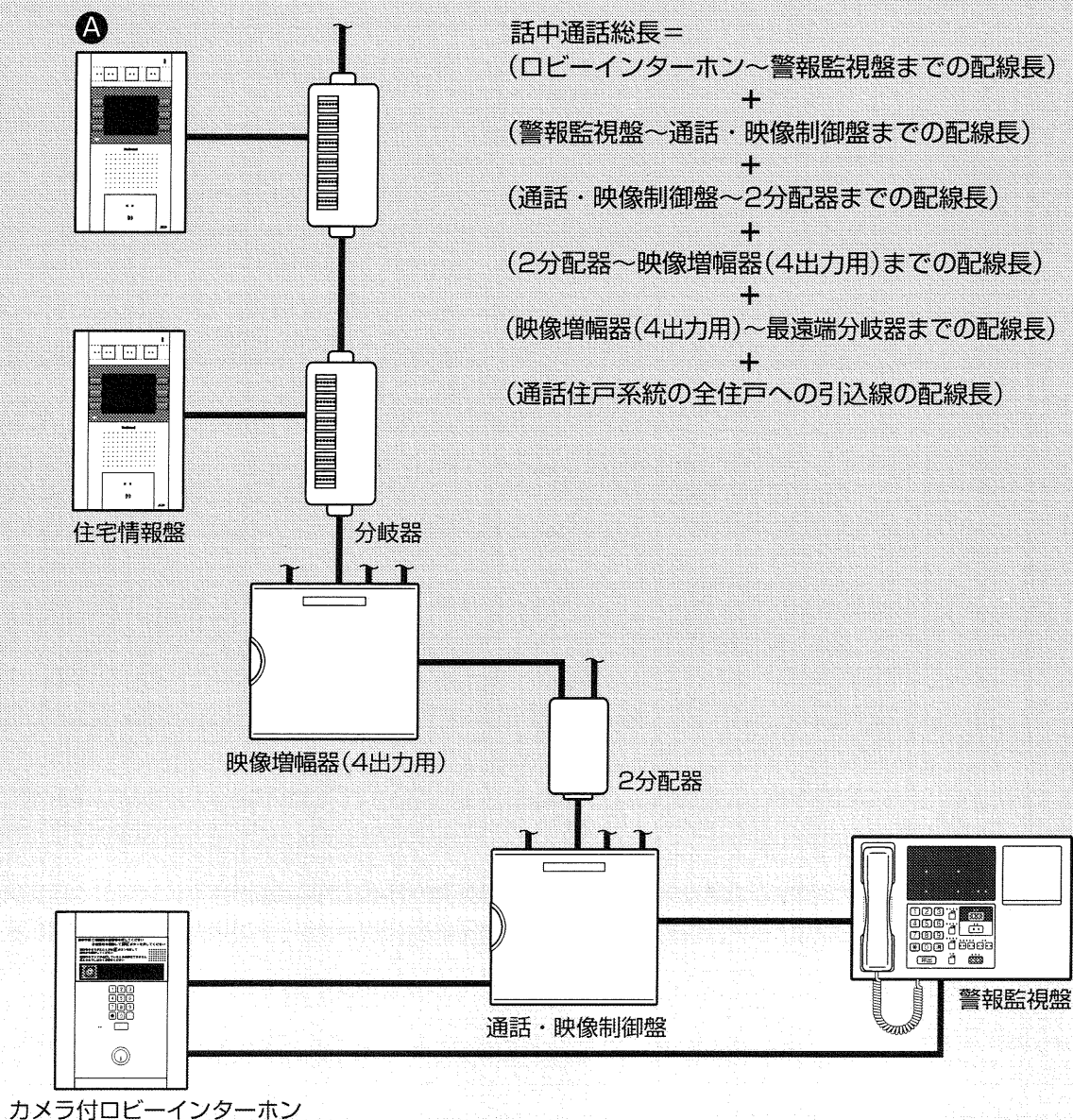
- 2分配器は幹線1系統につき直列に2台まで接続できます。
- 2分配器への電源は、通話・映像制御盤のDC24V出力($V_1$、$V_2$端子)と接続してください。
  また、2通話路を使用する場合、通話・映像制御盤のDC24V出力($V_1$、$V_2$端子)には、通話路A用($V_1$A、$V_2$A端子)と通話路B用($V_1$B、$V_2$B端子)があります。接続を間違えると、漏話の原因となります。
- 2分配器(1通話・1映像用)の場合は、電源入力、電源送り端子がありますので、必要に応じて使用してください。ただし、2分配器(2通話・2映像用)には、電源送り端子はありません。

## ■通話・映像制御盤／映像増幅器／2分配器の接続台数制限について…

- ●通話・映像制御盤は1系統につき直列に4台まで接続できます。
- ●映像増幅器（1出力用）は1系統につき直列に6台まで接続できます。
- ●映像増幅器（4出力用）は1系統につき直列に3台まで接続できます。
- ●通話・映像制御盤／映像増幅器（1出力用）／映像増幅器（4出力用）は1系統につき直列に合わせて7台まで接続できます。
- ●2分配器は1系統につき直列に2台まで接続できます。

## ■信号増幅器を接続する場合の台数制限ついて…

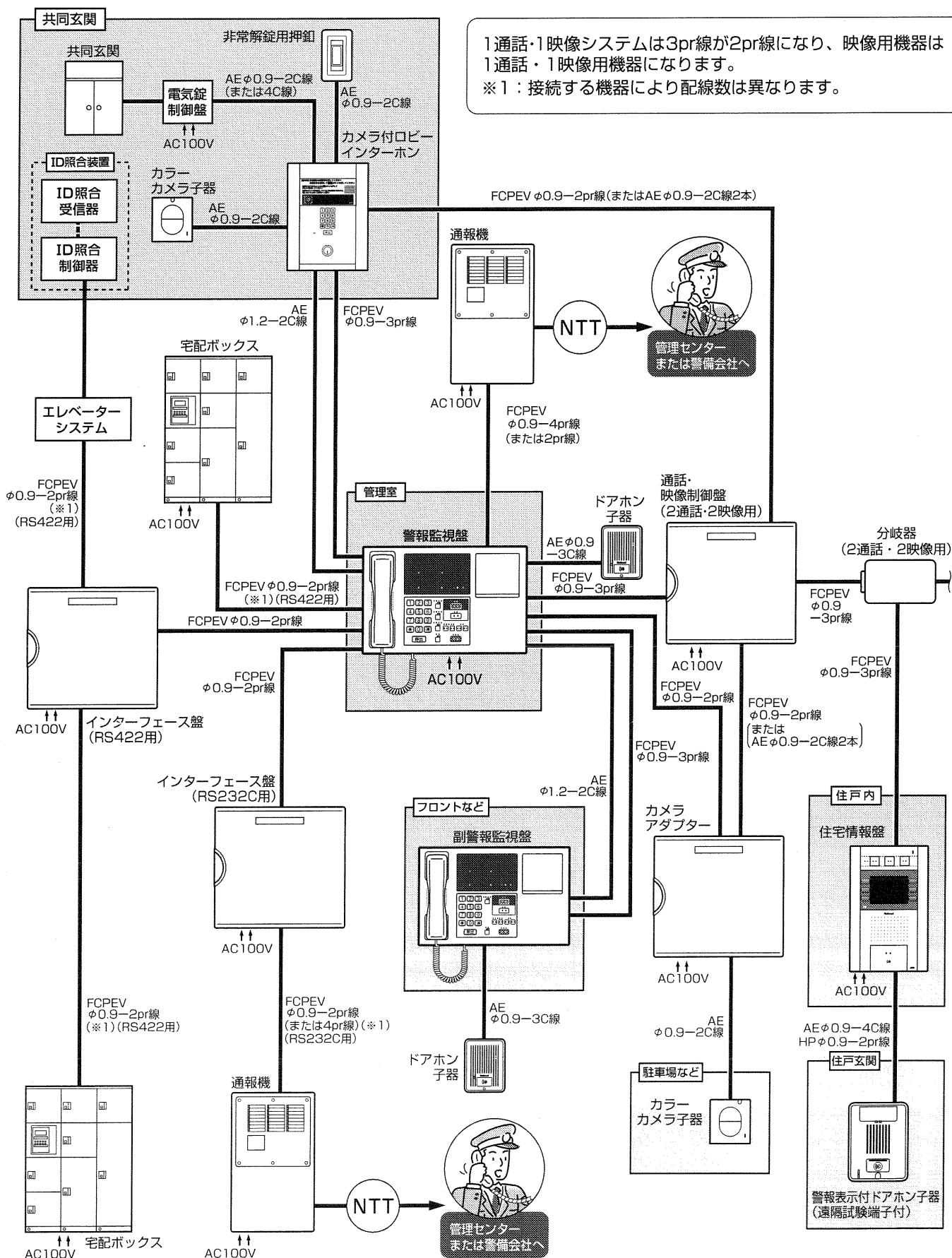
### 信号増幅器を1台使用する場合

- 住戸系統1出力には警報監視盤の出力、住戸系統2出力には信号増幅器にて増幅された出力が出ます。
- 1系統に住宅情報盤は100台まで接続できます。

### 信号増幅器を複数台使用する場合

- 住戸系統1出力は使用しません。
  (住戸系統1出力には統合盤の出力、住戸系統2出力には信号増幅器にて増幅された出力が出ます。)
- 警報監視盤の出力に対して、信号増幅器は直列に2台まで接続できます。
- 1系統に住宅情報盤は100台まで接続できます。
- 信号増幅器～各接続機器への配線可能距離は最遠長300m以内としてください。

## ■総配線長の制限について…

●話中通話総長は2,000mまでです。
※話中通話総長とは、ロビーインターホン～警報監視盤～通話・映像制御盤～通話する住宅情報盤までの幹線とその幹線系統に接続される各住戸への引込線の配線長の合計です。
通話・映像制御盤、2分配器および映像増幅器(4出力用)の1出力(1系統)ごとに算出します。

# システム図

## 2通話・2映像システムの場合

1通話・1映像システムは3pr線が2pr線になり、映像用機器は1通話・1映像用機器になります。
※1：接続する機器により配線数は異なります。

# 取付方法

## 警報監視盤

**1 カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。**

**2 コネクタ付リード線と吊り下げひもをはずし、カバーとベースを分離する。**

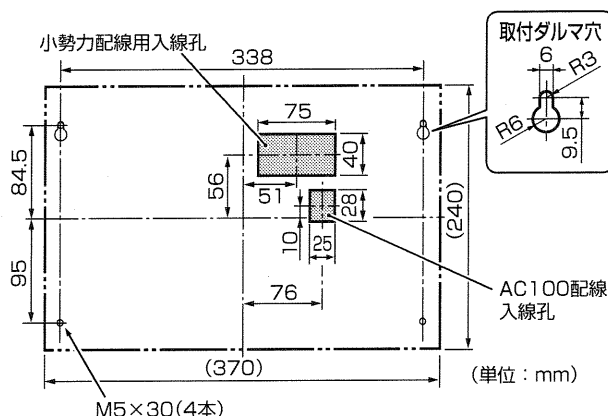
**3 壁面に右記寸法の入線孔を開け、ベースに電線を入線後、取付用木ネジ4本で壁面に固定する。**

**4 結線する。**(33〜48ページ参照)

**5 カバーのコネクタ付リード線をベースのコネクタ受けに差し込む。**

**6 吊り下げひもをベースの吊り下げひも用フックに引っ掛ける。**

**7 カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。**

**8 電源スイッチを「入」側にする。**

**⚠警告**

ヒューズ交換は電源スイッチを「切」側にした状態で行ってください。電源を切らないと、感電の原因となります。

**■電源スイッチの位置**

切　入　電源スイッチ

**■扉のあけ方**

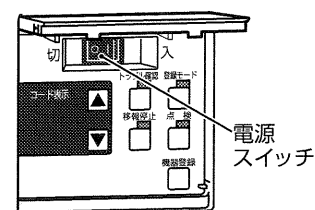
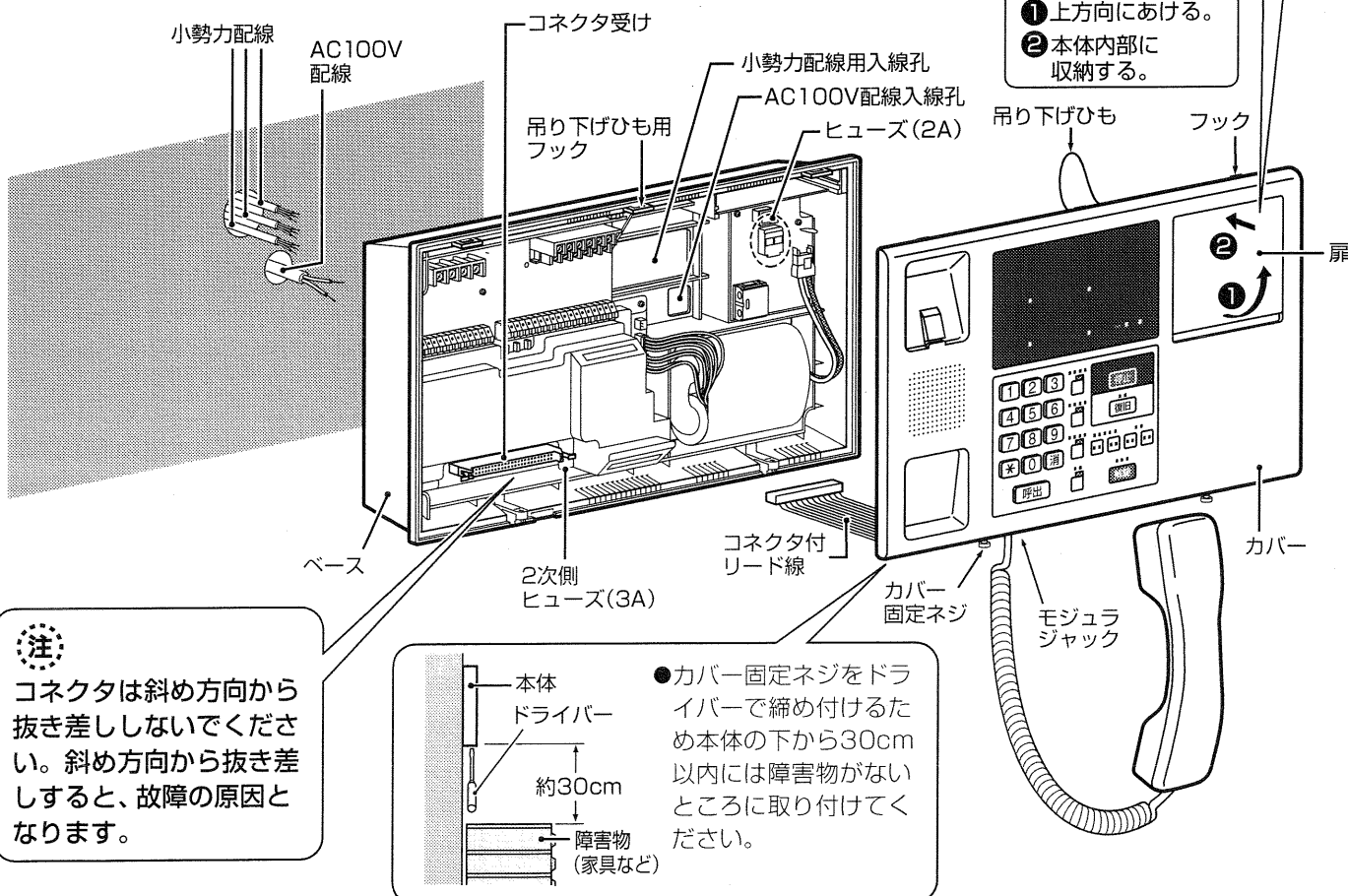
❶上方向にあける。
❷本体内部に収納する。

小勢力配線　AC100V配線　コネクタ受け　小勢力配線用入線孔　AC100V配線入線孔　吊り下げひも用フック　ヒューズ(2A)　吊り下げひも　フック　扉　ベース　2次側ヒューズ(3A)　コネクタ付リード線　カバー固定ネジ　モジュラジャック　カバー

**注**

コネクタは斜め方向から抜き差ししないでください。斜め方向から抜き差しすると、故障の原因となります。

本体　ドライバー　約30cm　障害物(家具など)

●カバー固定ネジをドライバーで締め付けるため本体の下から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。

## 副警報監視盤

1. **カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。**
2. **コネクタ付リード線と吊り下げひもをはずし、カバーとベースを分離する。**
3. **壁面に右記寸法の入線孔を開け、ベースに電線を入線後、取付用木ネジ4本で壁面に固定する。**
4. **結線する。**(33・34ページ参照)
5. **機能設定をする。**(50ページ参照)
6. **カバーのコネクタ付リード線をベースのコネクタ受けに差し込む。**
7. **吊り下げひもをベースの吊り下げひも用フックに引っ掛ける。**
8. **カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。**
9. **電源スイッチを「入」側にする。**

■電源スイッチの位置

電源スイッチ

■扉のあけ方

❶上方向にあける。

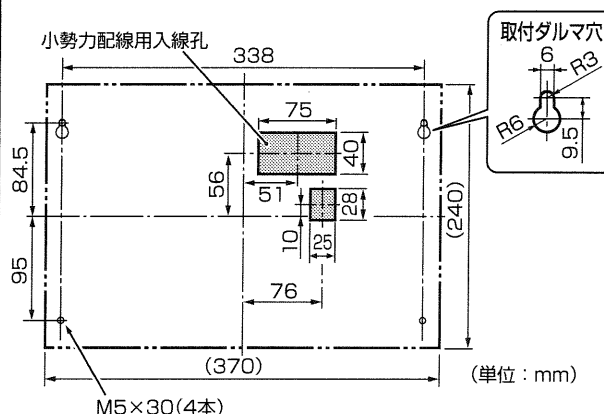
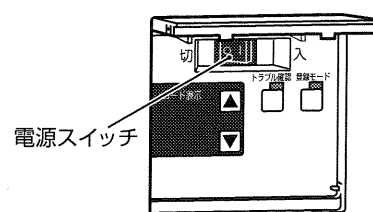
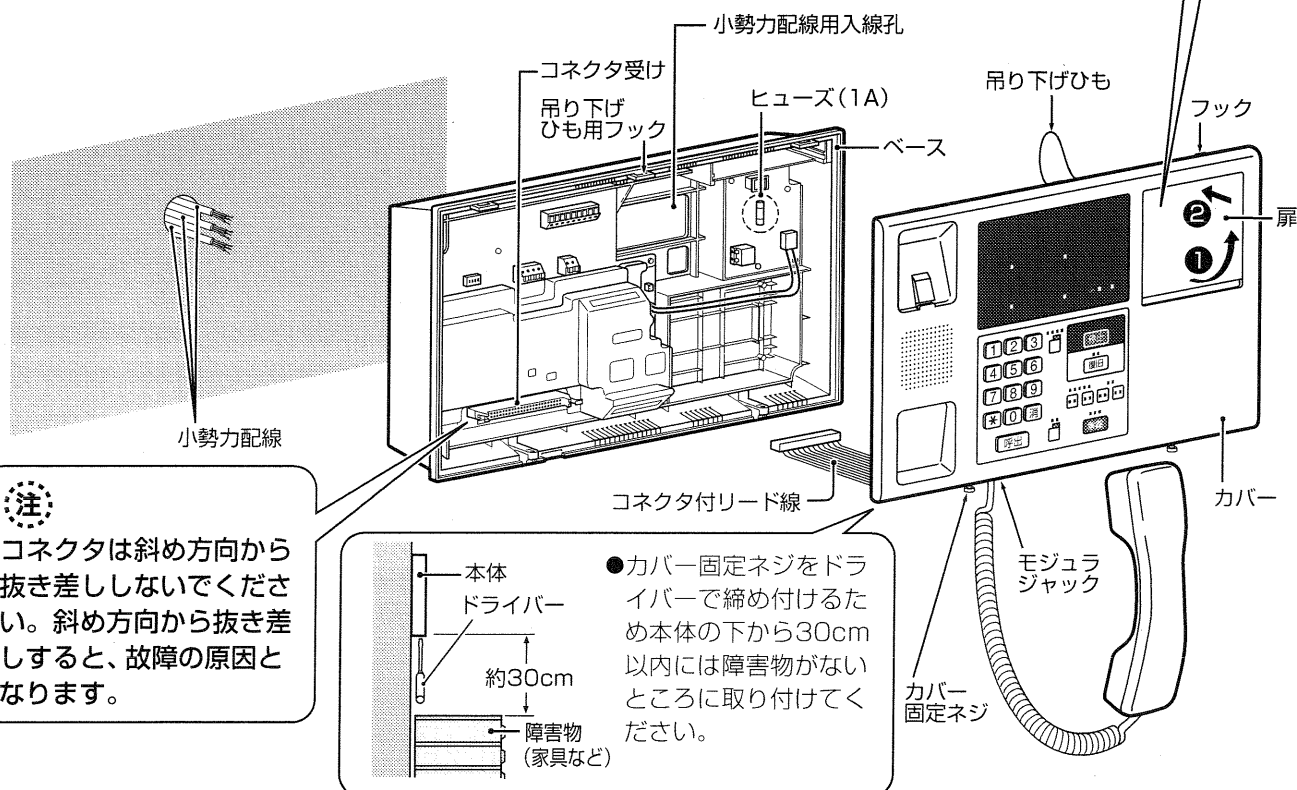
❷本体内部に収納する。

小勢力配線用入線孔 / コネクタ受け / 吊り下げひも用フック / ヒューズ(1A) / ベース / 吊り下げひも / フック / 扉 / 小勢力配線 / コネクタ付リード線 / カバー / モジュラジャック / カバー固定ネジ

**注**

コネクタは斜め方向から抜き差ししないでください。斜め方向から抜き差しすると、故障の原因となります。

本体 / ドライバー / 約30cm / 障害物(家具など)

●カバー固定ネジをドライバーで締め付けるため本体の下から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。

# カメラ付ロビーインターホン／ロビーインターホン

●埋込ボックスのアースは安全のため、D種（第3種）接地工事をしてください。（接地抵抗100Ω以下）
●直射日光や照明器具により逆光状態にならないようにカメラ付ロビーインターホンを取り付けてください。
（顔が黒く映ります。）下記の「取付方向および位置」を確認してください。
●防雨構造（JIS C 0920）になっていますが、凍結のおそれのある屋側には取り付けないでください。
●雨が直接かかる場所に設置される場合は、埋込ボックス内に水がたまらないように埋込ボックス下面に水抜用配管などを設置してください。また屋外・屋側での斜台取付はしないでください。
●施工後、壁洗いなどにより水・塩素系洗剤がかからないように注意してください。

## 取付方向および位置（カメラ付ロビーインターホンの場合）

### 取付方向

注 被写体の照度は200ルクス～300ルクスを確保してください。また、照明器具や窓、ドアに対してカメラレンズが被写体の影にならないような位置に設置してください。

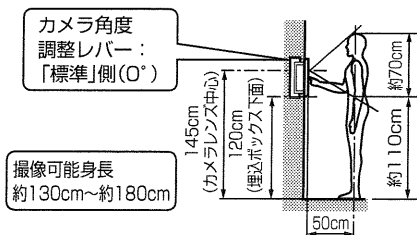
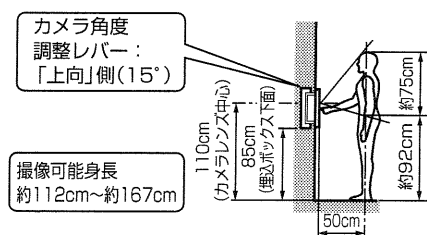
### 取付高さと撮像範囲

左右

壁面取付の場合

上下

■埋込ボックス下面を120cmに設置する場合（カメラレンズ中心145cm）

カメラ角度調整レバー：「標準」側（0°）
145cm（カメラレンズ中心）
120cm（埋込ボックス下面）
約70cm
約110cm
50cm
撮像可能身長 約130cm～約180cm

■埋込ボックス下面を85cmに設置する場合（カメラレンズ中心110cm）

斜台取付の場合

注 水平面より45°以下の傾きには取り付けないでください。

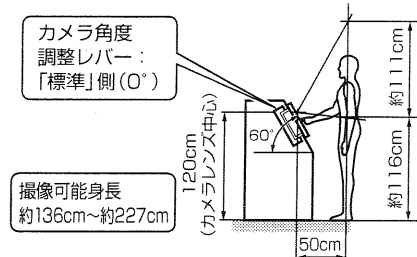
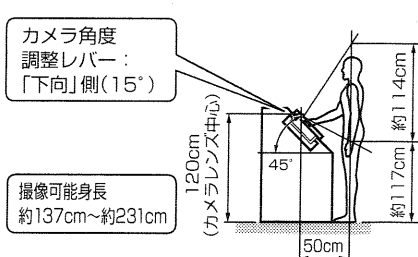
■角度60°の台に設置する場合（カメラレンズ中心120cm）

カメラ角度調整レバー：「標準」側（0°）
60°
120cm（カメラレンズ中心）
約111cm
約116cm
50cm
撮像可能身長 約136cm～約227cm

■角度45°の台に設置する場合（カメラレンズ中心120cm）

カメラ角度調整レバー：「下向」側（15°）
45°
120cm（カメラレンズ中心）
約114cm
約117cm
50cm
撮像可能身長 約137cm～約231cm

### カメラ角度調整方法

●カメラ角度調整レバーで3段階に調整することができます。
「上向」側：約15°
「標準」側：0°
「下向」側：約−15°

## カメラ付ロビーインターホン／ロビーインターホンの取付方法

**1 埋込ボックス下面のノックアウトを開ける。**

**2 埋込ボックスを取り付ける。**
（「壁面穴あけ加工寸法」参照）

**3 埋込ボックスに取付金具を取り付ける。**
●このとき左右の傾きがないように調整してください。

**4 取付金具端子台の下側より電線を通し、結線する。**（33～39・47ページ参照）

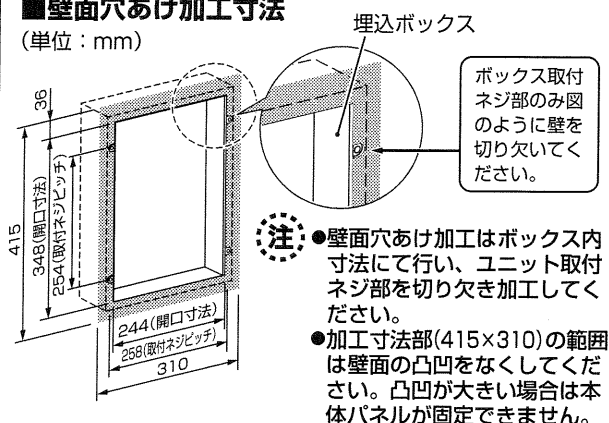
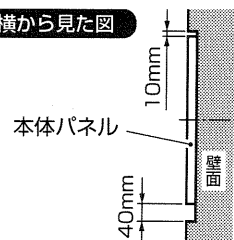
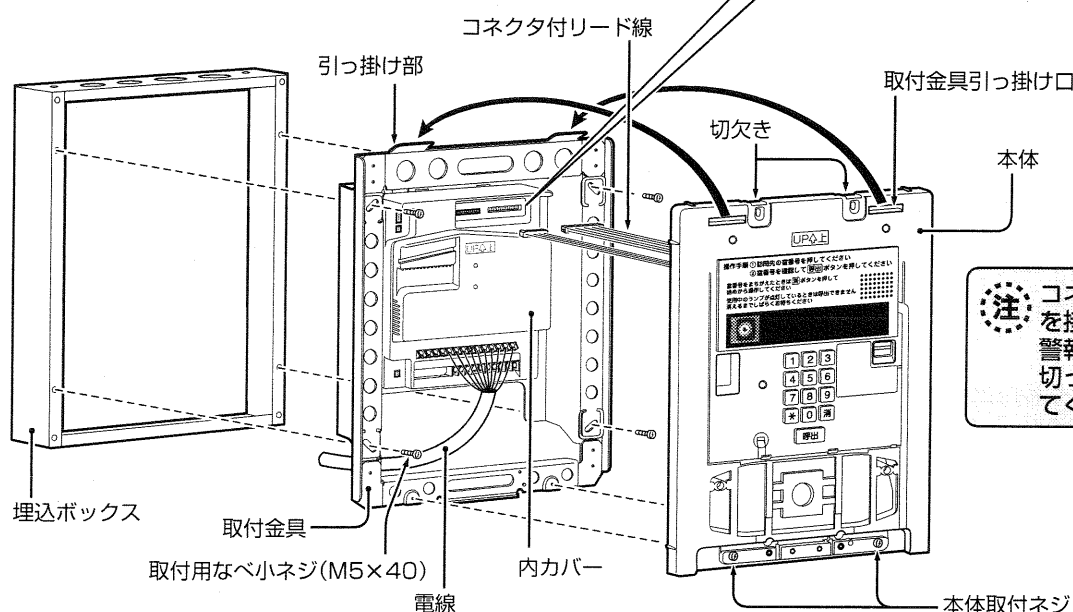
**5 本体接続用リード線を接続する。**
注 リード線をはさみ込まないように、内カバーの両サイドを通して、フックに固定してください。

**6 取付金具上部の引っ掛け部に本体の取付金具引っ掛け口を引っ掛け、固定する。**

**7 カメラの角度を調節する。**
（17ページ「カメラ角度調整方法」参照）

**8 機能設定をする。**（51ページ参照）

**9 本体を取付金具から取りはずす。**

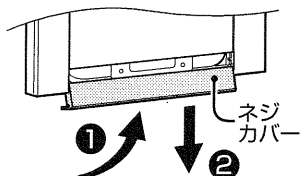
**10 ブランクカバーまたは逆マスターキースイッチなどを取り付け、本体（パネル付）を取付金具に取り付ける。**（19～24ページ参照）

●詳しくはブランクカバーの取付説明書を参照してください。
●ブランクカバーは、機能設定・カメラ角度調整をしてから取り付けてください。
ブランクカバー取り付け後、パネルだけをはずして、機能設定・カメラ角度調整をすることはできません。

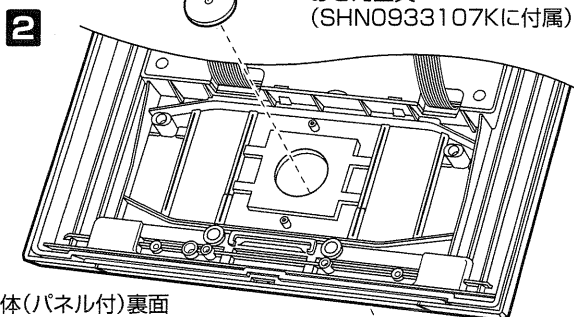
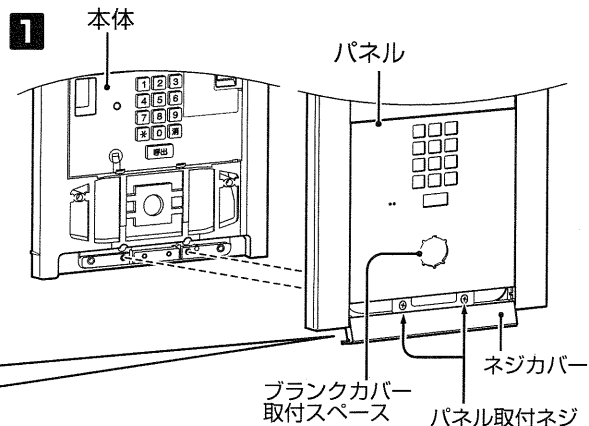
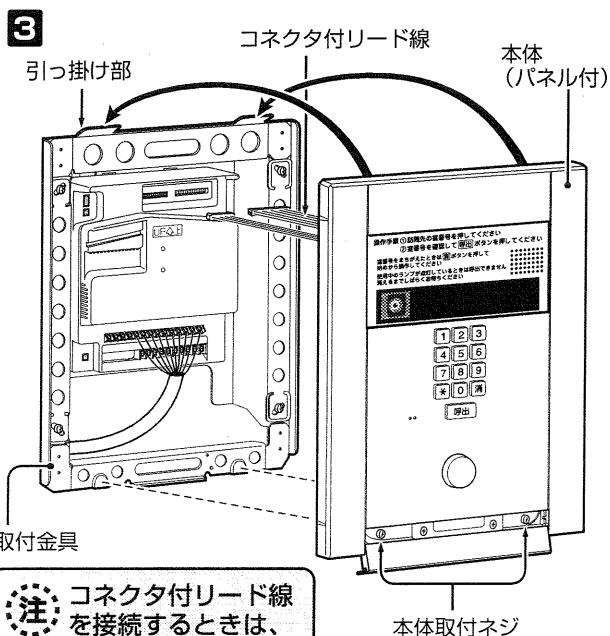
## ブランクカバーの取付方法（逆マスターキースイッチ・非接触キーリーダーを使用しない場合）

### 1 パネルを本体に取り付ける。

■ネジカバーの開け方

❶ネジカバーの下部を5mmほど持ち上げる。

❷そのまま下へスライドさせる。

### 2 ロビーインターホン逆マスターキースペース用ブランクカバー（ステンレス）（SHN0933107K）（別売）を取り付ける。

### 3 本体（パネル付）を取付金具に取り付ける。

1
本体
パネル
ネジカバー
ブランクカバー取付スペース
パネル取付ネジ

2
ネジ（SHN0933107Kに付属）
おさえ金具（SHN0933107Kに付属）
本体（パネル付）裏面
ロビーインターホン逆マスターキースペース用ブランクカバー（ステンレス）（SHN0933107K）

3
コネクタ付リード線
引っ掛け部
本体（パネル付）
取付金具
本体取付ネジ

注 コネクタ付リード線を接続するときは、警報監視盤の電源を切った状態で接続してください。

●詳しくは逆マスターキースイッチの取付説明書を参照してください。
●逆マスターキースイッチは、機能設定・カメラ角度調整をしてから取り付けてください。
逆マスターキースイッチ取り付け後、パネルだけをはずして、機能設定・カメラ角度調整をすることはできません。

## 逆マスターキースイッチ：美和ロック製 KS－110、KS－111、KS－112の取付方法

注 KS-110, KS-111, KS-112には同一型番で「取付板厚：0.5～5mm用」と「取付板厚：5～10mm用」があります。
必ず「取付板厚：5～10mm用」を使用してください。

**1 パネルを本体に取り付ける。**

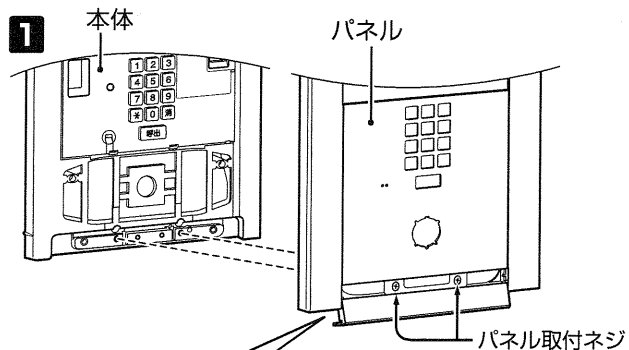
**2 逆マスターキースイッチの化粧リングをはずし、調整ナットをネジもとまでまわし、ゴムワッシャ、回り止め板をゆるめる。**

**3 本体の内側からキースイッチ本体を切欠穴に挿入し、回り止め板のツメを差し込む。**

**4 パネルの外側から化粧リングをいっぱいまでまわして止める。**

**5 本体の内側から調整ナットを締め付け、固定する。**

**6 逆マスターキースイッチのリード線と付属の逆マスターキー接続用リード線(2P)を接続する。**

**7 本体(パネル付)を取付金具に取り付ける。**

●詳しくは逆マスターキースイッチの取付説明書を参照してください。
●逆マスターキースイッチは、機能設定・カメラ角度調整をしてから取り付けてください。
逆マスターキースイッチ取り付け後、パネルだけをはずして、機能設定・カメラ角度調整をすることはできません。

## 逆マスターキースイッチ：美和ロック製 KS－222の取付方法

注 KS－222には同一型番で取付板厚が異なるものがあります。必ず「取付板厚：17～21mm用」を使用してください。

**1** **逆マスターキースイッチのシリンダーをケースから取りはずす。**

**2** **ロビーインターホン本体のA部および付属のスペーサー(KS－222用)をニッパーなどで切り取る。**

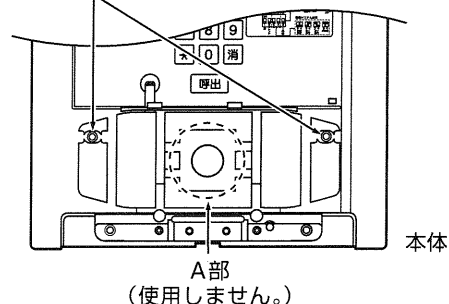
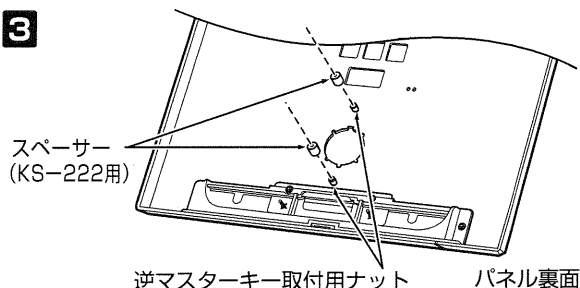
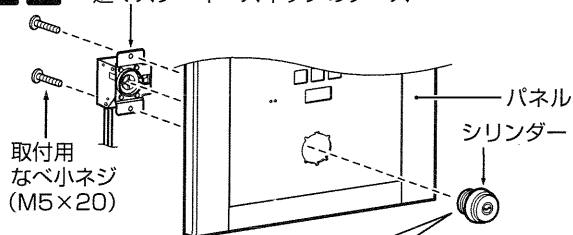
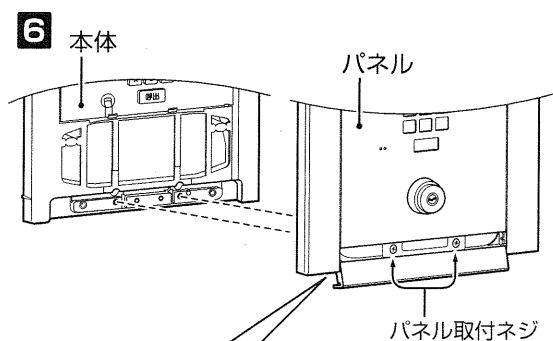
**3** **切り取ったスペーサーを逆マスターキー取付用ナットに取り付ける。**

**4** **パネルの内側から逆マスターキースイッチのケースを取り付ける。**

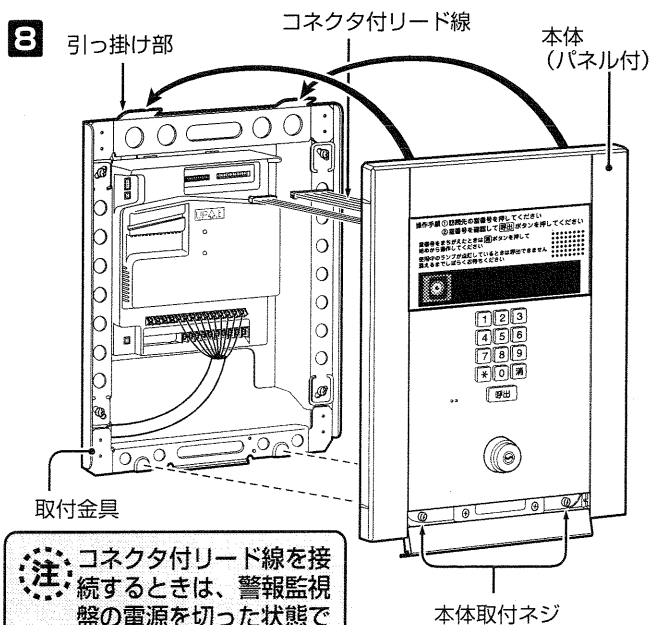
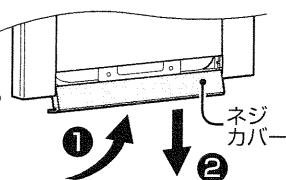
**5** **パネルの外側からシリンダーを取り付ける。**

**6** **パネルを本体に取り付ける。**

**7** **逆マスターキースイッチのリード線と付属の逆マスターキー接続用リード線(2P)を接続する。**

**8** **本体(パネル付)を取付金具に取り付ける。**

■ネジカバーの開け方

❶ネジカバーの下部を5mmほど持ち上げる。
❷そのまま下へスライドさせる。

ネジカバー

注 コネクタ付リード線を接続するときは、警報監視盤の電源を切った状態で接続してください。

●詳しくは逆マスターキースイッチの取付説明書を参照してください。
●逆マスターキースイッチは、機能設定・カメラ角度調整をしてから取り付けてください。
逆マスターキースイッチ取り付け後、パネルだけをはずして、機能設定・カメラ角度調整をすることはできません。

## 逆マスターキースイッチ：ゴール製 KS－3Rの取付方法

**1** ロビーインターホン本体のA部をニッパーなどで切り取る。

**2** 逆マスターキースイッチの化粧リングをはずし、調整ナットをネジもとまでまわし、ゴムワッシャ、回り止め板をゆるめる。

**3** パネルの内側からキースイッチ本体を切欠穴に挿入し、パネルの外側から化粧リングをいっぱいまでまわして止める。

**4** キースイッチ本体の「OFF」の刻印が12時の方向にくるように調整する。

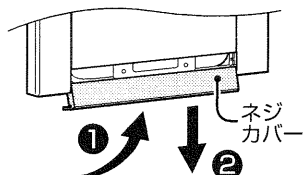
**5** 化粧リング裏側の切欠きに、回り止め板のツメを差し込む。

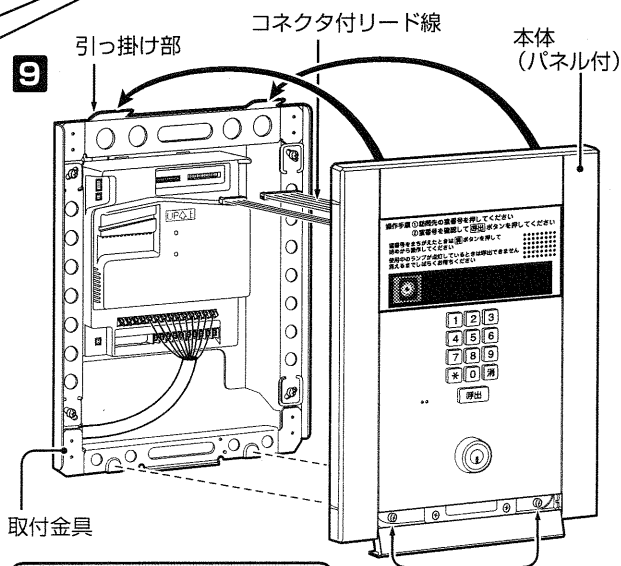
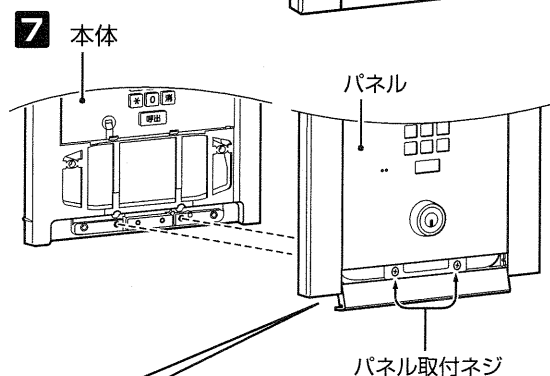
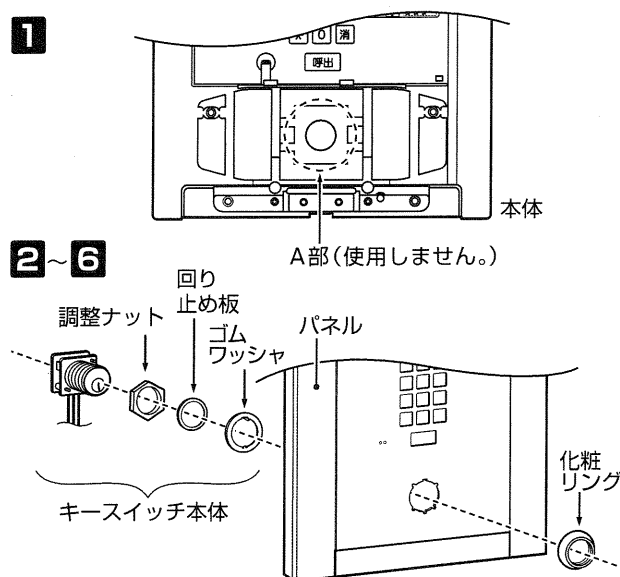
**6** パネル内側から調整ナットを締め付け、固定する。

**7** パネルを本体に取り付ける。

■ネジカバーの開け方

❶ネジカバーの下部を5mmほど持ち上げる。

❷そのまま下へスライドさせる。

**8** 逆マスターキースイッチのリード線と付属の逆マスターキー接続用リード線(2P)を接続する。

**9** 本体(パネル付)を取付金具に取り付ける。



注 コネクタ付リード線を接続するときは、警報監視盤の電源を切った状態で接続してください。

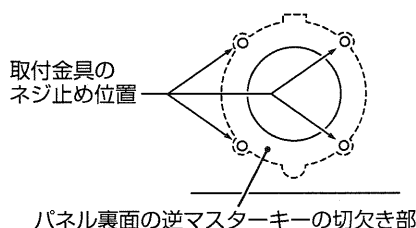
●詳しくは非接触キーリーダーの取付説明書を参照してください。
●非接触キーリーダーは、機能設定・カメラ角度調整をしてから取り付けてください。
非接触キーリーダー取り付け後、パネルだけをはずして、機能設定・カメラ角度調整をすることはできません。

## 非接触キーリーダー：美和ロック製 NTU－002･Dの取付方法

**1 ロビーインターホン本体のB部をニッパーなどで切り取る。**

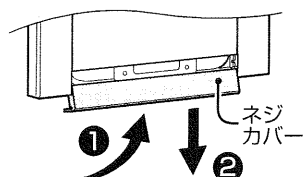
**2 非接触キーリーダー取付金具とアンテナでパネルをはさみ込むように固定する。**

**■取付金具の止め方**

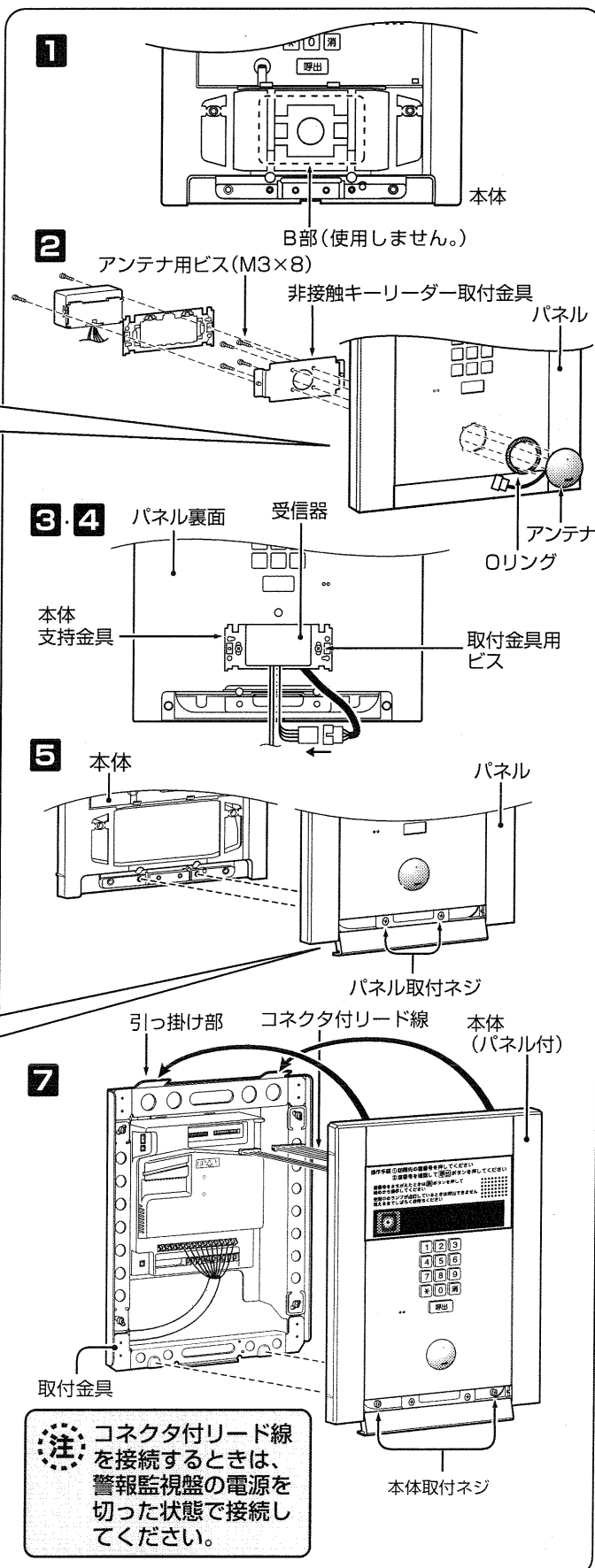
❶アンテナ裏面のネジ穴4ヵ所とパネルの逆マスターキー切欠き部4ヵ所を合わせる。
❷❶で位置合わせしたネジ穴に取付金具をネジ止めする。

**3 非接触キーリーダー取付金具に、本体支持金具を使用して、受信器を取付金具用ビスで取り付ける。**

**4 アンテナのコネクタと受信器のコネクタを接続する。**

**■ネジカバーの開け方**

❶ネジカバーの下部を5mmほど持ち上げる。
❷そのまま下へスライドさせる。

**5 パネルを本体に取り付ける。**

**6 受信器と制御器を接続する。**

**7 本体(パネル付)を取付金具に取り付ける。**

1
本体
B部(使用しません。)

2
アンテナ用ビス(M3×8)
非接触キーリーダー取付金具
パネル
アンテナ
Oリング

3･4
パネル裏面
受信器
本体
支持金具
取付金具用
ビス

5
本体
パネル
パネル取付ネジ

7
引っ掛け部
コネクタ付リード線
本体
(パネル付)
取付金具
本体取付ネジ

注 コネクタ付リード線を接続するときは、警報監視盤の電源を切った状態で接続してください。

●詳しくは非接触キーリーダーの取付説明書を参照してください。
●非接触キーリーダーは、機能設定・カメラ角度調整をしてから取り付けてください。
非接触キーリーダー取り付け後、パネルだけをはずして、機能設定・カメラ角度調整をすることはできません。

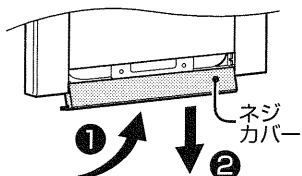
## 非接触キーリーダー：ゴール製 KRS−H＊3Mの取付方法

**1 ロビーインターホン本体のA部をニッパーなどで切り取る。**

**2 パネルを本体に取り付ける。**

■ネジカバーの開け方

❶ネジカバーの下部を5mmほど持ち上げる。

❷そのまま下へスライドさせる。

**3 アンテナ取付板Aとアンテナケースで本体(パネル付)をはさみ込むように固定する。このとき、アンテナケースのリード線をアンテナ取付板Aの穴2ヵ所に通す。**

**4 アンテナケースのリード線を受信ユニットのコネクタ受けに接続する。**

**5 アンテナ取付板Aに受信ユニットを取り付ける。**

注 リード線をはさみ込まないように、受信ユニット内に収納してください。

**6 受信ユニットと制御盤を配線コネクタ(専用コネクタ9ピン)で接続する。**

**7 本体(パネル付)を取付金具に取り付ける。**

**8 アンテナケース表面にシールを貼り付ける。**

## 通話・映像制御盤/カメラアダプター/インターフェース盤/映像増幅器(4出力用)

●盤ボックスは、D種(第3種)接地工事をしてください。(接地抵抗100Ω以下)
●各商品の表示灯や端子などについては26・27ページを参照してください。

**1 扉を開け、扉固定ネジ(4ヵ所)をゆるめて扉を取りはずす。**

**2 内器ブロック取付ネジ(4ヵ所)をゆるめて内器ブロックを取りはずす。**

**3 壁面にアンカーボルト(4ヵ所)を打ち付ける。**
(付属の「施工らくらくシート」参照)

**4 盤ボックスをアンカーボルトの専用ナットで壁面に取り付ける。**

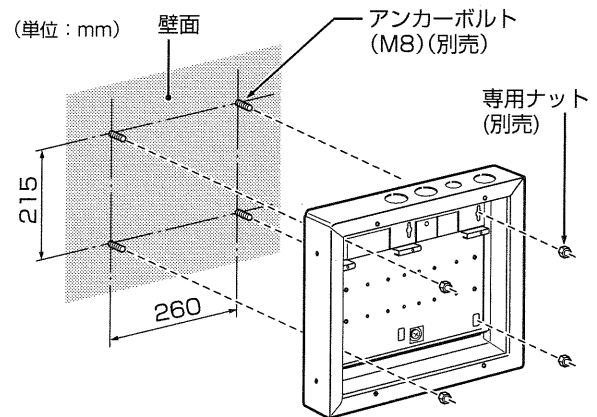
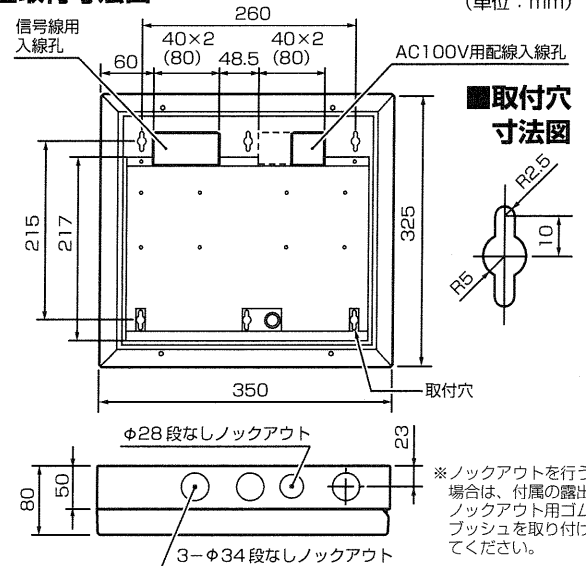
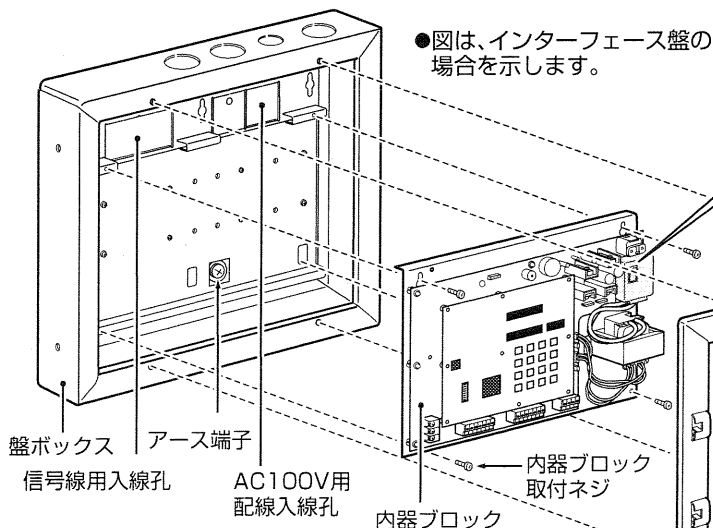
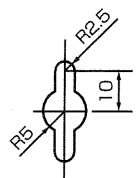
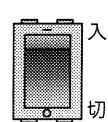
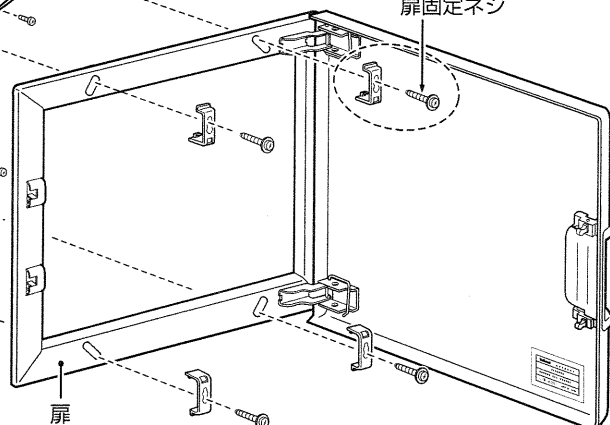
**5 アース端子にアース線を接続する。**

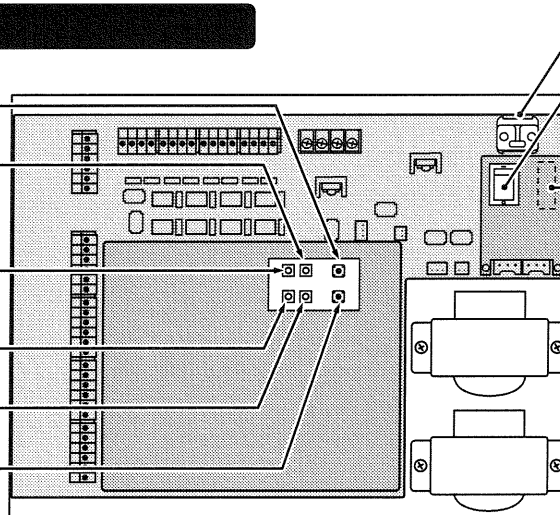
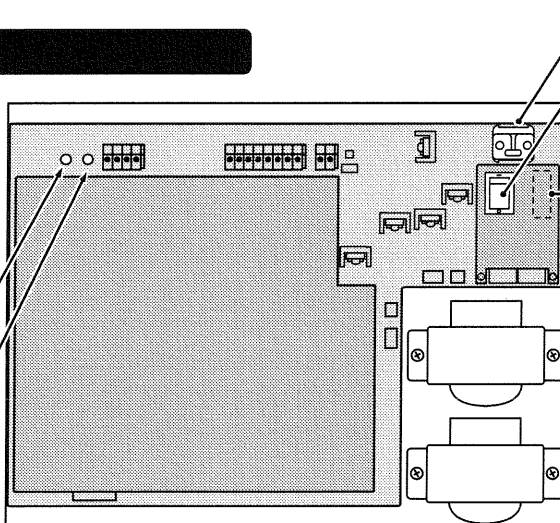
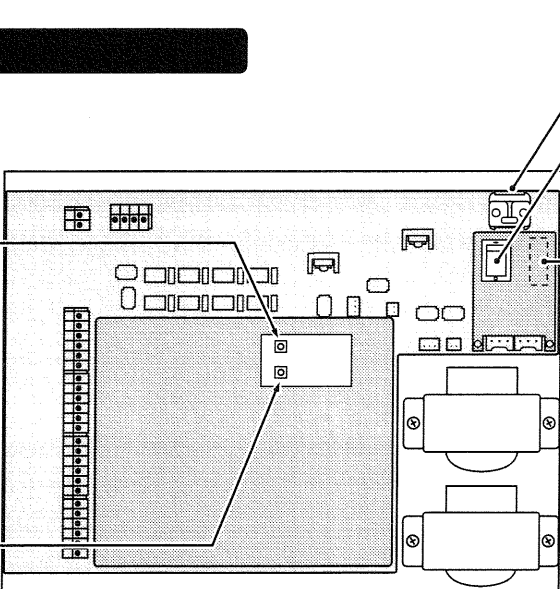
**6 カメラアダプター・インターフェース盤を取り付ける場合、機能設定をする。**(52・53ページ参照)

**7 内器ブロックを内器ブロック取付ネジで盤ボックスに取り付ける。**

**8 電線を入線し、結線する。**(33~37・39~47ページ参照)

**9 扉を扉固定ネジで盤ボックスに取り付ける。**

**10 電源スイッチを「入」側にする。**

**⚠注意**

**アースの接続は確実に行う。**
使用時や漏電のときに感電するおそれがあります。
アース線接続

注: 盤ボックスを埋め込んで取り付ける場合、扉固定ネジのかわりに付属の取付ネジ(M5×48)を使用してください。詳細は付属の施工らくらくシートを参照してください。

## 通話・映像制御盤

## カメラアダプター

## 映像増幅器(4出力用)

## インターフェース盤

注 この商品は予備電源(バッテリー)を内蔵していませんので停電の場合は動作しません。停電時には、記憶されたデータがすべて消去されます。

### RS232C用

**テンキーボタン**
- 設定をするときに使用します。
- 表示送りボタン…通信データ確認時、表示送りをするときに使用します。
  ▲：表示を戻す
  ▼：表示を送る
- 消…テンキー入力を間違えたときに使用します。

**住戸番号表示部**
- 警報などが発生した住戸の住戸番号を表示します。

**時刻表示部(通常時は消灯です。)**
- 通信データを送信した日付と時刻を表示します。

**電源灯**
- 緑色点灯で電源が入っていることを示します。

**電源スイッチ**
- 電源を「入」「切」するときに使用します。

注
- 使用中は、常時「入」側で使用してください。
- 電源スイッチを「切」側にすると、記録された通信データが消えます。

**通信状態表示灯**
- 警報監視盤との通信状態を示します。

**アドレス設定スイッチ**
- インターフェース盤(RS232C用)を2台接続する場合に使用します。

**ヒューズ(1A)**

**送信コード表示部**
- 送信した警報内容の送信コードを表示します。

**信号端子**
- 警報監視盤と接続します。

**警報音停止入力端子**
- 通報機から警報監視盤の警報音を止める場合に接続します。

**(2)RS232C端子**

**(1)RS232C端子**
- 通報機と接続します。

**(1)RS232Cの状態表示灯** **(2)RS232Cの状態表示灯**
- 通報機との通信状態を表示します。

### RS422用

**(1)RS422の状態表示灯**
- 宅配ボックスなどとの通信状態を示します。

**住戸番号表示部**
- 住戸の住戸番号を表示します。

**時刻表示部(通常時は消灯です。)**
- 通信データを受信/送信した日付と時刻を表示します。

**電源灯**
- 緑色点灯で電源が入っていることを示します。

**(1)RS422端子**

**(2)RS422端子**
- 宅配ボックスなどと接続します。

**電源スイッチ**
- 電源を「入」「切」するときに使用します。

注
- 使用中は、常時「入」側で使用してください。
- 電源スイッチを「切」側にすると、記録された通信データが消えます。

**(2)RS422の状態表示灯**
- 宅配ボックスなどとの通信状態を示します。

**通信状態表示灯**
- 警報監視盤との通信状態を示します。

**ヒューズ(1A)**

**送信コード表示部**
- 受信/送信した情報を表示します。

**アドレス設定スイッチ**
- インターフェース盤(RS422用)を2台以上接続する場合に使用します。

**テンキーボタン**
- 設定をするときに使用します。
- 消ボタン…テンキー入力を間違えたときに使用します。
- 表示送りボタン…通信データ確認時、表示送りをするときに使用します。
  ▲：表示を戻す
  ▼：表示を送る

**信号端子**
- 警報監視盤と接続します。

## 信号増幅器(警報監視盤用)

●盤ボックスは、D種(第3種)接地工事をしてください。(接地抵抗100Ω以下)

**1 扉を開け、扉固定ネジ(4ヵ所)をゆるめて扉を取りはずす。**

**2 内器ブロック取付ナット(4ヵ所)をゆるめて内器ブロックを取りはずす。**

**3 壁面にアンカーボルト(4ヵ所)を打ち付ける。**

**4 盤ボックスをアンカーボルトの専用ナットで壁面に取り付ける。**

**5 アース端子にアース線を接続する。**

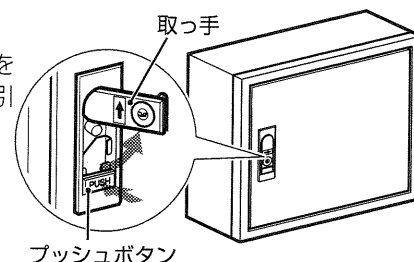
**6 内器ブロックを内器ブロック取付ナットで盤ボックスに取り付ける。**

**7 電線を入線し、結線する。**
(33~49ページ参照)

**8 扉を扉固定ネジで盤ボックスに取り付ける。**

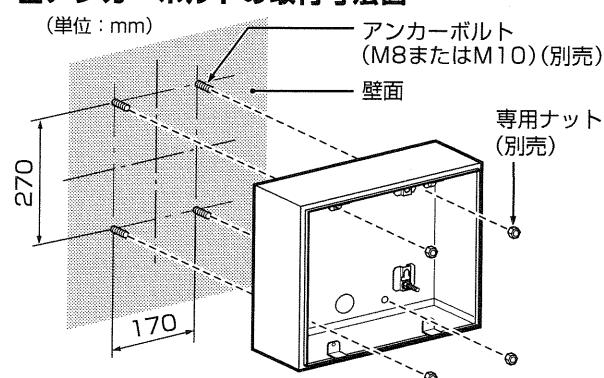
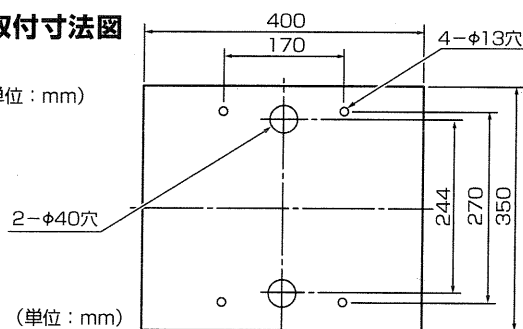
**9 電源スイッチを「入」側にする。**

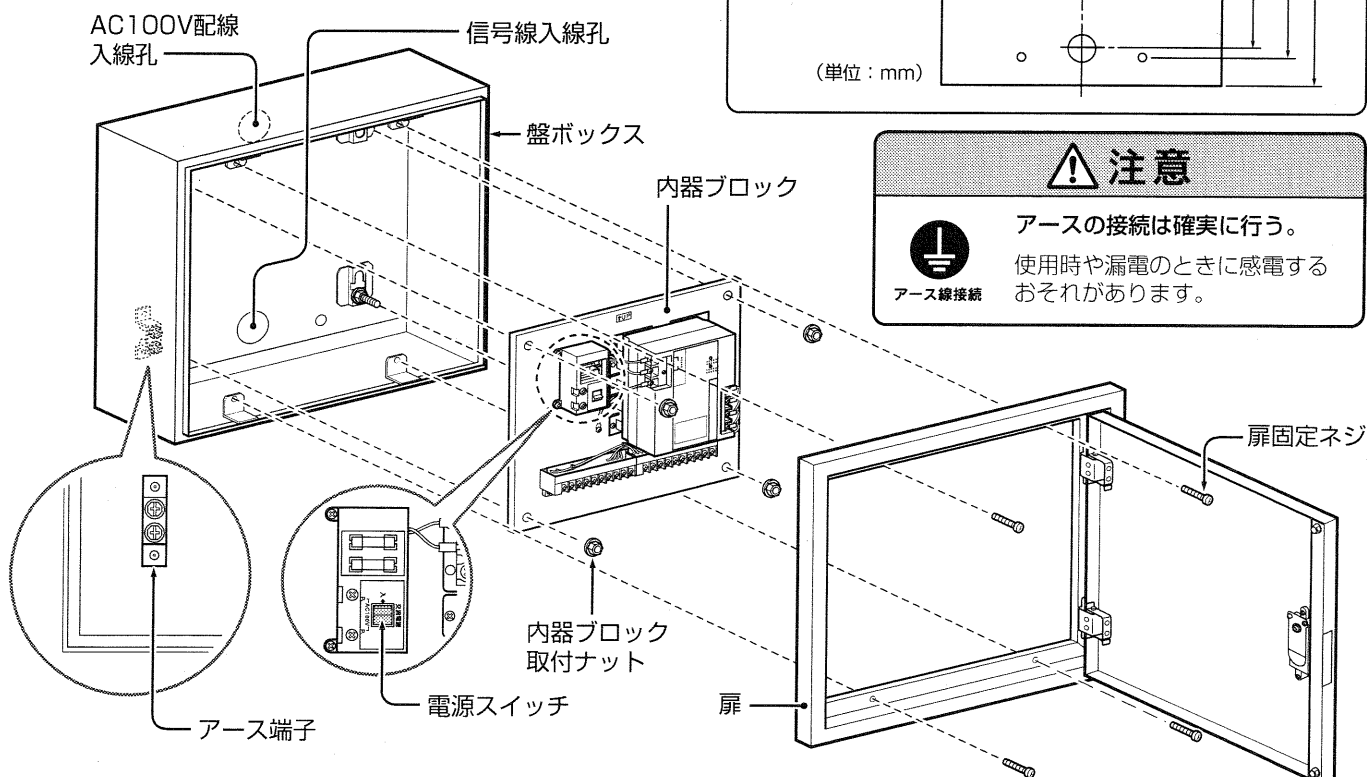
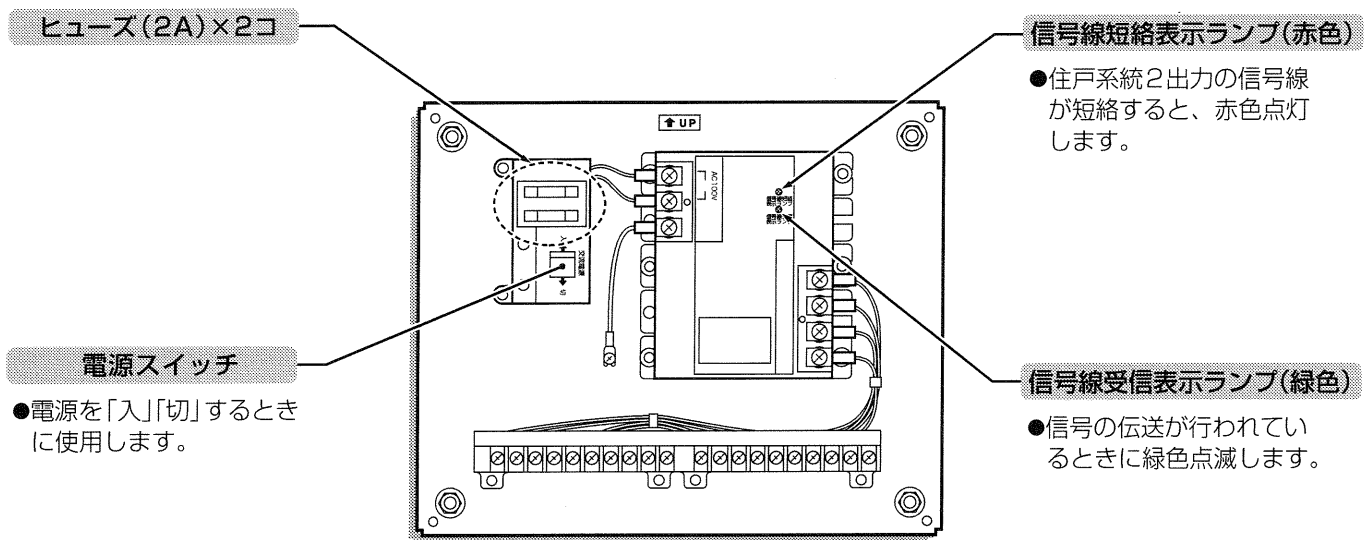
**■扉の開け方**

❶プッシュボタンを押し、取っ手を引き起こす。
❷取っ手を矢印の方向にまわして開ける。

**■アンカーボルトの取付寸法図**

**■取付寸法図**



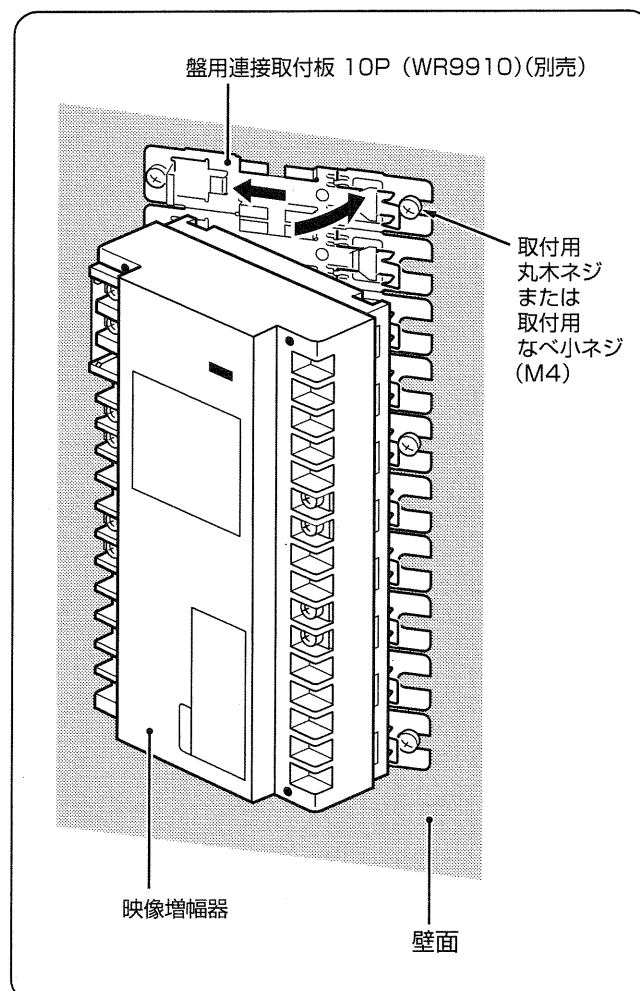
**⚠注意**

**アースの接続は確実に行う。**
使用時や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース線接続

## 信号増幅器(警報監視盤用)

## 映像増幅器(1出力用)

### 1 木板などに盤用連接取付板10P(WR9910)を取付用丸木ネジなどで取り付ける。(片側を3ヵ所ずつ締め付けてください。)

●取付板には25mmピッチで切れ込みが入っています。必要に応じて8Pに切り離して使用してください。(2～3度折り曲げてください。)

### 2 盤用連接取付板10P(WR9910)に映像増幅器をはさみ込む。

### 3 結線する。

# 分岐器(パイプシャフト収納型)

●埋込ボックスは「1コ用スイッチボックス(塗り代カバー付)」を使用してください。
●図は、2分岐器(2通話・2映像用)の場合を示します。

## ボックス取付の場合

**1 器具通線穴に電線を通し、ボックスに固定する。**

注:本体のUP⬆上を必ず上にして固定してください。

**2 電線の被ふくをむく。**

注:電線の引き出しが長すぎると、カバーができなくなる場合があります。

**3 結線する。**

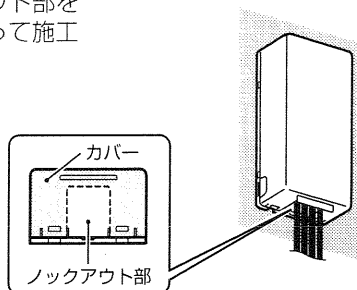
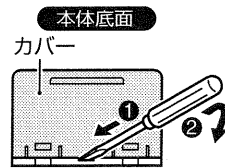
注:かるく電線を引いて電線が抜けないことを確認してください。挿入が不十分な場合、接触不良によりシステムが動作しなかったり、映像が正常に映らない場合があります。

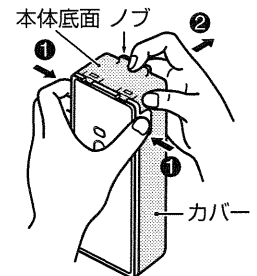
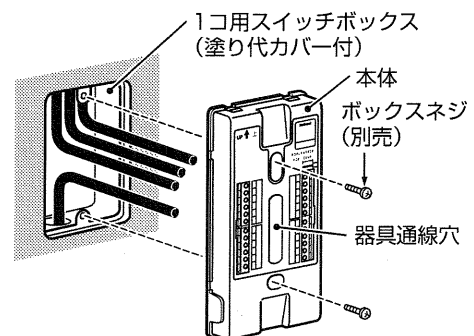
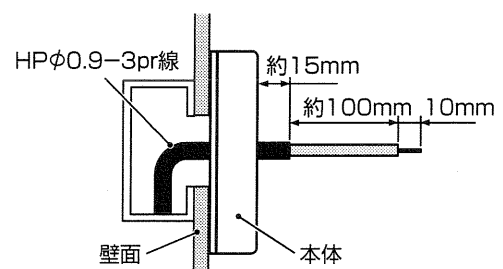
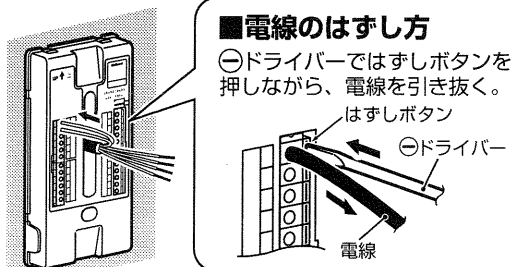
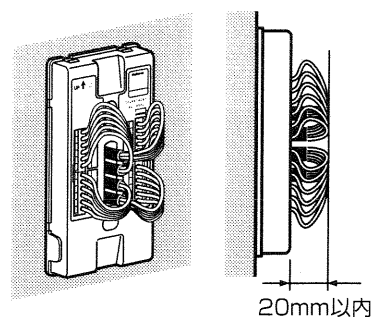
**4 電線を本体側に倒す。**

**5 カバーを取り付ける。**

## 露出配線の場合

**※2~5の手順はボックス取付と同じです。**

●カバー下側のノックアウト部をニッパーなどで切り取って施工してください。
●必ずカバー下側から入線してください。カバー上側から入線すると、水滴が浸入し故障の原因となります。
●付属の取付用木ネジで固定してください。

■**カバーの開け方**

❶本体底面のドライバーミゾにドライバーを差し込む。
❷ドライバーでカバーを押し上げ開ける。

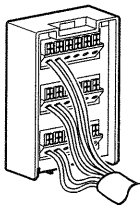
手で開けることもできます。

❶ボディをしっかり持つ。
❷ノブに指を引っかけ、カバーを開ける。

電線の銅線部がかくれるまで挿入してください。

## 分岐器(ボックス収納型)

●ボックス内転がし設置の場合に使用するドアホン子器は、必ず「露出型のドアホン子器」を使用してください。
また、埋込ボックスは必ず「中型四角アウトレットボックス(塗り代カバー付)」を使用してください。
●分岐器はめ込みドアホン設置の場合に使用するドアホン子器は、必ず「専用のドアホン子器」を使用してください。
また、埋込ボックスは必ず「3コ用スイッチボックス(塗り代カバー付)」を使用してください。
●玄関パネルにも組み込みできます。その際、「4コ用スイッチボックス(塗り代カバー付)」を使用してください。

### 1 電線の被ふくをむく。

注 ●電線の引き出しが長すぎると、収納できなくなる場合があります。
●ボックス内に水が溜まらないように、アウトレットボックス下面に水抜き穴を設けてください。

### 2 結線する。

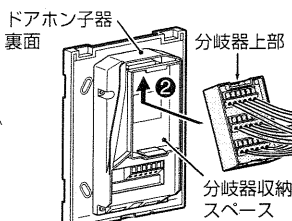
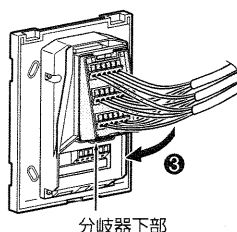
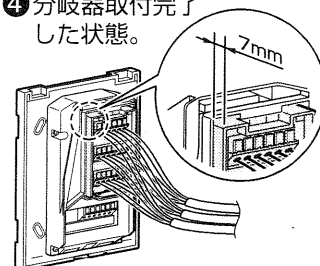
注 挿入が不十分な場合、水滴が端子に浸入した場合、接触不良によりシステムが動作しなかったり、映像が正常に映らない場合があります。
電線を伝って端子に水滴が浸入することを防ぐため、電線は右図のように本体の下方向へそわせてください。

### 3 収納する。

注 水抜き穴がありますので、本体のUP ⬆上を必ず上にして収納してください。

### 4 ドアホン子器(露出型)を取り付ける。

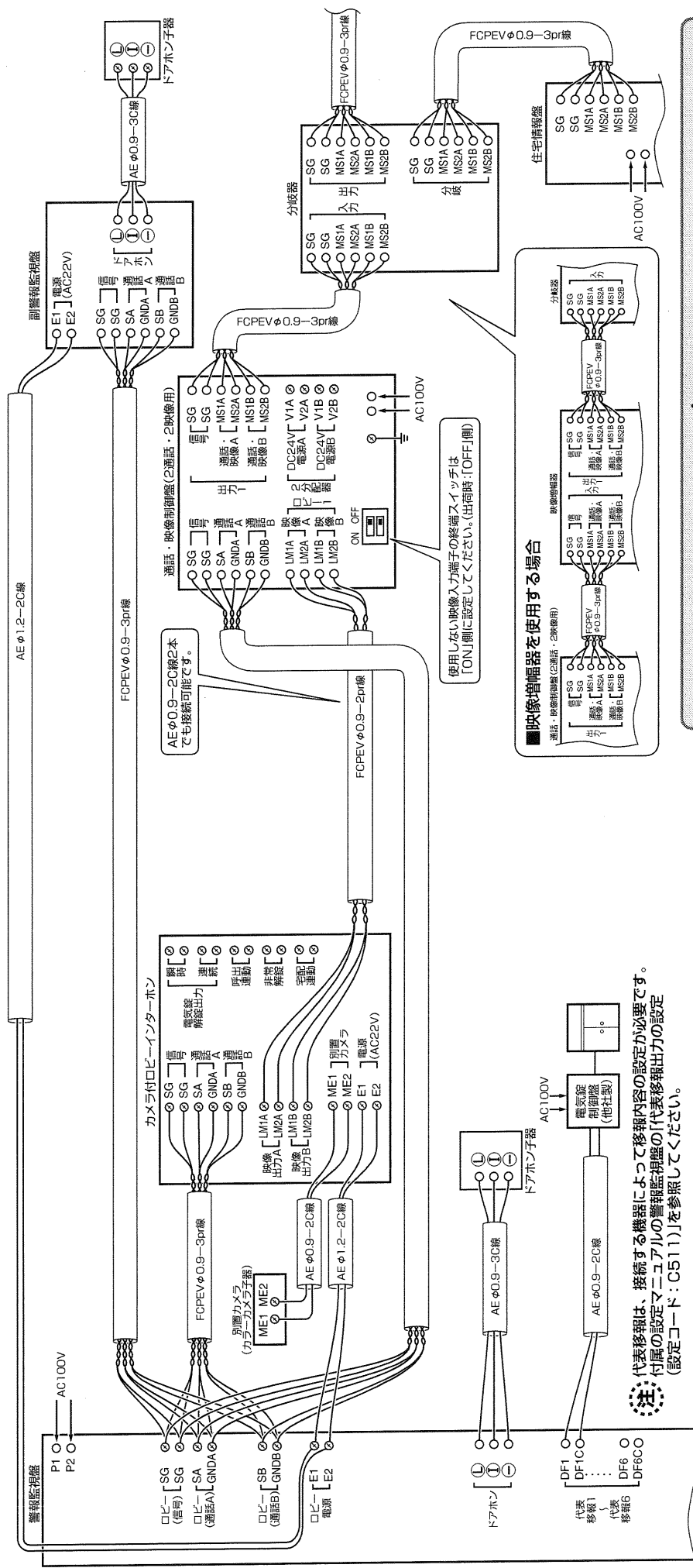
■分岐器はめ込みドアホン子器への取付方法

❶結線する。

❷分岐器収納スペースに分岐器上部を入れる。

❸分岐器下部を「カチッ」と音がするまで入れる。

❹分岐器取付完了した状態。

# 配線方法

●接続機器についてはその商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊘端子はネジ端子を示します。

## ① ATシステムとの接続

注 代表移報は、接続する機器によって移報内容の設定が必要です。付属の設定マニュアルの警報監視盤の「代表移報出力の設定(設定コード:C511)」を参照してください。

注
●ロビーインターホンおよび副警報監視盤にはアドレス設定が必要です。
●2通話・2映像の場合の通話線・映像線は通話路および映像路にA・Bの区別があります。
●1通話・1映像の場合の通話路および映像路はAのみを使用します。
●FCPEV線はペア取りを間違えないよう正しく接続してください。
　ペア取りを間違えると通話の際に雑音が混ったり、映像が乱れたりします。
●電源線(E1、E2)の送り配線はしないでください。

### 別置カメラ(カラーカメラ子器)のご注意

●カラーカメラ子器の設置にあたっては最低被写体照度およびカラーカメラ子器からの被写体までの距離を十分ご検討ください。
●最低被写体照度が30ルクス以上になるようにしてください。周囲が暗くなると映像が見えにくくなります。
●カラーカメラ子器から被写体までの距離は5m以内でご使用ください。
●マイク機能は作動しません。

### ⚠警告

**必ず守る**

**AC100V用電源端子は確実に差し込む。**
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

**電源(AC100V)を切った状態で施工する。**
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

**禁止**

**小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。**
発火・発煙の原因となります。

## 通話・映像制御盤の多段接続を行う場合

注
- 住宅情報盤に接続する通話・映像制御盤には、警報監視盤から通話線をそれぞれ接続してください。
- すべての通話・映像制御盤には、警報監視盤から信号線をそれぞれ接続してください。
- 映像信号の分配系統については、各機器間の信号線、通話・映像線をすべて接続してください。
- 通話・映像制御盤の使用しない映像入力端子の終端スイッチは「ON」側に設定してください。



## 映像増幅器と接続する場合

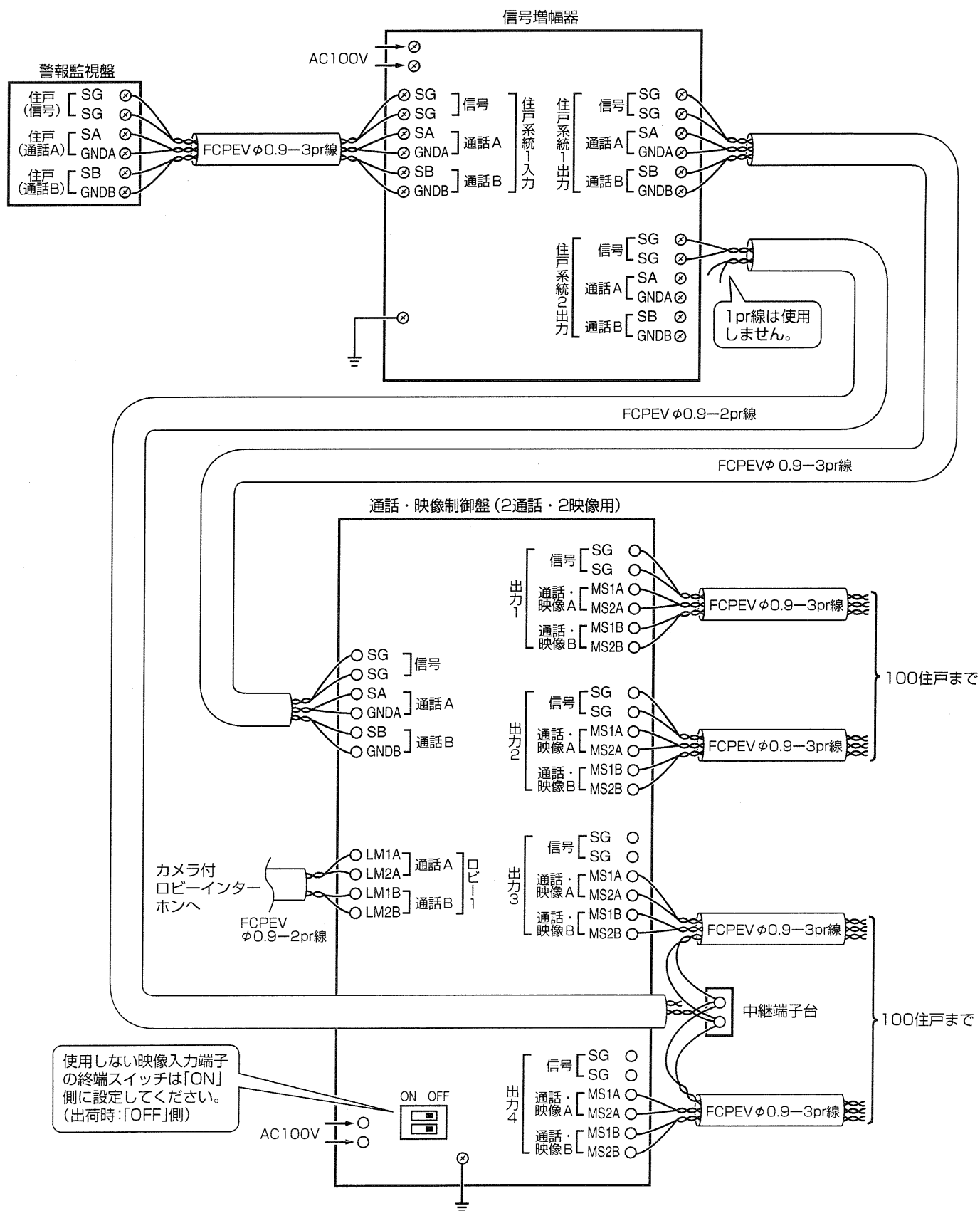


## 通話・映像制御盤と接続する場合



## 2分配器と接続する場合

## 信号増幅器を使用する場合(101住戸以上接続する場合)

(例) 通話・映像制御盤の出力1、出力2の2系統で100住戸まで接続、出力3、出力4の2系統で100住戸まで接続する場合

## ② 電気錠制御盤との接続

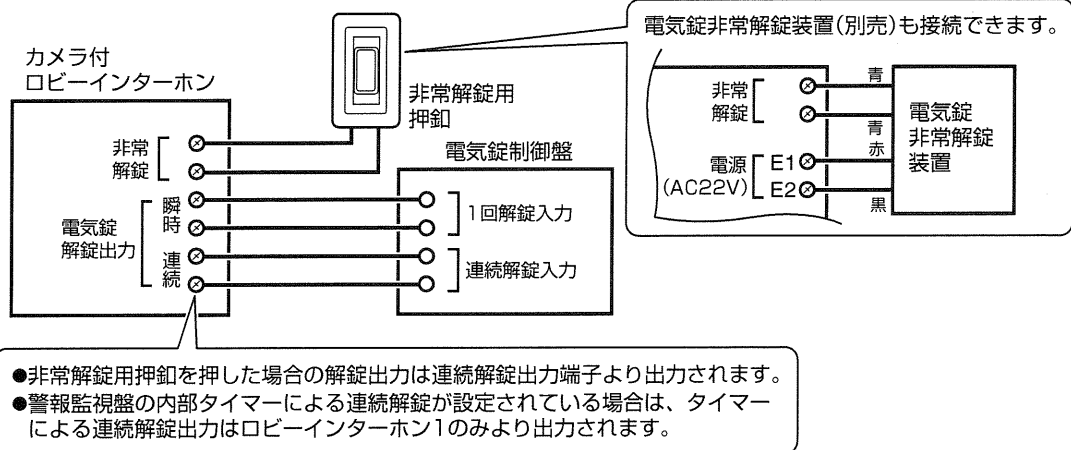
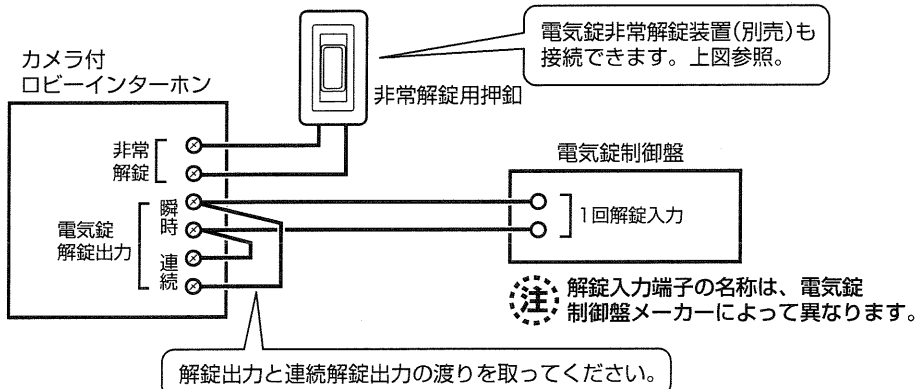
注 ロビーインターホンの解錠出力を電気錠制御盤に接続してください。

### 電気錠制御盤の解錠入力が1回解錠用と連続解錠用にわかれている場合

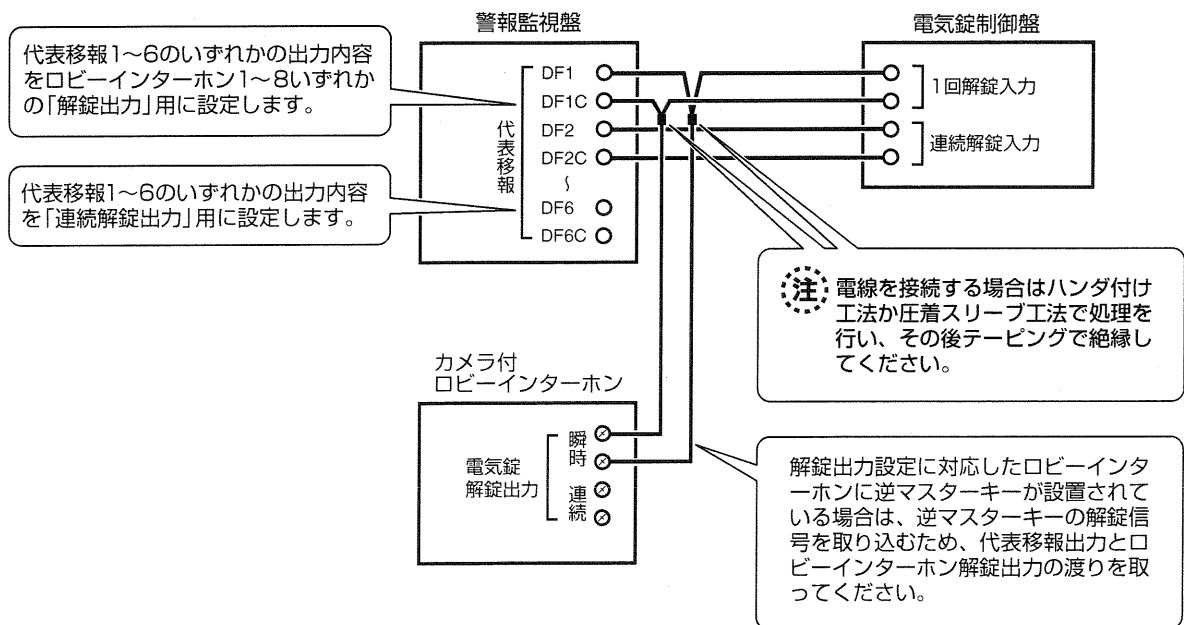
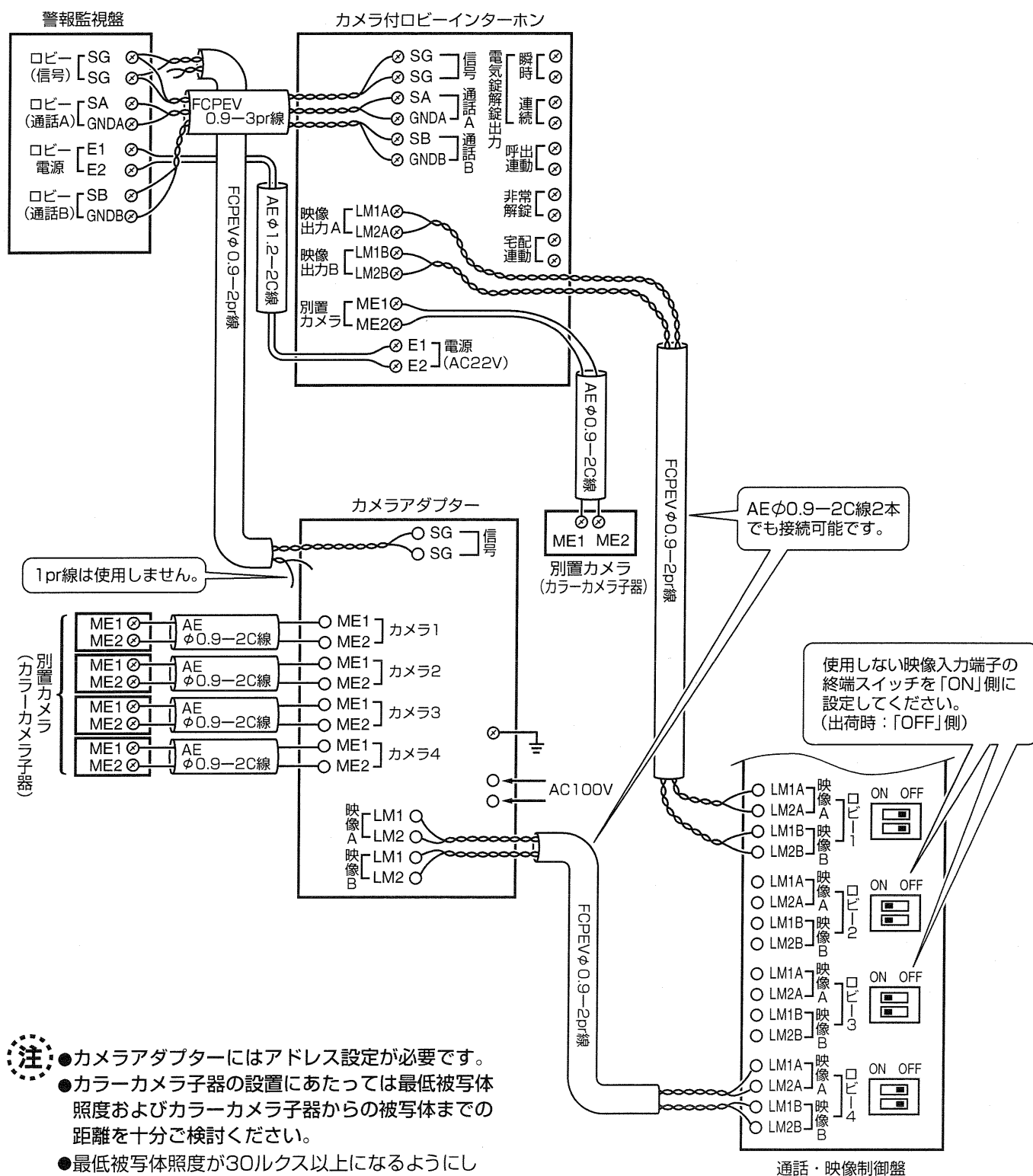
●非常解錠用押釦を押した場合の解錠出力は連続解錠出力端子より出力されます。
●警報監視盤の内部タイマーによる連続解錠が設定されている場合は、タイマーによる連続解錠出力はロビーインターホン1のみより出力されます。

### 電気錠制御盤の解錠入力が1回解錠用と連続解錠用にわかれていない場合

注 解錠入力端子の名称は、電気錠制御盤メーカーによって異なります。

解錠出力と連続解錠出力の渡りを取ってください。

### 警報監視盤から電気錠制御盤に解錠出力する場合

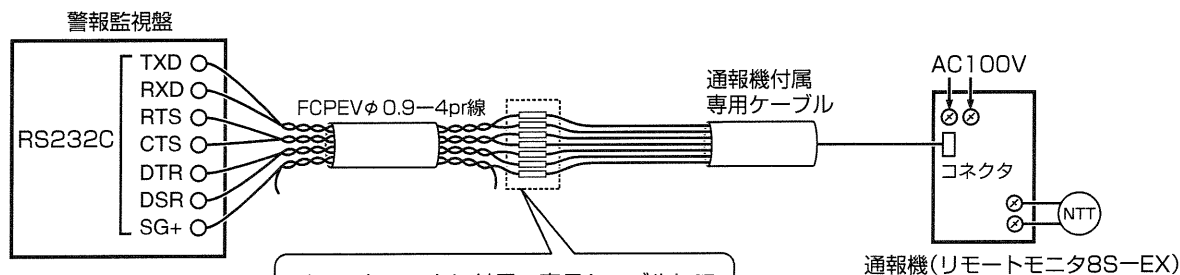
注 電線を接続する場合はハンダ付け工法か圧着スリーブ工法で処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。

解錠出力設定に対応したロビーインターホンに逆マスターキーが設置されている場合は、逆マスターキーの解錠信号を取り込むため、代表移報出力とロビーインターホン解錠出力の渡りを取ってください。

## ③ カメラアダプターとの接続

**注**
- カメラアダプターにはアドレス設定が必要です。
- カラーカメラ子器の設置にあたっては最低被写体照度およびカラーカメラ子器からの被写体までの距離を十分ご検討ください。
- 最低被写体照度が30ルクス以上になるようにしてください。
  周囲が暗くなると映像が見えにくくなります。
- カラーカメラ子器から被写体までの距離は5m以内でご使用ください。
- マイク機能は作動しません。

# 4 通報機またはインターフェース盤との接続

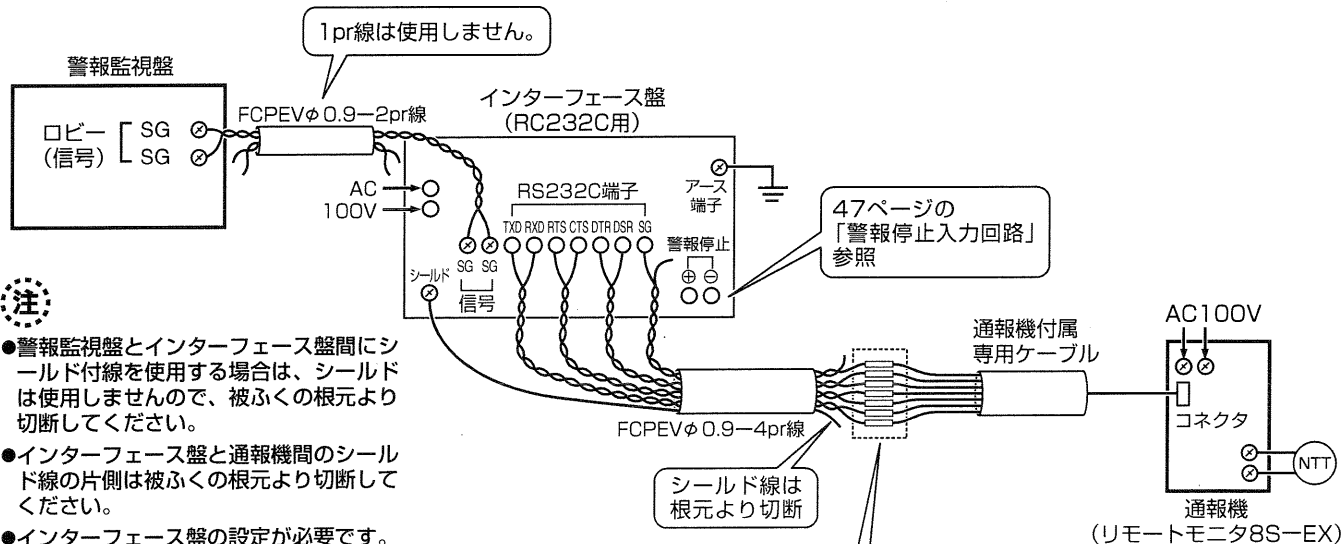
## リモート8S-EX接続仕様

通信速度：1200bps

### 〈通報機を直接、警報監視盤に接続する場合〉

**■コネクタ接続表**

| 警報監視盤の端子記号 | 通報機のコネクタ記号 |
|---|---|
| TXD | TXD |
| RXD | RXD |
| RTS | RTS |
| CTS | CTS |
| DTR | DTR |
| DSR | DSR |
| SG+ | GND |

注
- 各通信プロトコル設定と通報機メーカーとの対応については付属の設定マニュアル（設定コード：C521）を参照してください。
- 警報停止入力については、47ページを参照してください。

### 〈通報機をインターフェース盤に接続する場合〉

注
- 警報監視盤とインターフェース盤間にシールド付線を使用する場合は、シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
- インターフェース盤と通報機間のシールド線の片側は被ふくの根元より切断してください。
- インターフェース盤の設定が必要です。（設定マニュアル参照）

リモートモニタに付属の専用ケーブルにて圧着してください。

注
- 専用かしめ器にて圧着してください。
- 接続については「コネクタ接続表」を参照してください。

**■インターフェース盤の状態表示灯の点灯について**

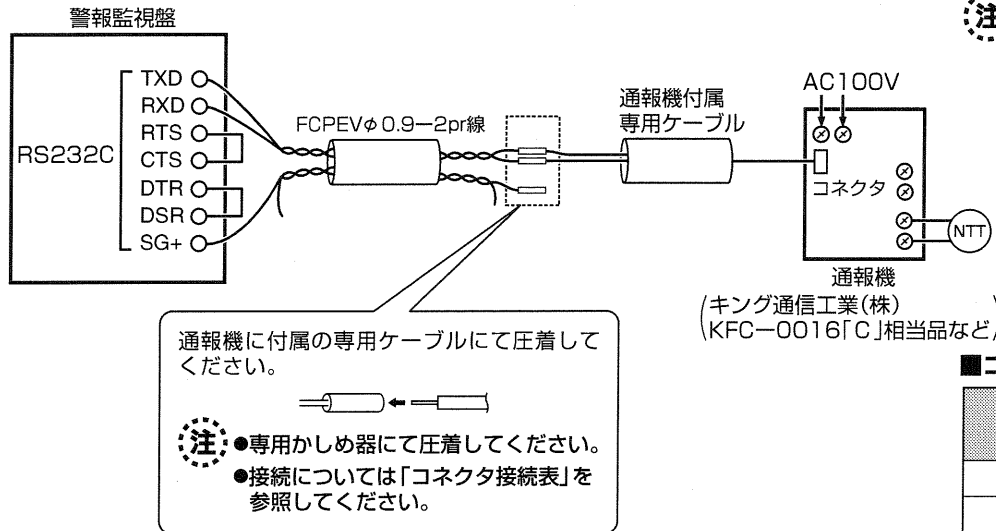
○：消灯　✱：点灯　☀：点滅

| 表示灯 | 待機時 | 通信データ | |
|---|---|---|---|
| | | 送信時 | 受信時 |
| TXD灯 | ○ | ☀ | ○ |
| RXD灯 | ○ | ○ | ☀ |
| RTS灯 | ✱ | ○ | ✱ |
| CTS灯 | ✱ | ✱ | ✱ |
| DTR灯 | ✱ | ○ | ✱ |
| DSR灯 | ✱ | ✱ | ✱ |

**■コネクタ接続表**

| インターフェース盤の端子記号 | 通報機のコネクタ記号 |
|---|---|
| TXD | TXD |
| RXD | RXD |
| RTS | RTS |
| CTS | CTS |
| DTR | DTR |
| DSR | DSR |
| SG | GND |

## HPC接続仕様

通信速度：1200bps

### 〈通報機を直接、警報監視盤に接続する場合〉

注
- 警報監視盤のRTS-CTS端子間、DTR-DSR端子間を接続してください。
- 接続する通報機によって、接続方式（端子またはコネクタ）、端子記号は異なります。
- 各通信プロトコル設定と通報機メーカーとの対応については付属の設定マニュアル（設定コード：C521）を参照してください。
- 警報停止入力については、47ページを参照してください。

■コネクタ接続表

| 警報監視盤の端子記号 | 通報機のコネクタ記号 |
|---|---|
| RXD | 2(TXD) |
| TXD | 3(RXD) |
| SG+ | 7(SG) |

### 〈通報機をインターフェース盤に接続する場合〉

注
- 警報監視盤とインターフェース盤間にシールド付線を使用する場合は、シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
- インターフェース盤と通報機間のシールド線の片側は被ふくの根元より切断してください。
- インターフェース盤のRTS-CTS端子間、DTR-DSR端子間を接続してください。
- 接続する通報機によって、接続方式（端子またはコネクタ）、端子記号は異なります。
- インターフェース盤の設定が必要です。（設定マニュアル参照）

■インターフェース盤の状態表示灯の点灯について

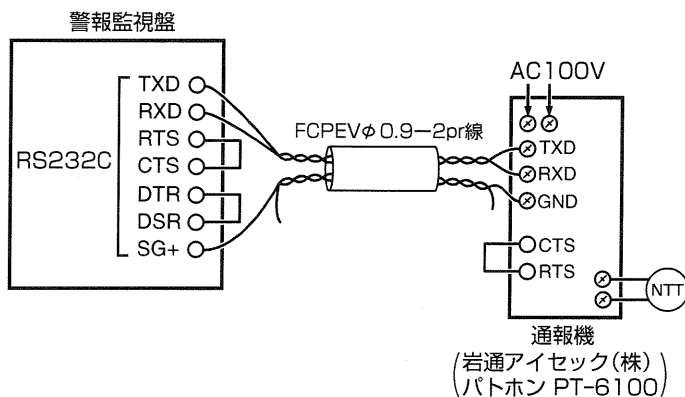
○：消灯　✱：点灯　✱：点滅

| 表示灯 | 待機時 | 通信データ | |
|---|---|---|---|
| | | 送信時 | 受信時 |
| TXD灯 | ○ | 点滅 | ○ |
| RXD灯 | ○ | ○ | 点滅 |
| RTS灯 | 点灯 | 点灯 | 点灯 |
| CTS灯 | 点灯 | 点灯 | 点灯 |
| DTR灯 | 点灯 | 点灯 | 点灯 |
| DSR灯 | 点灯 | 点灯 | 点灯 |

■コネクタ接続表

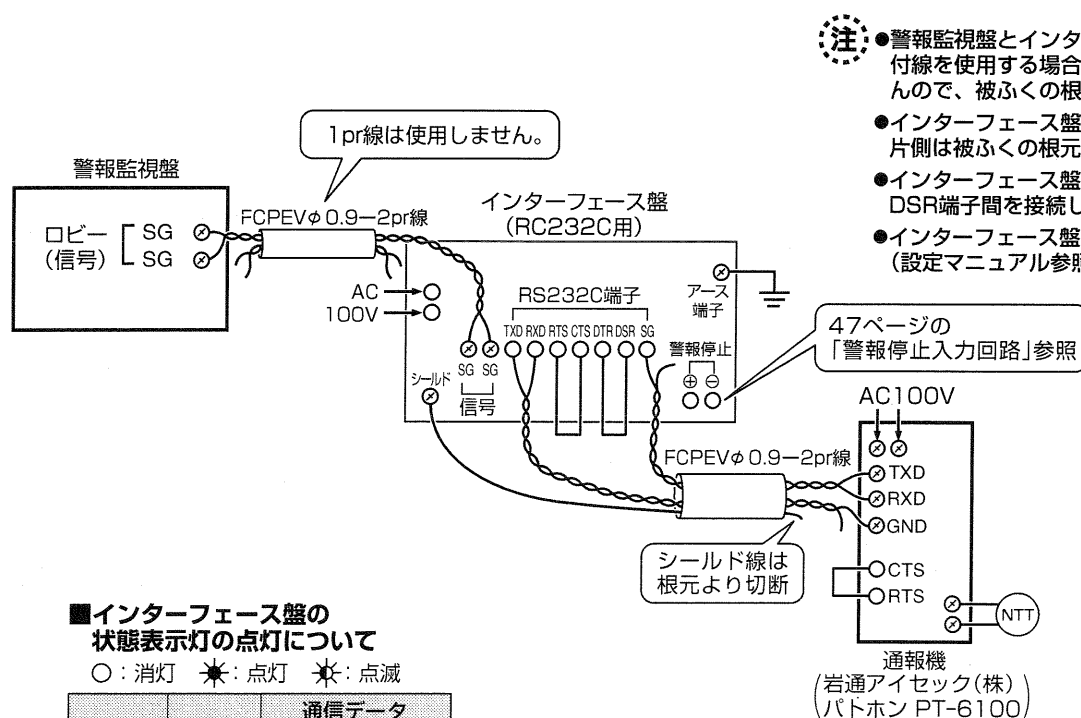
| インターフェース盤の端子記号 | 通報機のコネクタ記号 |
|---|---|
| RXD | 2(TXD) |
| TXD | 3(RXD) |
| SG | 7(SG) |

## 岩通アイセック接続仕様　通信速度：1200bps

### 〈通報機を直接、警報監視盤に接続する場合〉

注
- 警報監視盤のRTS-CTS端子間、DTR-DSR端子間を接続してください。
- 各通信プロトコル設定と通報機メーカーとの対応については付属の設定マニュアル（設定コード：C521）を参照してください。
- 警報停止入力については、47ページを参照してください。

■端子接続表

| 警報監視盤の端子記号 | 通報機の端子記号 |
|---|---|
| RXD | TXD |
| TXD | RXD |
| SG+ | GND |

### 〈通報機をインターフェース盤に接続する場合〉

注
- 警報監視盤とインターフェース盤間にシールド付線を使用する場合は、シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
- インターフェース盤と通報機間のシールド線の片側は被ふくの根元より切断してください。
- インターフェース盤のRTS-CTS端子間、DTR-DSR端子間を接続してください。
- インターフェース盤の設定が必要です。（設定マニュアル参照）

■インターフェース盤の状態表示灯の点灯について

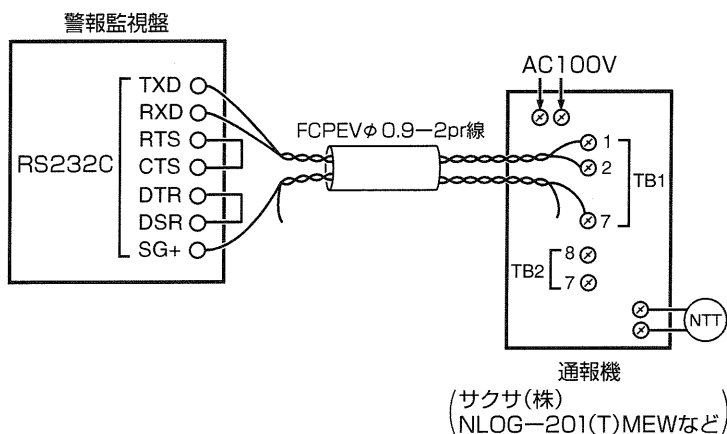
○：消灯　✷：点灯　☼：点滅

| 表示灯 | 待機時 | 通信データ | |
|---|---|---|---|
| | | 送信時 | 受信時 |
| TXD灯 | ○ | ☼ | ○ |
| RXD灯 | ○ | ○ | ☼ |
| RTS灯 | ✷ | ✷ | ✷ |
| CTS灯 | ✷ | ✷ | ✷ |
| DTR灯 | ✷ | ✷ | ✷ |
| DSR灯 | ✷ | ✷ | ✷ |

■端子接続表

| インターフェース盤の端子記号 | 通報機の端子記号 |
|---|---|
| RXD | TXD |
| TXD | RXD |
| SG | GND |

## 大興接続仕様

通信速度：1200bps

### 〈通報機を直接、警報監視盤に接続する場合〉

注
- ●警報監視盤のRTS-CTS端子間、DTR-DSR端子間を接続してください。
- ●接続する通報機によって、接続方式(端子またはコネクタ)、端子記号は異なります。
- ●各通信プロトコル設定と通報機メーカーとの対応については付属の設定マニュアル(設定コード：C521)を参照してください。
- ●警報停止入力については、47ページを参照してください。

**■端子接続表**

| 警報監視盤の端子記号 | 通報機の端子記号 | |
|---|---|---|
| RXD | TB1 | 1 |
| TXD | | 2 |
| SG+ | | 7 |

### 〈通報機をインターフェース盤に接続する場合〉

注
- ●警報監視盤とインターフェース盤間にシールド付線を使用する場合は、シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
- ●インターフェース盤と通報機間のシールド線の片側は被ふくの根元より切断してください。
- ●インターフェース盤のRTS-CTS端子間、DTR-DSR端子間を接続してください。
- ●接続する通報機によって、接続方式(端子またはコネクタ)、端子記号は異なります。
- ●インターフェース盤の設定が必要です。(設定マニュアル参照)

**■インターフェース盤の状態表示灯の点灯について**

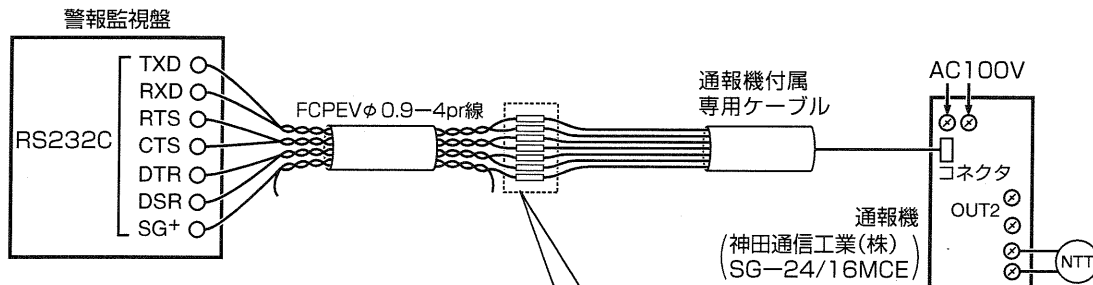
○：消灯　✷：点灯　☀：点滅

| 表示灯 | 待機時 | 通信データ | |
|---|---|---|---|
| | | 送信時 | 受信時 |
| TXD灯 | ○ | ☀ | ○ |
| RXD灯 | ○ | ○ | ☀ |
| RTS灯 | ✷ | ✷ | ✷ |
| CTS灯 | ✷ | ✷ | ✷ |
| DTR灯 | ✷ | ✷ | ✷ |
| DSR灯 | ✷ | ✷ | ✷ |

**■端子接続表**

| インターフェース盤の端子記号 | 通報機の端子記号 | |
|---|---|---|
| RXD | TB1 | 1 |
| TXD | | 2 |
| SG | | 7 |
| ⊖ | TB2 | 7 |
| ⊕ | | 8 |

## HKOS接続仕様

通信速度：1200bps

### 〈通報機を直接、警報監視盤に接続する場合〉

注 ●各通信プロトコル設定と通報機メーカーとの対応については付属の設定マニュアル（設定コード：C521）を参照してください。
●警報停止入力については、47ページを参照してください。

通報機に付属の専用ケーブルにて圧着してください。

注 ●専用かしめ器にて圧着してください。
●接続については「コネクタ接続表」を参照してください。

■コネクタ接続表

| 警報監視盤の端子記号 | 通報機のコネクタ記号 |
|---|---|
| RXD | 2(TXD) |
| TXD | 3(RXD) |
| CTS | 4(RTS) |
| RTS | 5(CTS) |
| DTR | 6(DSR) |
| DSR | 20(DTR) |
| SG+ | 7(SG) |

### 〈通報機をインターフェース盤に接続する場合〉

注 ●警報監視盤とインターフェース盤間にシールド付線を使用する場合は、シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
●インターフェース盤と通報機間のシールド線の片側は被ふくの根元より切断してください。
●インターフェース盤の設定が必要です。（設定マニュアル参照）

■インターフェース盤の状態表示灯の点灯について

○：消灯　✱：点灯　✲：点滅

| 表示灯 | 待機時 | 通信データ | |
|---|---|---|---|
| | | 送信時 | 受信時 |
| TXD灯 | ○ | ✲ | ○ |
| RXD灯 | ○ | ○ | ✲ |
| RTS灯 | ✱ | ✱ | ✱ |
| CTS灯 | ✱ | ✱ | ✱ |
| DTR灯 | ✱ | ✱ | ✱ |
| DSR灯 | ✱ | ✱ | ✱ |

■コネクタ接続表

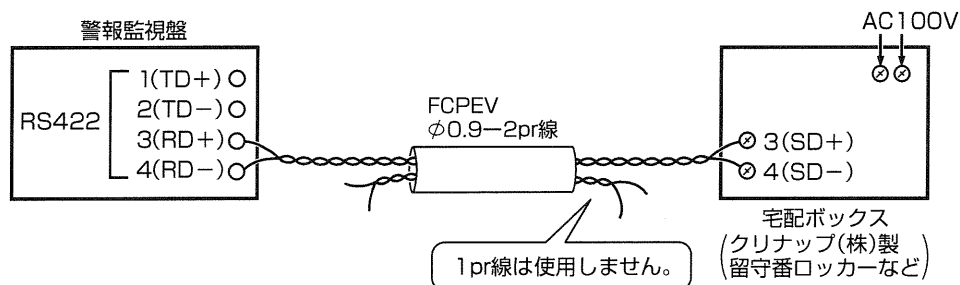
| インターフェース盤の端子記号 | 通報機のコネクタ記号 |
|---|---|
| RXD | 2(TXD) |
| TXD | 3(RXD) |
| CTS | 4(RTS) |
| RTS | 5(CTS) |
| DTR | 6(DSR) |
| DSR | 20(DTR) |
| SG | 7(SG) |

通報機に付属の専用ケーブルにて圧着してください。

注 ●専用かしめ器にて圧着してください。
●接続については「コネクタ接続表」を参照してください。

# ⑤ 宅配ボックスまたはインターフェース盤との接続

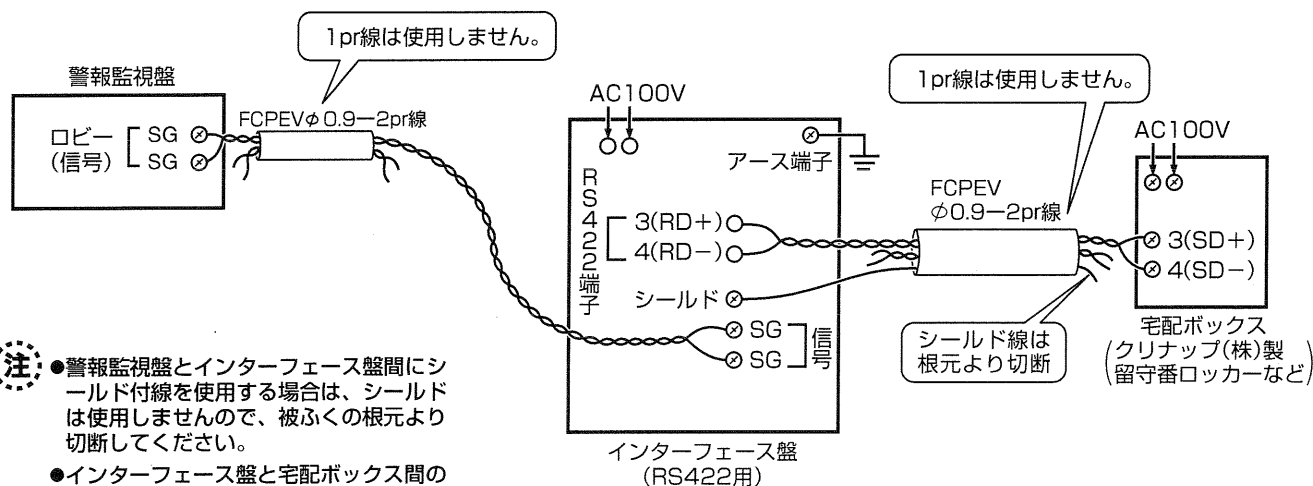
## KPC(クリナッププロトコル)接続仕様

通信速度：4800bps

### 〈宅配ボックスを直接、警報監視盤に接続する場合〉

注
●宅配ボックスの端子記号は、メーカーによって異なる場合があります。
●各通信プロトコル設定については付属の設定マニュアル(設定コード：C531)を参照してください。

■端子接続表

| 警報監視盤の端子記号 | 宅配ボックスの端子記号 |
|---|---|
| 3(RD+) | 3(SD+) |
| 4(RD−) | 4(SD−) |

### 〈宅配ボックスをインターフェース盤に接続する場合〉

注
●警報監視盤とインターフェース盤間にシールド付線を使用する場合は、シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
●インターフェース盤と宅配ボックス間のシールド線の片側は被ふくの根元より切断してください。
●宅配ボックスの端子記号は、メーカーによって異なる場合があります。
●インターフェース盤の設定が必要です。(設定マニュアル参照)

■インターフェース盤の状態表示灯の点灯について

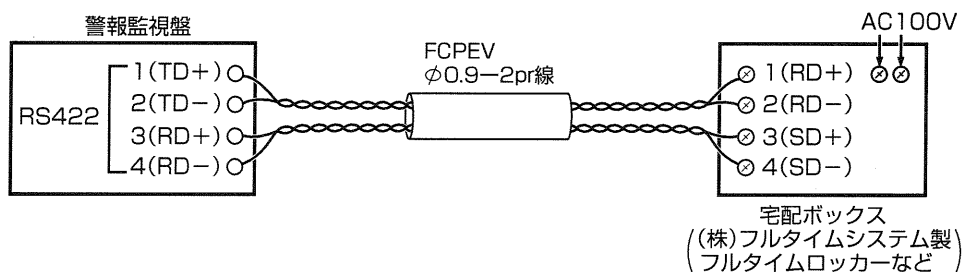
○：消灯　✹：点灯　✹：点滅

| 表示灯 | 待機時 | 宅配データ | |
|---|---|---|---|
| | | 送信時 | 受信時 |
| TD灯 | ○ | ○ | ○ |
| RD灯 | ○ | ○ | ✹ |

※宅配システムが正常動作のときは、常時点滅します。

■端子接続表

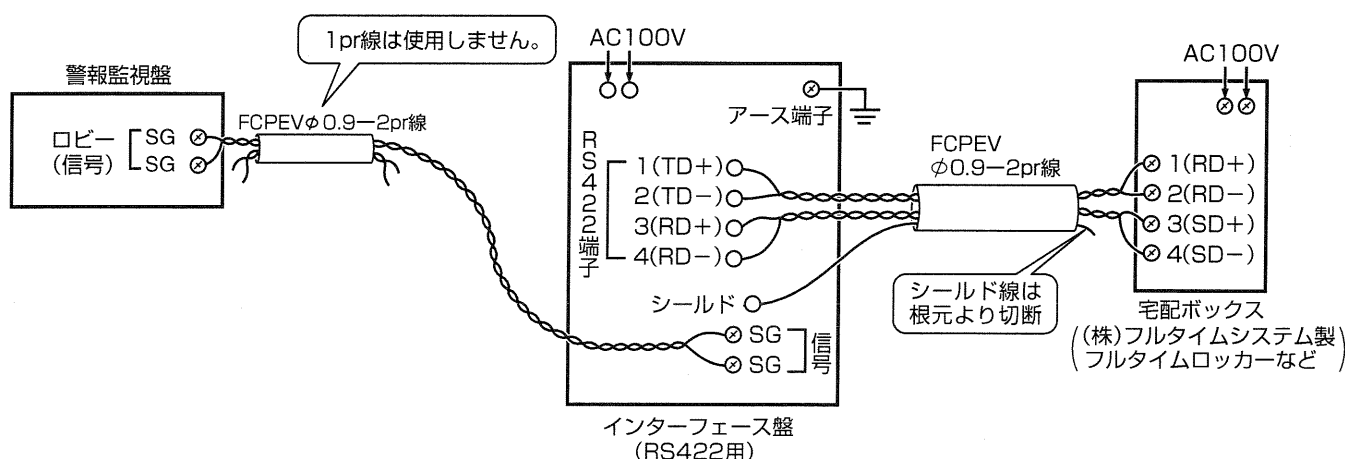
| インターフェース盤の端子記号 | 宅配ボックスの端子記号 |
|---|---|
| 3(RD+) | 3(SD+) |
| 4(RD−) | 4(SD−) |

## FPC(フルタイムプロトコル)接続仕様　通信速度：4800bps

### 〈宅配ボックスを直接、警報監視盤に接続する場合〉

注 ●宅配ボックスの端子記号は、メーカーによって異なる場合があります。
●各通信プロトコル設定については付属の設定マニュアル(設定コード：C531)を参照してください。

**■端子接続表**

| 警報監視盤の端子記号 | 宅配ボックスの端子記号 |
|---|---|
| 1(TD+) | 1(RD+) |
| 2(TD−) | 2(RD−) |
| 3(RD+) | 3(SD+) |
| 4(RD−) | 4(SD−) |

### 〈宅配ボックスをインターフェース盤に接続する場合〉

注 ●警報監視盤とインターフェース盤間にシールド付線を使用する場合は、シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
●インターフェース盤と宅配ボックス間のシールド線の片側は被ふくの根元より切断してください。
●宅配ボックスの端子記号は、メーカーによって異なる場合があります。
●インターフェース盤の設定が必要です。(設定マニュアル参照)

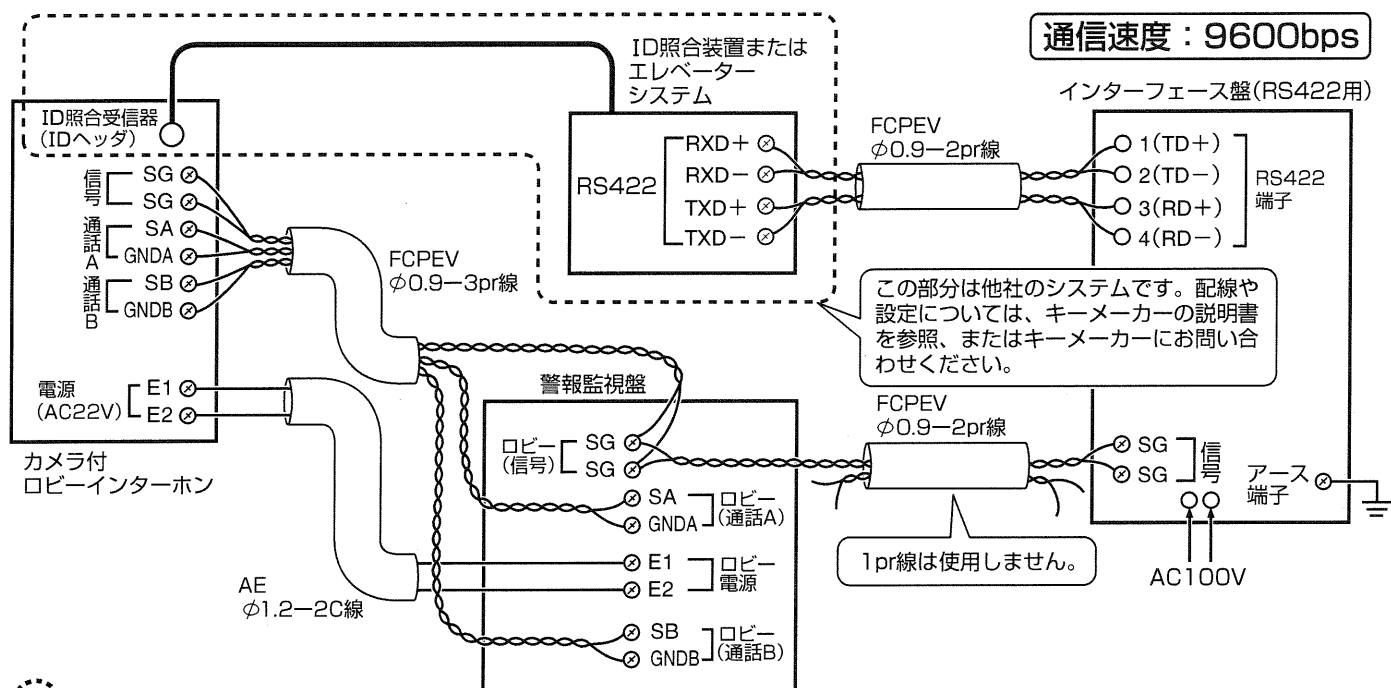
**■インターフェース盤の状態表示灯の点灯について**

○：消灯　✱：点灯　☀：点滅

| 表示灯 | 待機時 | 宅配データ | |
|---|---|---|---|
| | | 送信時 | 受信時 |
| TD灯 | ○ | ☀ | ○ |
| RD灯 | ○ | ○ | ☀ |

**■端子接続表**

| インターフェース盤の端子記号 | 宅配ボックスの端子記号 |
|---|---|
| 1(TD+) | 1(RD+) |
| 2(TD−) | 2(RD−) |
| 3(RD+) | 3(SD+) |
| 4(RD−) | 4(SD−) |

## ⑥ ID照合装置またはエレベーターシステムとの接続

注
- ID照合装置またはエレベーターシステムの端子記号は、メーカーによって異なる場合があります。
- インターフェース盤の設定でID照合受信器(IDヘッダ)のゲート番号とロビーインターホンのロビー番号を対応させる必要があります。
  設定マニュアルのインターフェース盤(RS422用)の「ゲート番号設定」を参照。
- ID照合装置からの信号には、ID情報として「住戸番号+個別番号」の通信が必要です。

**■インターフェース盤の状態表示灯の点灯について**

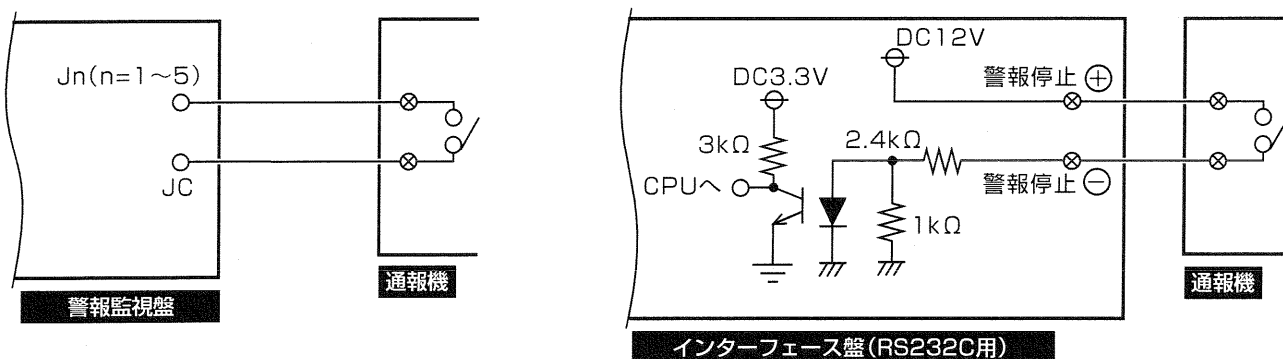
○：消灯　☀：点灯　☀：点滅

| 表示灯 | 待機時 | ID照合データ | |
|---|---|---|---|
| | | 送信時 | 受信時 |
| TD灯 | ○ | ☀ | ○ |
| RD灯 | ○ | ○ | ☀ |

**■端子接続表**

| ID照合装置またはエレベーターシステムの端子記号 | インターフェース盤の端子記号 |
|---|---|
| RXD+ | 1(TD+) |
| RXD− | 2(TD−) |
| TXD+ | 3(RD+) |
| TXD− | 4(RD−) |

## 警報停止入力回路

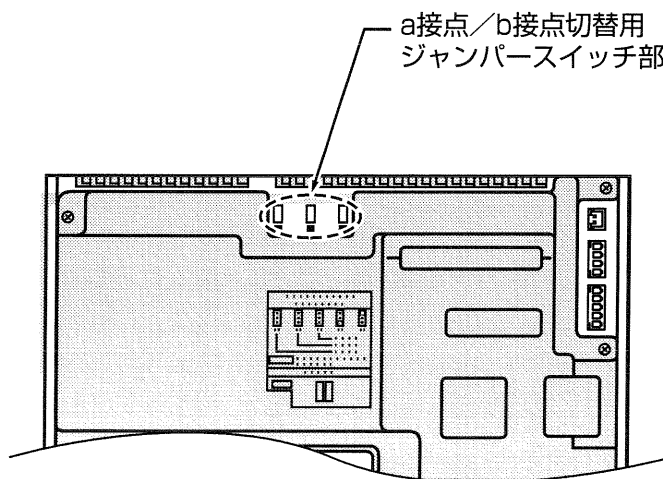
- 警報停止に入力を与えることで、警報監視盤で鳴動している警報音やトラブル音を止めることができます。
- 通報機と警報監視盤を接続し、通報機より警報監視盤の警報音やトラブル音を停止する場合は、汎用入力回路の機能設定を「警報音停止」に設定してください。設定マニュアル(設定コード：C512)を参照。
  (通報機とインターフェース盤を接続する場合は、設定は不要です。)
- 無電圧a接点またはトランジスタ出力を入力してください。トランジスタ出力の場合は、2mA以上の電流が流れるようにしてください。
- 入力時間は、0.5秒以上のワンショット入力としてください。

## ⑦ 移報接点出力の仕様

**注** 各移報接点出力の容量はすべてDC30V 1Aです。

警報監視盤

| 代表移報 | 端子 | 内容 |
|---|---|---|
| 代表移報1 | DF1 / DF1C | 代表移報1（無電圧a接点） |
| 代表移報2 | DF2 / DF2C | 代表移報2（無電圧a接点） |
| 代表移報3 | DF3 / DF3C | 代表移報3（無電圧a接点） |
| 代表移報4 | DF4 / DF4C | 代表移報4（無電圧a接点）※1 |
| 代表移報5 | DF5 / DF5C | 代表移報5（無電圧a接点）※1 |
| 代表移報6 | DF6 / DF6C | 代表移報6（無電圧a接点）※1 |

代表移報内容については
設定マニュアル（設定コード：C511）を参照。

※1 代表移報4〜6についてはa接点出力（常時開出力）、b接点出力（常時閉出力）の切り替えが可能です。（a接点／b接点の切り替え）

カバーをはずした図

# 配線可能距離

( )内は1通話・1映像の場合

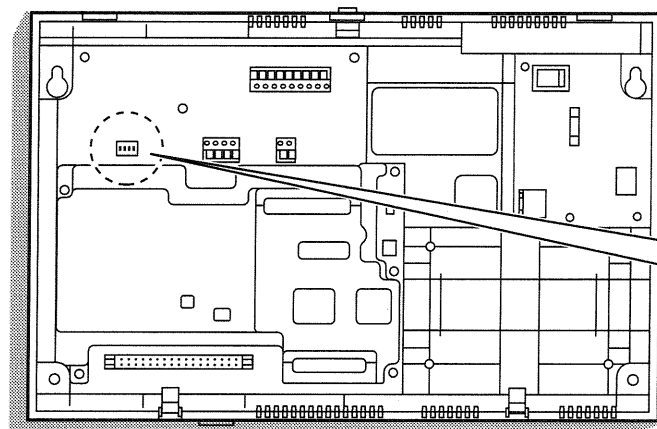
| 配線区間 | 使用電線 | 配線可能距離 |
|---|---|---|
| 警報監視盤～通話・映像制御盤 | FCPEV φ0.9—3pr (2pr) | 150m |
| 警報監視盤～住宅情報盤 | FCPEV φ0.9—3pr (2pr) | 300m |
| 警報監視盤～信号増幅器 | FCPEV φ0.9—3pr (2pr) | 300m |
| 信号増幅器 住戸系統2出力～信号増幅器 | | |
| 信号増幅器 住戸系統2出力～住宅情報盤 | | |
| 警報監視盤～信号増幅器 住戸系統1出力～住宅情報盤 | | |
| 警報監視盤～ロビーインターホン | FCPEV φ0.9—3pr (2pr) | 100m ※1 |
| | AEφ1.2—2C | |
| 警報監視盤～副警報監視盤 | FCPEV φ0.9—3pr (2pr) | 100m |
| | AEφ1.2—2C | |
| 警報監視盤～ドアホン子器 | AEφ0.9—3C | 50m |
| 警報監視盤～インターフェース盤 | FCPEV φ0.9—2pr | 300m |
| 警報監視盤～通報機 | FCPEV φ0.9—2prまたは4pr | 15m |
| 警報監視盤～宅配ボックス | FCPEV φ0.9—2pr | 100m |
| 警報監視盤～カメラアダプター | FCPEV φ0.9—2pr | 300m |
| 副警報監視盤～ドアホン子器 | AE φ0.9—3C | 50m |
| ロビーインターホン～通話・映像制御盤 | FCPEV φ0.9—2pr ※2 | 150m |
| ロビーインターホン～カラーカメラ子器 | AEφ0.9—2C ※3 | 100m ※1 |
| ロビーインターホン～非常解錠用押釦(または電気錠非常解錠装置) | AEφ0.9—2C ※3 | 20m |
| ロビーインターホン～電気錠制御盤 | AEφ0.9—2C ※3 | 20m |
| インターフェース盤(RS232C用)～通報機 | FCPEV φ0.9—2prまたは4pr | 15m |
| インターフェース盤(RS422用)～宅配ボックス | FCPEV φ0.9—2prまたは4pr | 100m |
| インターフェース盤(RS422用)～ID照合装置 | FCPEV φ0.9—2pr | 100m |
| インターフェース盤(RS422用)～エレベーター | FCPEV φ0.9—2pr | 100m |
| 通話・映像制御盤～最遠端の分岐器 | FCPEV φ0.9—3pr (2pr) | 150m |
| 通話・映像制御盤～カメラアダプター | FCPEV φ0.9—2pr ※2 | 150m |
| カメラアダプター～カラーカメラ子器 | AEφ0.9—2C ※3 | 100m |
| 分岐器～住宅情報盤 | FCPEV φ0.9—3pr (2pr) | 50m |

※1：警報監視盤から電源供給をしているカメラ付ロビーインターホンに別置カメラ(カラーカメラ子器)を接続する場合は、警報監視盤～別置カメラ(カラーカメラ子器)間を100m以内にしてください。
※2：AEφ0.9—2C線2本でも接続可能です。
※3：FCPEV φ0.9-2pr線も使用できます。

注
- 「pr」はツイストペア線を示します。
- シールドは使用しませんので、被ふくの根元より切断してください。
- 接続する住宅情報盤の機種により通話線(S, GND)の総長は変わります。
- 信号線(SG, SG)の総長は2,000m以内としてください。信号線が2,000mを越える場合は、2,000mごとに信号増幅器が必要です。
  通話・映像については、12ページを参照してください。

# 機能設定

## 副警報監視盤

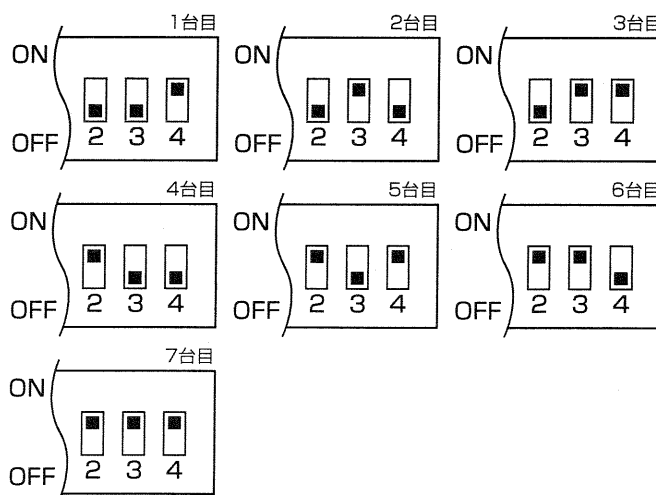
●テンキーボタンでの設定については、設定マニュアルを参照してください。

ベース(カバーをはずした図)

**使用しません(スイッチ1)**

必ず「OFF」側のまま設定してください。

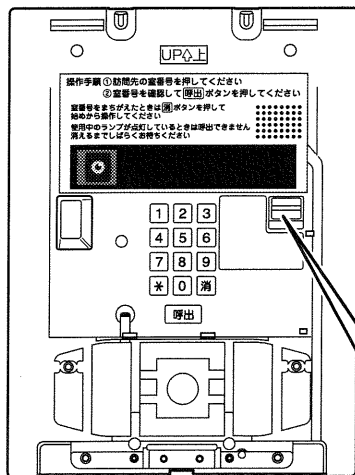
**アドレス設定(スイッチ2~4)**

副警報監視盤の接続台数に応じて下図のように設定してください。最大7台まで接続可能です。

注 2台以上接続する場合は、専用の別置電源(Uオーダー)が必要です。

## カメラ付ロビーインターホン／ロビーインターホン

●テンキーボタンでの設定については、設定マニュアルを参照してください。

### ①ゴムカバーを開ける。
### ②機能設定をする。

●図はカメラ付ロビーインターホンの場合を示します。

**非常解錠音 有／無設定(スイッチ7)**

非常解錠用押釦で共同玄関解錠を行った場合、ロビーで非常音(ピー音)を鳴動させるかどうかを設定します。

7 有(ON)側 ：非常音鳴動あり

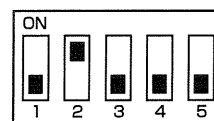
7 無(OFF)側：非常音鳴動なし

出荷時設定

**ロビーインターホン アドレス設定(スイッチ1～6)**

ロビーインターホンおよびカメラ付ロビーインターホンの接続台数に応じて設定します。
(出荷時はロビーインターホン1台目)

例

8+4+1=13
13台目

**住戸警報確認設定(スイッチ8)**

8 全警報側：(ON) 火災・ガス・非常・防犯・不完全燃焼(CO)の警報が発生した場合、警報発生住戸番号を表示します。

8 火災側：(OFF) 火災警報のみ警報発生住戸番号を表示します。

**設定モードスイッチ**

付属の設定マニュアルにしたがって、テンキーボタンによる設定を行う場合に使用します。設定スイッチによる機能設定を行う場合は「OFF( )」側のまま設定してください。

**別置カメラ設定(スイッチ1・2)**

別置カメラの接続の有無、および別置カメラ端子(ME1－ME2)に接続する機器の種別を設定します。

<別置カメラ 有/無設定>

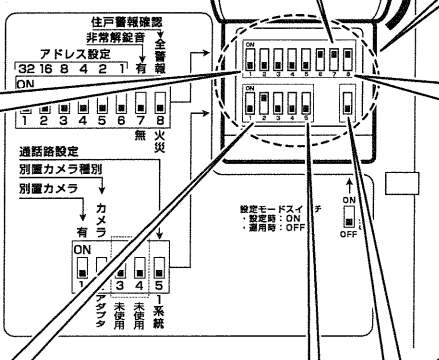
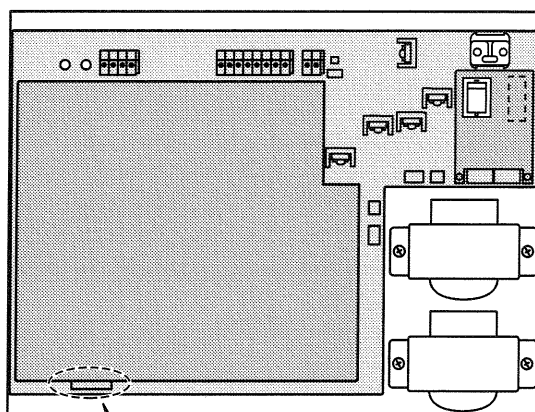
1 有(ON)側 ：別置カメラを接続する場合

1 無(OFF)側：別置カメラを接続しない場合

<別置カメラ種別設定>

通常は「カメラ(ON/ 2 )」側で使用してください。

**通話路設定(スイッチ5)**

幹線切替システム(Uオーダー)の場合のみ使用します。
通常は「1系統(OFF/ 5 )」側で使用してください。

## カメラアダプター

内器ブロック（カバーを開けた図）

出荷時設定

### 使用しません（スイッチ9・10）

必ず「OFF」側のまま設定してください。

### アドレス設定（スイッチ5～8）

カメラアダプターの接続台数に応じて、下図のように設定してください。最大16台まで接続可能です。

1台目

ON
5 6 7 8

2台目

ON
5 6 7 8

3台目

ON
5 6 7 8

4台目

ON
5 6 7 8

5台目

6台目

7台目

ON
5 6 7 8

8台目

9台目

10台目

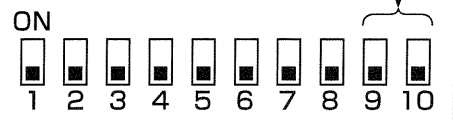
11台目

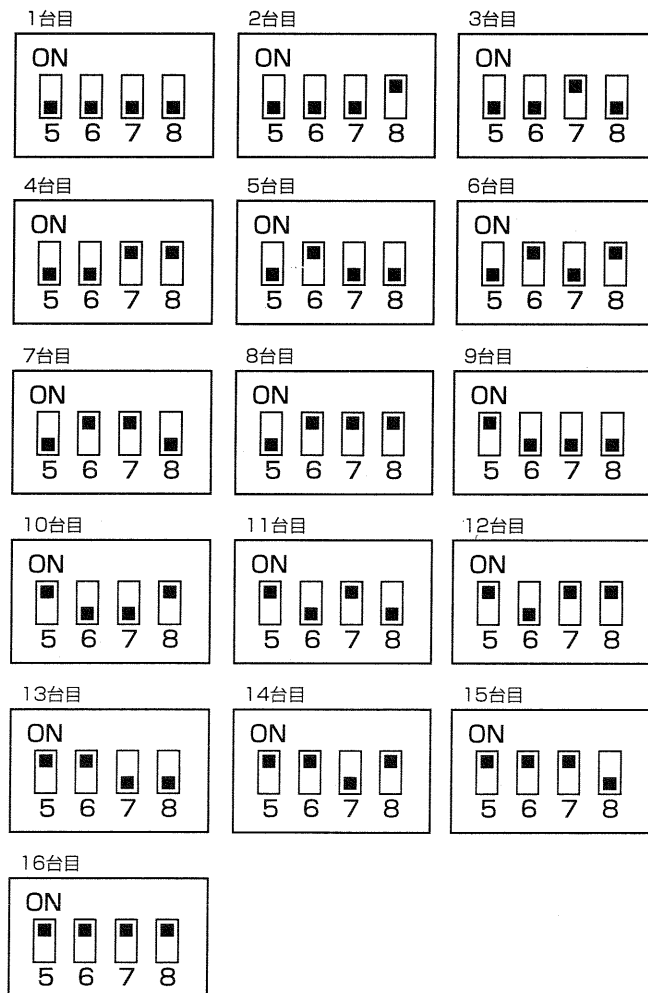
12台目

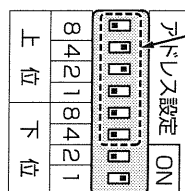
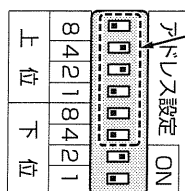
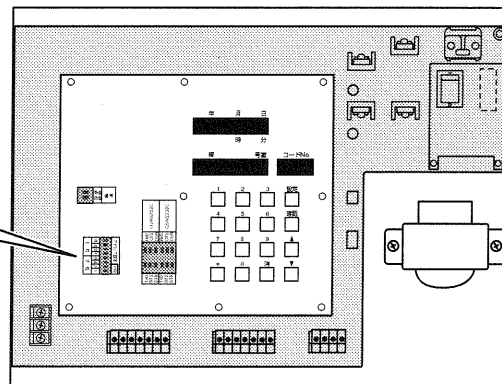
13台目

14台目

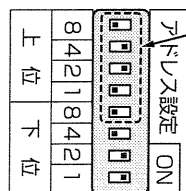
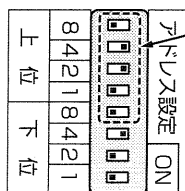
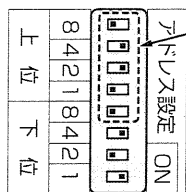
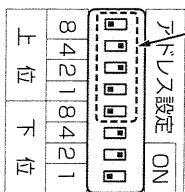
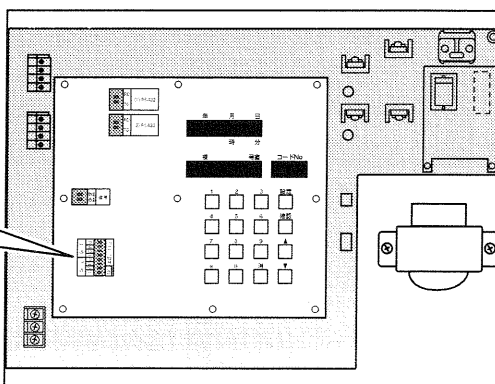
15台目

16台目

### カメラ逆光補正（スイッチ1～4）

- 住戸にて映像が見えにくい場合はスイッチを「ON」側にしてください。
  映像が見やすくなります。
  （背景が明るく顔が暗い場合や、顔が明る過ぎる場合に「ON」側にすると見やすい映像に補正されます。）
- スイッチを変更後、再度映像を確認してください。
  （映像が映し出されているときに補正不可です。）
- 設定は各カメラごとに設定可能です。
  （右図参照）

## インターフェース盤(RS232C用)

●設定を変更する場合は、インターフェース盤(RS232C用)の電源スイッチを「切」側の状態で行ってください。
●テンキーボタンでの設定については、設定マニュアルを参照してください。
●接続台数に応じて、設定してください。

内器ブロック(カバーを開けた図)

## インターフェース盤(RS422用)

●設定を変更する場合は、インターフェース盤(RS422用)の電源スイッチを「切」側の状態で行ってください。
●テンキーボタンでの設定については、設定マニュアルを参照してください。
●接続台数に応じて、設定してください。

内器ブロック(カバーを開けた図)

# 施工後の確認方法

## 施工後のご注意

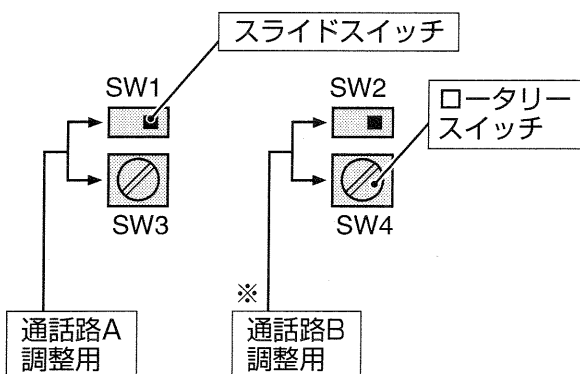
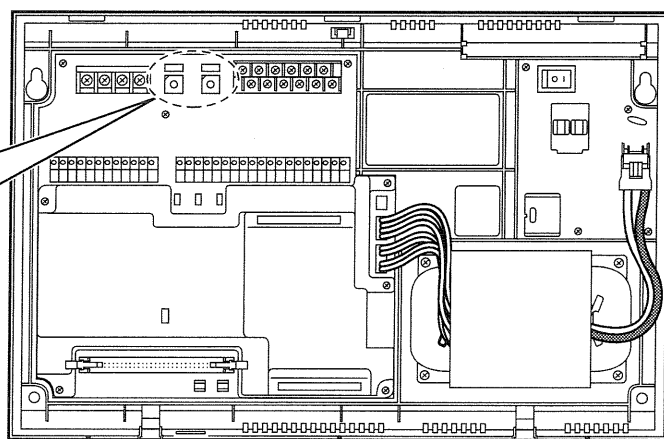
●システム全体の結線終了後、各接続機器の電源を入れた後、警報監視盤の［交流電源スイッチ］を入れてください。
●その後、［機器登録スイッチ］を押してください。機器登録スイッチを押すと接続機器が登録されます。

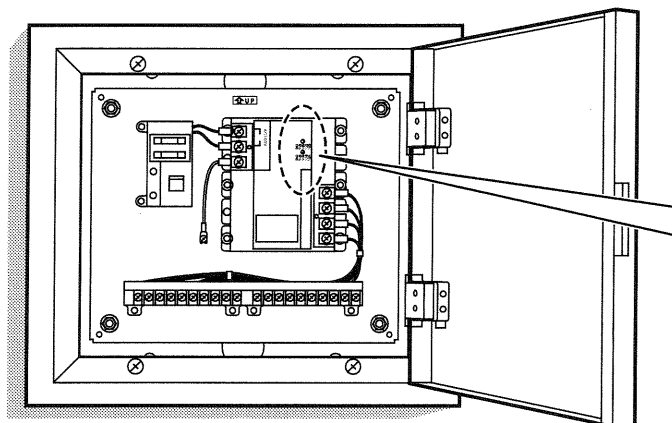
●感知器への配線が断線した場合は、火災回路断線警報が、ガスもれ警報器が取りはずされた場合はガス警報異常警報が送られます。この場合、警報監視盤のトラブル確認スイッチで住戸番号を確認し、現場を復旧した後、復旧スイッチでトラブル表示を消してください。

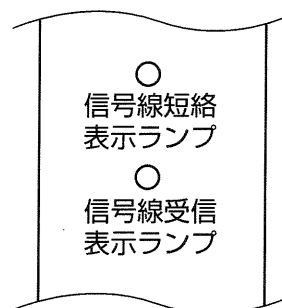
**住戸数、配線方法などの違いによって、通話の際に耳ざわりな音が聞こえる場合があります。その場合は、警報監視盤で下記の操作で調整してください。**

1 管理室と住戸とで通話を行いながら、SW3のロータリースイッチを徐々にまわして一番通話しやすい状態にしてください。

2 1 の調整で改善できない場合は、SW1のスライドスイッチを反対側に切り替えてから、再度 1と同様の調整を行ってください。

注 ロータリースイッチは、㊀ドライバーで操作してください。

※SW4のロータリースイッチとSW2のスライドスイッチは「通話路B」調整用です。
2通話路システムの場合に、必要に応じて上記と同様の調整を行ってください。

カバーをはずした図

## 信号増幅器の表示灯を確認してください。

●下記のようになっているか確認してください。
●異常がある場合は、下記の「異常時の点検一覧表」にしたがって確認してください。

| | |
|---|---|
| 信号線受信表示ランプ | 緑色点滅 |
| 信号線短絡表示ランプ | 消　灯 |

## ■信号増幅器の異常時の点検一覧表

| 状　態 | 点　検 | 処　置 |
|---|---|---|
| 住戸系統2出力に接続されて住宅情報盤が動作しない | 電源スイッチが「切」側になっていませんか? | 電源スイッチを「入」側にしてください。 |
| | ブレーカーが「切」側になっていませんか? | ブレーカーを「入」側にしてください。 |
| | ヒューズF1、F2(2A)が切れていませんか? | ヒューズ(2A)を交換してください。 |
| 信号線短絡表示ランプが赤色点灯する | 住戸系統2出力の配線が短絡していませんか? | 配線を確認してください。 |

# 警報監視盤

## 点検機能による確認

●警報監視盤の点検スイッチで「点検モード」に入り、接続機器との配線の確認などを行うことができます。

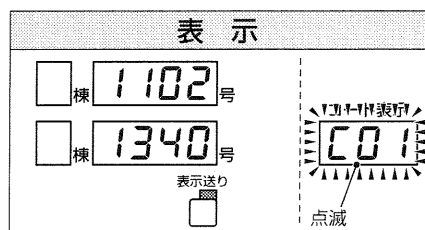
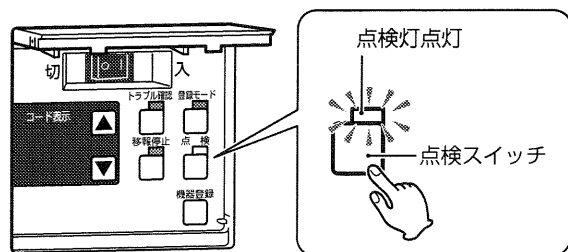
注 ●警報が表示されている場合、「点検モードに入ることはできません。また、「点検モード」中に警報が発生した場合や住戸・ロビーインターホンから呼び出された場合、自動的に「点検モード」を終了します。ただし、通話・映像ラインの配線確認(点検コード：C11)時は、住戸・ロビーインターホンから呼び出されても「点検モード」を終了しません。
●3分以上操作しない場合は、自動的に「点検モード」を終了します。

### 〈点検項目一覧表〉

| 点検コード | 点検内容 | 説明 |
|---|---|---|
| C01 | 住宅情報盤との通信確認 | テンキーボタンで選択した住宅情報盤との通信確認を行います。 |
| C11 | 通話・映像ラインの配線確認 | 使用する通話・映像ラインを指定して呼び出し・通話を行います。 |
| C21 | 住宅情報盤での宅配表示確認 | 住宅情報盤で宅配表示の確認を行います。 |
| C31 | RS232Cポート送信履歴確認(1) | 通報機への通信履歴(警報・トラブル・防犯警戒・リセット情報)の確認を行います。 |
| C32 | RS232Cポート送信履歴確認(2) | 通報機への通信履歴(宅配)などの確認を行います。 |
| C33 | RS232Cポート受信履歴確認 | Uオーダー対応時に使用します。 |
| C34 | RS422ポート宅配ボックス通信履歴確認 | 宅配ボックスからの宅配情報の受信履歴の確認を行います。 |
| C35・C36・C37 | — | エミット・マンションシステムで使用します。 |
| C41 | 住宅情報盤へのシステムデータの送信 | 取り替えなどにより登録データを持っていない住宅情報盤に対して登録情報を送信します。 |
| C43 | 録画・録音データの一括消去 | 住宅情報盤の録画・録音データを一括消去します。<br>注 SDメモリーカードのデータは消去できません。 |

### 〈点検手順〉

**1 点検スイッチを押す。**

●点検灯が点灯し、現在の時刻が約5秒間表示されます。
●コード表示窓に点検コードの初期値(C01)が点滅表示されます。

**2 テンキーボタンで点検する。**

●各項目の点検は58ページ～68ページにしたがって実施してください。

**3 点検スイッチを押す。**

●点検灯が消灯し、点検モードが終了します。

## 〈各項目の点検手順〉

### ■住宅情報盤との通信確認（C01）

| テンキー操作 | 表示 | | 操作説明 |
|---|---|---|---|
| [*][0][1] | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C01 点滅 | ●点検コードを入力<br>●[▲]または[▼]を押して点検コードを選択することもできます。 |
| [呼出] | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C01 点灯 | ●点検コードの確定 |
| [1][2][0][8] | 棟 号 / 棟 1208 号 / 表示送り | コード表示 C01 | ●通信確認を行う住戸番号を入力<br>例）1208号室 |
| [呼出] | 棟 0000 号 / 棟 1208 号 / 表示送り | コード表示 C01 | ●通信結果を表示<br>正常時：0000<br>異常時：---- |
| | 棟 ---- 号 / 棟 1208 号 / 表示送り | コード表示 C01 | |

注 住宅情報で呼出音は鳴動しません。

**異常時の処置**

- ●住宅情報盤への信号線が断線している。
  ➡配線の導通を確認する。
- ●住宅情報盤の電源が切れている。
  ➡住宅情報盤のブレーカーを確認する。

## ■通話・映像線の配線確認（C11）

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
|---|---|---|
| [*][1][1] ※1 | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り / コード表示 C11 点滅 | ●点検コードを入力<br>●[▲]または[▼]を押して点検コードを選択することもできます。 ※2 |
| [呼出] | 棟 1号 / 棟 号 / 点灯 表示送り / コード表示 C11 点灯 | ●点検コードを確定し、現在の通話･映像路を表示<br>初期値：A通話･映像路 |
| 表示送り ※3 | 棟 2号 / 棟 号 / 表示送り / コード表示 C11 | ●確認する通話･映像路を選択<br>2：B通話･映像路 |
| [1][5][0][1] | 棟 2号 / 棟 1501号 / 表示送り / コード表示 C11 | ●住戸番号を入力<br>例）1501号室 |
| [呼出] | 棟 2号 / 棟 1501号 / 表示送り / コード表示 C11 | ●住戸番号を確定<br>〈通話確認〉<br>住戸と通話してください。<br>〈映像確認〉<br>カメラ付ロビーインターホンから住戸の呼び出しを行ってください。 |

設定値

1：A通話・映像路
2：B通話・映像路
3：A通話・映像路（増設）
※オプション仕様
4：B通話・映像路（増設）
※オプション仕様

初期設定

1：A通話・映像路

※1：「C01」の点検の後に他の点検を行う場合は、[▲]または[▼]を押して点検コードを選択してください。
（[*]を押しても選択できません。）

※2：「C31」､「C32」､「C34」の点検の後に他の点検を行う場合は、[*][ ][ ]（点検コード）を押して点検コードを入力してください。（[▲]または[▼]を押しても表示できません。）

※3：通話路設定が「1通話路」に設定されている場合、表示送りはできません。（表示送り灯は消灯します。）

## ■住宅情報盤での宅配表示確認（C21）

| テンキー操作 | 表示 | | 操作説明 |
|---|---|---|---|
| [*][2][1] ※1 | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C21 点滅 | ●点検コードを入力<br>●[▲]または[▼]を押して点検コードを選択することもできます。 ※2 |
| [呼出] | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C21 点灯 | ●点検コードを確定し、住宅情報盤が宅配表示確認状態になる |

注 点検モード中に登録した宅配登録は、点検モードを終了すると自動的に削除されます。

●宅配登録スイッチ、宅配削除スイッチを押して住宅情報盤での宅配表示の確認ができます。
操作については、住宅情報盤の説明書および警報監視盤の取扱説明書「宅配機能」を参照してください。

※1：「C01」の点検の後に他の点検を行う場合は、[▲]または[▼]を押して点検コードを選択してください。
（[*]を押しても選択できません。）

※2：「C31」、「C32」、「C34」の点検の後に他の点検を行う場合は、[*][ ][ ]（点検コード）を押して点検コードを入力してください。（[▲]または[▼]を押しても表示できません。）

## ■RS232Cポート通信履歴確認（C31）

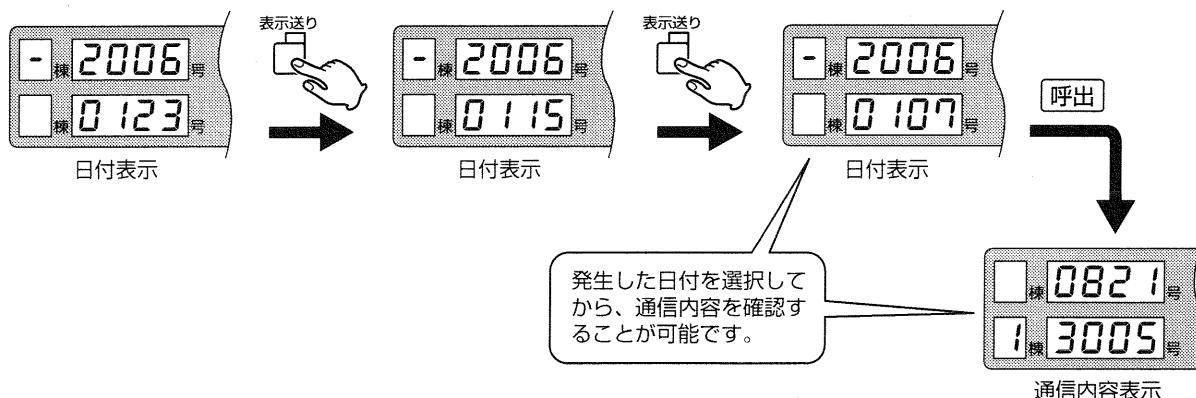
●警報・トラブル・防犯警戒・リセット情報の通信履歴の確認ができます。

| テンキー操作 | 表示 | | 操作説明 |
|---|---|---|---|
| [*][3][1] ※1 | □棟□号 / □棟□号 / 表示送り | C31 点滅 | ●点検コードを入力<br>●[▲]または[▼]を押して点検コードを選択することもできます。 ※2 |
| [呼出] | -棟2006号 / 棟0123号 / 点灯 表示送り | C31 点灯 | ●点検コードを確定し、最新の通信年月日を表示<br>例）2006年1月23日<br>●履歴が複数日ある場合表示送り灯が点灯 ※3 |
| [呼出] | 棟0930号 / 2棟1002号 / 表示送り | コード表示 003 | ●通信内容を表示<br>0930：9時30分<br>21002：2棟 1002号室<br>003：非常発生 |
| [▲]または[▼] | 棟0745号 / 1棟2010号 / 表示送り | コード表示 007 | ●他の履歴の通信内容を表示<br>●発生日が同じ場合 |
| | d棟0621号 / 1棟0502号 / 表示送り | コード表示 031 | ●発生日が異なる場合は時刻表示前に「d」を表示<br>●この場合、発生日を表示させるには[呼出]を押す |

コード表示窓に表示される通信履歴コードについては、62ページを参照。

※1：「C01」の点検の後に他の点検を行う場合は、[▲]または[▼]を押して点検コードを選択してください。
（[*]を押しても選択できません。）

※2：「C31」、「C32」、「C34」の点検の後に他の点検を行う場合は、[*]□□（点検コード）を押して点検コードを入力してください。（[▲]または[▼]を押しても表示できません。）

※3：表示送り灯が点灯した場合に表示送りスイッチを押すと他の履歴の発生日を確認できます。

## ■通信履歴コード一覧表（警報・トラブル・防犯警戒・リセット情報）

| イベント内容 | | 通話住戸表示窓 | コード表示窓（履歴コード）※1 | リモートプロトコル | HPCプロトコル | HKOSプロトコル | 大興プロトコル | 岩通アイセックプロトコル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 火災 | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 001 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 復旧 | | F01 | | | | | |
| ガス | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 002 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 復旧 | | F02 | | | | | |
| 非常 | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 003 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 復旧 | | F03 | | | | | |
| 防犯(防犯1) | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 004 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 復旧 | | F04 | | | | | |
| 防犯2 | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 005 | — | — | — | — | — |
| | 復旧 | | F05 | | | | | |
| 緊急コール（コール1） | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 007 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 復旧 | | F07 | | | | | |
| CO | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 011 | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| | 復旧 | | F11 | | | | | |
| 水もれ | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 012 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 復旧 | | F12 | | | | | |
| 戸外点検発報 | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 015 | — | — | ○ | — | — |
| | 復旧 | ― ― ― | - - - | | | | | |
| 諸警報 | 発生 | _棟_△△△ | 016 | — | — | — | — | — |
| | 復旧 | | F16 | | | | | |
| 火災回路断 | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 021 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○「発生：021 復旧：F21」で表示 |
| | 復旧 | | F21 | | | | | |
| ガス異常 | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 022 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 復旧 | | F22 | | | | | |
| 住戸電源断 | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 023 | ○ | — | — | ○ | — |
| | 復旧 | | F23 | | | | | |
| ワイヤレス電池切れ | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 024 | — | — | — | — | — |
| | 復旧 | | F24 | | | | | |
| 外部機器障害 | 発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 025 | — | — | — | — | — |
| | 復旧 | | F25 | | | | | |
| 防犯警戒(1) | セット | ▲棟▲▲▲▲ | 031 | ○ | — | ○ | ○ | — |
| | セット解除 | | F31 | | | | | |
| 防犯警戒2 | セット | ▲棟▲▲▲▲ | 032 | — | — | — | — | — |
| | セット解除 | | F32 | | | | | |
| リセット情報 | イニシャル通知 全クリア | 0棟0000 | 400 | — | — | — | — | — |
| | イニシャル通知 宅配クリア | | 401 | | | | | |
| | 更新完了 | | 500 | | | | | |

○：各プロトコルで発生するイベントを示す。
—：各プロトコルで発生しないイベントを示す。
▲棟▲▲▲▲：住戸番号を示す。
△△△：諸警報回線番号を示す。

※1：●各ケタの後ろに「．」（ピリオド）が表示されている場合は、「送信失敗」を表示します。

例）火災発生送信失敗

0.0.1.

注：送信失敗とは、警報監視盤までは通信データは出力されているが通報機へ出力できなかったことを示します。

●1ケタ目の後ろに「．」（ピリオド）が表示されている場合は、移報停止スイッチを押して通報機に出力しなかった履歴です。

例）移報停止スイッチを押している間に火災発生

0.01

注：移報停止中に発生した送信イベントは移報停止解除しても送信されません。

## ■RS232Cポート通信履歴確認（C32）

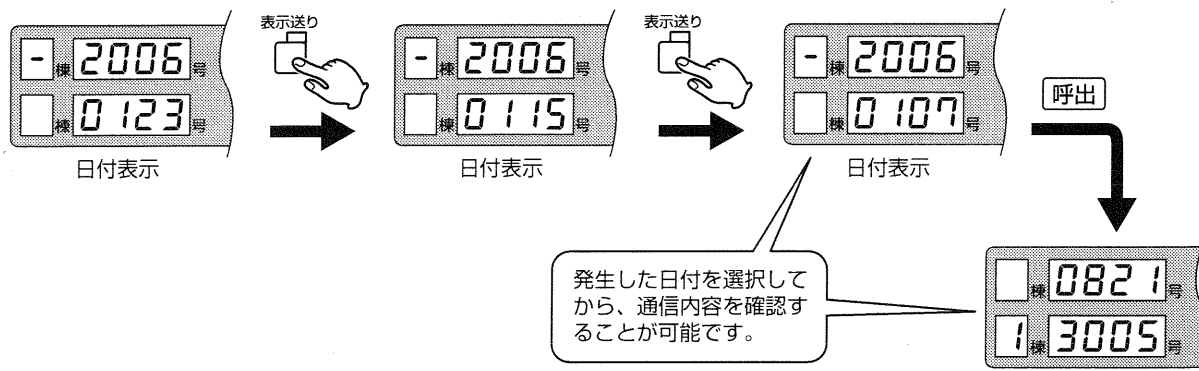
●宅配・来客・留守・ID・住戸状態確認情報の通信履歴の確認ができます。

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
|---|---|---|
| [*][3][2] ※1 | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り / コード表示 C32 点滅 | ●点検コードを入力<br>●[▲]または[▼]を押して点検コードを選択することもできます。<br>※2 |
| [呼出] | - 棟 2006 号 / 棟 0123 号 / 点灯 表示送り / コード表示 C32 点灯 | ●点検コードを確定し、最新の通信年月日を表示<br>例）2006年1月23日<br>●履歴が複数日ある場合表示送り灯が点灯<br>※3 |
| [呼出] | 棟 0930 号 / 2 棟 1002 号 / 表示送り / コード表示 F42 | ●通信内容を表示<br>0930：9時30分<br>21002：2棟 1002号室<br>F42：宅配出庫 |
| [▲]または[▼] | 棟 0745 号 / 2 棟 1002 号 / 表示送り / コード表示 042 | ●他の履歴の通信内容を表示<br>●発生日が同じ場合 |
| | d 棟 0621 号 / 1 棟 0502 号 / 表示送り / コード表示 042 | ●発生日が異なる場合は時刻表示前に「d」を表示<br>●この場合、発生日を表示させるには [呼出] を押す |

コード表示窓に表示される通信履歴コードについては、64ページを参照。

※1：「C01」の点検の後に他の点検を行う場合は、[▲]または[▼]を押して点検コードを選択してください。（[*]を押しても選択できません。）

※2：「C31」、「C32」、「C34」の点検の後に他の点検を行う場合は、[*][ ][ ]（点検コード）を押して点検コードを入力してください。（[▲]または[▼]を押しても表示できません。）

※3：表示送り灯が点灯した場合に表示送りスイッチを押すと他の履歴の発生日を確認できます。

## ■通信履歴コード一覧表（宅配・来客・留守・ID・住戸状態確認情報）

| イベント内容 | | 通話住戸表示窓 | コード表示窓(履歴コード)※1 | リモートプロトコル | HPCプロトコル | HKOSプロトコル | 大興プロトコル | 岩通アイセックプロトコル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 留守情報 | セット | ▲棟▲▲▲▲ | 041 | — | — | — | — | — |
| | セット解除 | | F41 | | | | | |
| 宅配情報 | 着荷 | ▲棟▲▲▲▲ | 042 | ○ | — | — | — | — |
| | 出庫 | | F42 | | | | | |
| エレベーターコール | エレベーターコール | ▲棟▲▲▲▲ | 048 | — | — | — | — | — |
| | ——— | ——— | ——— | | | | | |
| 解錠情報 | 解錠 | △棟△△△△ | 1●● | — | — | — | — | — |
| | ——— | ——— | ——— | | | | | |
| 帰宅通知 | 帰宅 | ▲棟▲▲▲▲ | 2■■ | — | — | — | — | — |
| | ——— | ——— | ——— | | | | | |
| 住戸状態確認応答 | 確認応答 | ▲棟▲▲▲▲ | 3◆◆ | — | — | — | — | — |
| | 復旧 | ——— | ——— | | | | | |
| 来客情報 | 来客発生 | ▲棟▲▲▲▲ | 4●● | — | — | — | — | — |
| | 来客終了(応答) | | 7●● | | | | | |
| | 来客終了(無応答) | | 8●● | | | | | |

○：各プロトコルで発生するイベントを示す。
—：各プロトコルで発生しないイベントを示す。

▲棟▲▲▲▲：住戸番号を示す。
△棟△△△△：住戸番号または警報監視盤(0棟0000)を示す。
●●：ロビー番号を示す。(01～56)
■■：ID番号を示す。
◆◆：住戸状態の返信内容を示す。(下記参照)
80：伝送異常発生中または住戸登録なし
01：防犯警戒中
00：防犯警戒解除中

※1：各ケタの後ろに「.」(ピリオド) が表示されている場合は、「送信失敗」を表示します。

例）宅配着荷失敗

0.4.2.

注 送信失敗とは、警報監視盤までは通信データは出力されているが通報機へ出力できなかったことを示します。

## ■RS422ポート宅配ボックス通信履歴確認（C34）

●宅配ボックスの通信履歴が確認ができます。

### プロトコル設定が宅配ボックス(フルタイム仕様)の場合

| テンキー操作 | 表示 | | 操作説明 |
|---|---|---|---|
| ＊ 3 4 ※1 | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | C34 点滅 | ●点検コードを入力<br>●▲または▼を押して点検コードを選択することもできます。 ※2 |
| 呼出 | - 棟 2006 号 / 棟 0123 号 / 点灯 表示送り | C34 点灯 | ●点検コードを確定し、最新の通信年月日を表示<br>例）2006年1月23日<br>●履歴が複数日ある場合表示送り灯が点灯 ※3 |
| 呼出 | 棟 0930 号 / 2 棟 1002 号 / 表示送り | コード表示 053. | ●通信内容を表示<br>0930：9時30分<br>21002：2棟 1002号室<br>053.：宅配ボックス5番から宅配物を出庫し、他の宅配ボックスに3コ宅配物が残っている |
| ▲または▼ | 棟 0745 号 / 2 棟 1002 号 / 表示送り | コード表示 054 | ●他の履歴の通信内容を表示<br>●発生日が同じ場合 |
| | d 棟 1021 号 / 1 棟 0502 号 / 表示送り | コード表示 031 | ●発生日が異なる場合は時刻表示前に「d」を表示<br>●この場合、発生日を表示させるには 呼出 を押す |

コード表示窓の表示

●出庫履歴の場合は、1ケタ目の後ろに「.」(ピリオド)を表示する。

053.
出庫履歴

例）宅配ボックス5番から宅配物を出庫し、他の宅配ボックスに3コ宅配物が残っている場合

054
宅配物の入庫数(合計)
宅配ボックス番号

※1：「C01」の点検の後に他の点検を行う場合は、▲または▼を押して点検コードを選択してください。（＊を押しても選択できません。）

※2：「C31」、「C32」、「C34」の点検の後に他の点検を行う場合は、＊□□（点検コード)を押して点検コードを入力してください。(▲または▼を押しても表示できません。)

※3：表示送り灯が点灯した場合に表示送りスイッチを押すと他の履歴の発生日を確認できます。

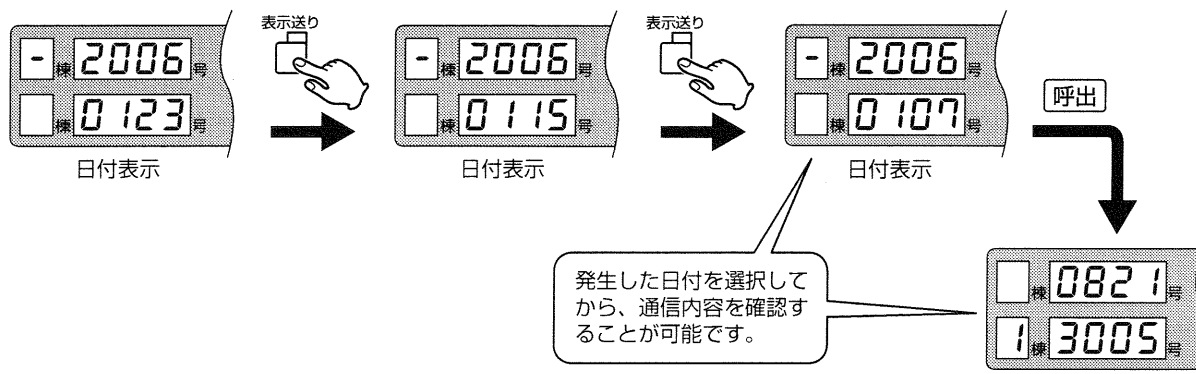
## プロトコル設定が宅配ボックス(クリナップ仕様)の場合

| テンキー操作 | 表示 | | 操作説明 |
|---|---|---|---|
| [*][3][4] ※1 | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C34 点滅 | ●点検コードを入力<br>●[▲]または[▼]を押して点検コードを選択することもできます。 ※2 |
| [呼出] | - 棟 2006 号 / 棟 0123 号 / 点灯 表示送り | コード表示 C34 点灯 | ●点検コードを確定し、最新の通信年月日を表示<br>例)2006年1月23日<br>●履歴が複数日ある場合表示送り灯が点灯 ※3 |
| [呼出] | 棟 0930 号 / 2 棟 1002 号 / 表示送り | コード表示 000 | ●通信内容を表示<br>0930:9時30分<br>21002:2棟 1002号室<br>000:宅配物を出庫 |
| [▲]または[▼] | 棟 0745 号 / 2 棟 1002 号 / 表示送り | コード表示 001 | ●他の履歴の通信内容を表示<br>●発生日が同じ場合 |
| | d 棟 1021 号 / 1 棟 0502 号 / 表示送り | コード表示 001 | ●発生日が異なる場合は時刻表示前に「d」を表示する<br>●この場合、発生日を表示させるには [呼出] を押す |

コード表示窓の表示
- 000 :宅配物を出庫
- 001 :宅配物を入庫

※1:「C01」の点検の後に他の点検を行う場合は、[▲]または[▼]を押して点検コードを選択してください。([*]を押しても選択できません。)

※2:「C31」、「C32」、「C34」の点検の後に他の点検を行う場合は、[*][ ][ ](点検コード)を押して点検コードを入力してください。([▲]または[▼]を押しても表示できません。)

※3:表示送り灯が点灯した場合に表示送りスイッチを押すと他の履歴の発生日を確認できます。

## ■住宅情報盤へのシステムデータの送信（C41）

●取り替えなどにより登録データを持っていない住宅情報盤に対して登録情報を送信します。

| テンキー操作 | 表示 | | 操作説明 |
| --- | --- | --- | --- |
| [＊] [4] [1] ※1 | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C41 点滅 | ●点検コードを入力<br>●[▲]または[▼]を押して点検コードを選択することもできます。 ※2 |
| [呼出] | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C41 点灯 | ●点検コードを確定 |
| [1] [5] [1] [5] | 棟 号 / 棟 1515 号 / 表示送り | コード表示 C41 | ●データ送信先の住戸番号を入力<br>例）1515室 |
| [呼出] | 棟 1515 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C41 | ●データ送信完了 |

注 存在しない住戸番号を入力した場合、[呼出]を押すと住戸番号が消えます。

※1：「C01」の点検の後に他の点検を行う場合は、[▲]または[▼]を押して点検コードを選択してください。（[＊]を押しても選択できません。）

※2：「C31」、「C32」、「C34」の点検の後に他の点検を行う場合は、[＊][ ][ ]（点検コード）を押して点検コードを入力してください。（[▲]または[▼]を押しても表示できません。）

## ■録画・録音データの一括消去（C43）

注 ●住宅情報盤内のSDメモリーカードに記録されているデータは消去されません。
●警報監視盤、インターフェース盤(RS232C用)・(RS422用)、各住宅情報盤が作動している状態で停電中の住戸の録画・録音データは消去できません。

| テンキー操作 | 表示 | | 操作説明 |
|---|---|---|---|
| [*][4][3] ※1 | 棟 号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C43 点滅 | ●点検コードを入力<br>●[▲]または[▼]を押して点検コードを選択することもできます。 ※2 |
| [呼出] | 棟 1号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C43 点灯 | ●点検コードを確定 |
| [0][0][0][0] | 棟 号 / 棟 0000号 / 表示送り | コード表示 C43 | ●録画・録音データ一括消去確認用番号(0000)を入力 |
| [呼出] | 棟 0000号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C43 | ●一括消去を確定 |
| [1][0][5][0] | 棟 0000号 / 棟 1050号 / 表示送り | コード表示 C43 | ●録画・録音データ一括消去実行用番号(1050)を入力 |
| [呼出] | 棟 oooo号 / 棟 号 / 表示送り | コード表示 C43 | ●一括消去を実行 |

※1：「C01」の点検の後に他の点検を行う場合は、[▲]または[▼]を押して点検コードを選択してください。([*]を押しても選択できません。)

※2：「C31」、「C32」、「C34」の点検の後に他の点検を行う場合は、[*][ ][ ]（点検コード）を押して点検コードを入力してください。([▲]または[▼]を押しても表示できません。)

# 通話・映像制御盤

## 配線の確認

### ■電源の確認

●結線終了後、電源スイッチを「ON」側にし、電源灯が緑色点灯することを確認する。2通話・2映像路に設定されている場合は、A通話・映像用電源灯、B通話・映像用電源灯の両方が緑色点灯することを確認する。

### ■2分配器への配線の確認

●短絡検知灯が消灯していることを確認する。2通話・2映像路に設定されている場合は、A通話・映像用短絡検知灯、B通話・映像用短絡検知灯の両方が消灯していることを確認する。

### ■映像入力線の確認

●短絡検知ボタンを押し、短絡検知灯が点灯しないことを確認する。2通話・2映像路に設定されている場合は、A通話・映像用短絡検知灯、B通話・映像用短絡検知灯の両方が点灯しないことを確認する。

## 通話ノイズの調整

●住戸数、配線方法の違いにより、通話中に雑音が混ざる場合があります。
下記の方法で通話時の雑音調整を行ってください。

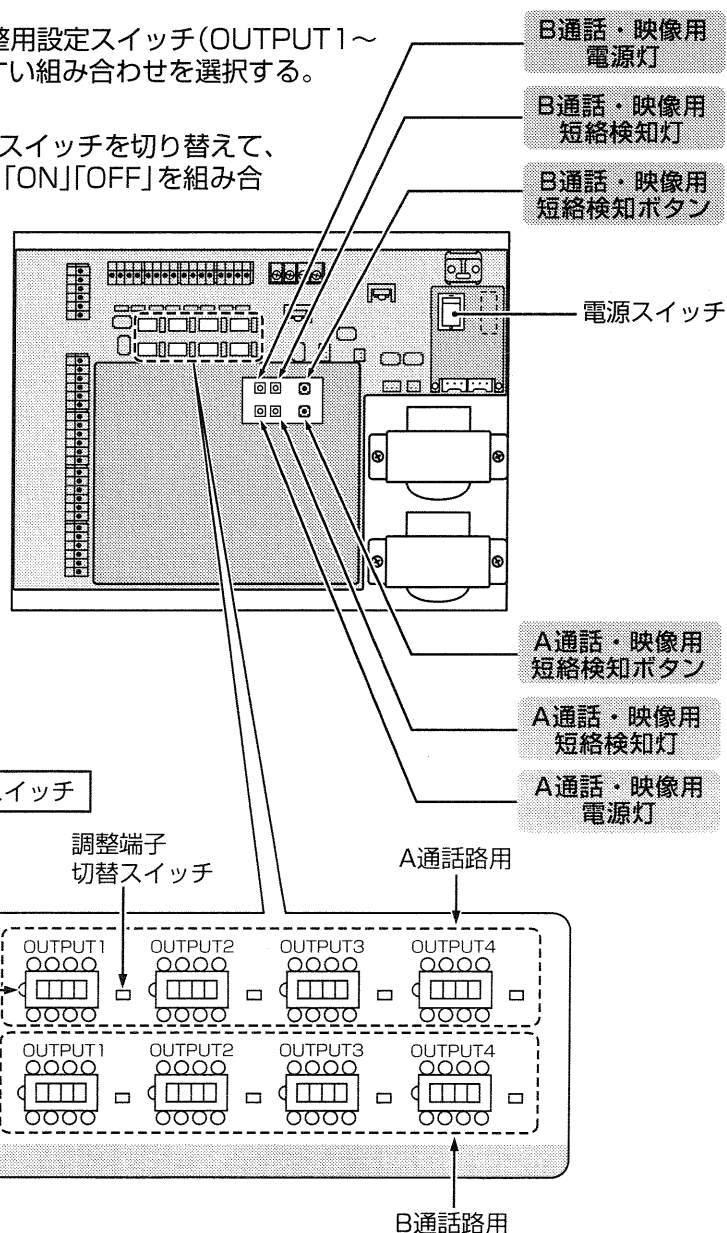
1 警報監視盤と住戸で通話をしながら、通話雑音調整用設定スイッチ(OUTPUT1～4)の「ON」「OFF」を組み合わせて、一番通話しやすい組み合わせを選択する。(「組み合わせパターン」参照)

2 1の調整でも改善されない場合は、調整端子切替スイッチを切り替えて、通話雑音調整用設定スイッチ(OUTPUT1～4)の「ON」「OFF」を組み合わせて調整する。
※映像増幅器(4出力用)も同様の調整ができます。

組み合わせパターン

○：OFF側／●：ON側

| 設定スイッチ | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| ○ | ○ | ○ | ● |
| ○ | ○ | ● | ○ |
| ○ | ○ | ● | ● |
| ○ | ● | ○ | ○ |
| ○ | ● | ○ | ● |
| ○ | ● | ● | ○ |
| ○ | ● | ● | ● |
| ● | ○ | ○ | ○ |
| ● | ○ | ○ | ● |
| ● | ○ | ● | ○ |
| ● | ○ | ● | ● |
| ● | ● | ○ | ○ |
| ● | ● | ○ | ● |
| ● | ● | ● | ○ |
| ● | ● | ● | ● |

注 OUTPUT2～4(A通話路／B通話路とも)の場合も、組み合わせパターンは同じです。

## インターフェース盤(RS232C用)

### ■送信データの確認方法

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
|---|---|---|
| [1][1][確認] | 年 月 日 061102 / 時 分 / 棟 号室 / コードNo | ●設定コードを入力し、[確認]を押す<br>●最新のデータを送信した年月日を表示<br>例）2006年11月2日 |
| [▼] | 年 月 日 --1340 / 時 分 / 棟 号室 010315 / コードNo 001 | データを送信した時間・内容を表示<br>例）13時40分に1棟の315号室に「火災発生」を送信 |
| [消] | 年 月 日 / 時 分 / 棟 号室 / コードNo | 画面表示を消去する |

設定コード
(1)RS232C端子に接続する通報機：[1][1]
(2)RS232C端子に接続する通報機：[2][1]

内容については下記一覧表を参照してください。

●続けて[▼]を押すと次の送信データを表示します。このとき、前に表示していた送信データと次に表示した送信データの年月日が同じ場合、年月日表示はせず、時間・内容を表示します。
●[▼]を押してすべての送信データを表示すると、最初の送信データ表示に戻ります。

表示する内容

| 発生 | | 復旧 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成功 | 失敗 | 成功 | 失敗 | リモートプロトコル | HPCプロトコル | HKOSプロトコル | 大興プロトコル | 岩通アイセックプロトコル |
| 001 | 901 | 051 | 951 | 火 災 | 火 災 | 火 災 | 火 災 | 火 災 |
| 002 | 902 | 052 | 952 | ガ ス | ガ ス | ガ ス | ガ ス | ガ ス |
| 003 | 903 | 053 | 953 | 非 常 | 非 常 | 非 常 | 非 常 | 非 常 |
| 004 | 904 | 054 | 954 | 防 犯 | 防 犯 | 防 犯 | 防 犯 | 防 犯 |
| 005 | 905 | 055 | 955 | 水 も れ | 水 も れ | 水 も れ | 水 も れ | 水 も れ |
| 006 | 906 | 056 | 956 | 緊急コール | 緊急コール | 緊急コール | 緊急コール | 緊急コール |
| 007 | 907 | 057 | 957 | 火災回路断線 | 火災回路断線 | 火災回路断線 | 火災回路断線 | 火災回路断線・ガス機器異常 |
| 008 | 908 | 058 | 958 | ガス機器異常 | ガス機器異常 | ガス機器異常 | ガス機器異常 | — |
| 009 | 909 | 059 | 959 | 防犯セット・リセット | — | 防犯セット・リセット | 防犯セット・リセット | — |
| 010 | 910 | 060 | 960 | 不完全燃焼(CO) | 不完全燃焼(CO) | 不完全燃焼(CO) | 不完全燃焼(CO) | — |
| 011 | 911 | — | | — | — | 戸外点検発報 | — | — |
| 013 | 913 | 063 | 963 | 住戸電源断 | — | — | 住戸電源断 | — |
| 014 | 914 | — | | — | — | お世話通報 | — | — |
| 015 | 915 | 065 | 965 | 宅配登録・削除 | — | — | — | — |

## ■現在時刻の確認方法

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
| --- | --- | --- |
| 6 0 確認 | 年 月 日<br>061102<br>時 分<br>棟 号室 コードNo<br>1340 | ●設定コードを入力し、確認を押す<br>●現在の時刻を表示<br>例）2006年11月2日<br>13時40分 |
| 消 | 年 月 日<br>時 分<br>棟 号室 コードNo | 画面表示を消去する |

## ■プロトコル設定の確認方法

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
| --- | --- | --- |
| 7 2 確認 | 年 月 日<br>72 100<br>時 分<br>棟 号室 コードNo<br>400 232 | ●設定コードを入力し、確認を押す<br>●現在設定されているプロトコルを表示<br>上段：(1)RS232C端子のプロトコル設定<br>下段：(2)RS232C端子のプロトコル設定 |
| 消 | 年 月 日<br>時 分<br>棟 号室 コードNo | 画面表示を消去する |

プロトコル設定内容については、下記のようになります。
100：リモートプロコトル
200：HPプロコトル
300：HKOSプロコトル
400：大興プロコトル
500：岩通アイセック
プロコトル

## ■送信設定内容確認方法

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
| --- | --- | --- |
| 8 0 確認 | 年 月 日<br>80- 1<br>時 分<br>棟 号室 コードNo<br>101010 10 | ●設定コードを入力し、確認を押す<br>●(1)RS232C端子の現在の送信設定内容を表示 |
| ▼ | 年 月 日<br>80-2<br>時 分<br>棟 号室 コードNo<br>101010 10 | (2)RS232C端子の現在の送信設定内容を表示 |
| 消 | 年 月 日<br>時 分<br>棟 号室 コードNo | 画面表示を消去する |

送信設定内容については、設定マニュアルの「インターフェース盤(RS232C用)編」を参照。

# インターフェース盤(RS422用)

## ■受信データの確認方法

●プロトコル設定が宅配ボックス(フルタイム仕様)の場合

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
|---|---|---|
| 1 1 確認 | 年月日: 061102 / 時分 / 棟 号室: (空) / コードNo: (空) | ●設定コードを入力し、確認を押す<br>●最新のデータを受信した年月日を表示<br>例）2006年11月2日 |
| ▼ | 年月日: --1730 / 時分 / 棟 号室: 010315 / コードNo: oFF | データを受信した時間・内容を表示<br>例）17時30分に1棟315号室の宅配物の登録削除（宅配灯が消灯） |
| ▼ | 年月日: --1730 / 時分 / 棟 号室: ------ / コードNo: 003 | 例）宅配ボックス3番から宅配物を出庫 |
| ▼ | 年月日: --1340 / 時分 / 棟 号室: 010315 / コードNo: on | 例）13時40分に1棟315号室に宅配物が登録（宅配灯が点灯） |
| ▼ | 年月日: --1340 / 時分 / 棟 号室: 010315 / コードNo: 003 | 例）宅配ボックス3番に宅配物を入庫 |
| 消 | 年月日: (空) / 時分 / 棟 号室: (空) / コードNo: (空) | 画面表示を消去する |

設定コード
(1)RS422端子：1 1
(2)RS422端子：2 1

内容
oFF：宅配物が登録削除されたとき
on：宅配物が登録されたとき
003：宅配ボックス番号

●続けて▼を押すと次の受信データを表示します。このとき、前に表示していた受信データと次に表示した受信データの年月日が同じ場合、年月日表示はせず、時間・内容を表示します。
●▼を押してすべての受信データを表示すると、最初の受信データ表示に戻ります。

## ●プロトコル設定が宅配ボックス(クリナップ仕様)の場合

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
|---|---|---|
| 1 1 確認 | 年月日 061102 / 時分 / 棟 号室 / コードNo | ●設定コードを入力し、確認を押す<br>●最新のデータを受信した年月日を表示<br>例) 2006年11月2日 |
| ▼ | 年月日 --1730 / 時分 / 棟 号室 010315 / コードNo oFF | データを受信した時間・内容を表示<br>例) 17時30分に1棟315号室の宅配物の登録削除(宅配灯が消灯) |
| ▼ | 年月日 --1730 / 時分 / 棟 号室 010315 / コードNo 000 | 例) 1棟315号室の宅配物を出庫 |
| ▼ | 年月日 --1340 / 時分 / 棟 号室 010315 / コードNo on | 例) 13時40分に1棟315号室に宅配物が登録(宅配灯が点灯) |
| ▼ | 年月日 --1340 / 時分 / 棟 号室 010315 / コードNo 001 | 例) 1棟315号室の宅配物を入庫 |
| 消 | 年月日 / 時分 / 棟 号室 / コードNo | 画面表示を消去する |

設定コード
(1)RS422端子: 1 1
(2)RS422端子: 2 1

内容
oFF: 宅配物が登録削除されたとき
on: 宅配物が登録されたとき
000: 宅配物出庫
001: 宅配物入庫

●続けて▼を押すと次の受信データを表示します。このとき、前に表示していた受信データと次に表示した受信データの年月日が同じ場合、年月日表示はせず、時間・内容を表示します。
●▼を押してすべての受信データを表示すると、最初の受信データ表示に戻ります。

## ●プロトコル設定がID照合装置連動・エレベーター連動の場合

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
|---|---|---|
| 1 1 確認 | 年月日 061102 / 時分 / 棟 号室 / コードNo | ●設定コードを入力し、確認を押す<br>●最新のデータを受信した年月日を表示<br>例) 2006年11月2日 |
| ▼ | 年月日 --1340 / 時分 / 棟 号室 010315 / コードNo 012 | データを受信した時間・内容を表示<br>例) 13時40分に1棟315号室の人がゲート番号1で非接解キーのキー番号2を使用 |
| 消 | 年月日 / 時分 / 棟 号室 / コードNo | 画面表示を消去する |

設定コード
(1)RS422端子: 1 1
(2)RS422端子: 2 1

内容
012
非接触キーのキー番号
ID照合受信器のゲート番号

●続けて▼を押すと次の受信データを表示します。このとき、前に表示していた受信データと次に表示した受信データの年月日が同じ場合、年月日表示はせず、時間・内容を表示します。
●▼を押してすべての受信データを表示すると、最初の受信データ表示に戻ります。

## ■送信データの確認

●プロトコル設定がエレベーター連動設定の場合

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
| --- | --- | --- |
| [1] [2] [確認] | 年月日: 061102 / 時分 / 棟 号室: (空白) / コードNo: (空白) | ●設定コードを入力し、[確認]を押す<br>●最新のデータを送信した年月日を表示<br>例）2006年11月2日 |
| [▼] | 年月日: - - 1340 / 時分 / 棟 号室: 010315 / コードNo: 001 | データを送信した時間・内容を表示<br>例）13時40分に1棟315号室からロビー番号1の共同玄関解錠送信成功 |
| [消] | 年月日: (空白) / 時分 / 棟 号室: (空白) / コードNo: (空白) | 画面表示を消去する |

設定コード
(1)RS422端子： [1] [2]
(2)RS422端子： [2] [2]

内 容
0□□：住戸からの共同玄関解錠 **送信成功**
5□□：住戸からの共同玄関解錠 **送信失敗**
1□□：警報監視盤による共同玄関解錠 **送信成功**
6□□：警報監視盤による共同玄関解錠 **送信失敗**
2□□：暗証番号による共同玄関解錠 **送信成功**
7□□：暗証番号による共同玄関解錠 **送信失敗**

●□はロビー番号を表示します。
●送信成功とは、エレベーターシステムに正常に要求を出したことを示します。

●続けて[▼]を押すと次の送信データを表示します。このとき、前に表示していた送信データと次に表示した送信データの年月日が同じ場合、年月日表示はせず、時間・内容を表示します。
●[▼]を押してすべての送信データを表示すると、最初の送信データ表示に戻ります。

## ■現在時刻の確認方法

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
| --- | --- | --- |
| [6] [0] [確認] | 年月日: 061102 / 時分 / 棟 号室: 1340 / コードNo: (空白) | ●設定コードを入力し、[確認]を押す<br>●現在の時刻を表示<br>例）2006年11月2日<br>13時40分 |
| [消] | 年月日: (空白) / 時分 / 棟 号室: (空白) / コードNo: (空白) | 画面表示を消去する |

## ■プロトコル設定の確認方法

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
|---|---|---|
| [7] [2] [確認] | 年月日：72 100<br>時分<br>棟 号室：300　コードNo：422 | ●設定コードを入力し、[確認]を押す<br>●現在設定されているプロトコルを表示<br>上段：(1)RS422端子のプロトコル設定<br>下段：(2)RS422端子のプロトコル設定 |
| [消] | 年月日：<br>時分<br>棟 号室：　コードNo： | 画面表示を消去する |

プロトコル設定内容については、下記のようになります。

100：宅配ボックス（フルタイム仕様）
200：宅配ボックス（クリナップ仕様）
300：ID照合装置連動
400：エレベーター連動

## ■ゲート番号設定の確認方法

| テンキー操作 | 表示 | 操作説明 |
|---|---|---|
| [8] [1] [確認] | 年月日：81<br>時分<br>棟 号室：01　01　コードNo：<br>ゲート番号　ロビー番号 | ●設定コードを入力し、[確認]を押す<br>●現在設定されているゲート番号とロビー番号の対応を表示<br>(例) ゲート番号1とロビー番号1が連動します。 |
| [▲]または[▼] | 年月日：81<br>時分<br>棟 号室：02　02　コードNo： | 次または前のゲート番号を表示<br>例) [▼]を押した場合<br>●ゲート番号2とロビー番号2が連動します。 |
| [消] | 年月日：<br>時分<br>棟 号室：　コードNo： | 画面表示を消去する |

設定コード

(1)RS422端子：[8] [1]
(2)RS422端子：[8] [2]

ゲート番号設定内容については、設定マニュアルの「インターフェース盤(RS422用)編」を参照。

## ■点検モードにおける動作確認方法

●点検モードにすることにより、宅配システム・ID照合システム・エレベーターシステムが接続されていない場合でも、動作確認ができます。各項目とも正常に動作すると表示がでます。

注 点検モードに入ると、通信履歴・宅配情報は消去されます。

| 点検内容 | | 操作方法 |
|---|---|---|
| 宅配動作確認 | 宅配登録 | 住戸番号＋▲ |
| | 宅配登録削除 | 住戸番号＋▼ |
| ID照合動作確認 | | 住戸番号＋設定＋非接解キーのキー番号＋0 0＋ロビー番号＋▲ |
| エレベーター連動動作確認 ※ | エレベーター呼び出し | 住戸番号＋設定＋0 0＋付加コード(0 0)＋出力ポート(1または2)＋▼ |
| | 住戸による共同玄関解錠 | 住戸番号＋設定＋ロビー番号＋付加コード(0 0)＋出力ポート(1または2)＋▼ |
| | 警報監視盤による共同玄関解錠 | 0 0 0 0 0＋設定＋ロビー番号＋付加コード(0 1)＋出力ポート(1または2)＋▼ |
| | 暗証番号による共同玄関解錠 | 0 0 0 0 0＋設定＋ロビー番号＋付加コード(0 2)＋出力ポート(1または2)＋▼ |

※ ●付加コードは下記のように決められています。

| 項　目 | 付加コード | 項　目 | 付加コード |
|---|---|---|---|
| エレベーター呼び出し | 00 | 警報監視盤による共同玄関解錠 | 01 |
| 住戸による共同玄関解錠 | | 暗証番号による共同玄関解錠 | 02 |

●出力ポートは、宅配ボックスなどを接続しているRS422端子の番号を入力してください。
(1)RS422端子に接続している場合：出力ポート1／(2)RS422端子に接続している場合：出力ポート2

## 1 宅配動作確認

| 項　目 | 操作説明 | 表　示　窓 |
|---|---|---|
| 点検モードに入る | ❶ ＊と確認を同時に3秒以上押す | 年 月 日: - - - - - - ／ 時 分 ／ 棟 号室: (空白) ／ コードNo: (空白) |
| 宅配登録 | ❶ 住戸番号(3～5ケタ)を入力する<br>❷ ▲を押す<br>例) 2 0 3 1 5 ▲ (2棟315号室) | 年 月 日: - - - - - - ／ 時 分 ／ 棟 号室: 203 15 ／ コードNo: on |
| 宅配登録削除 | ❶ 住戸番号(3～5ケタ)を入力する<br>❷ ▼を押す<br>例) 2 0 3 1 5 ▼ (2棟315号室) | 年 月 日: - - - - - - ／ 時 分 ／ 棟 号室: 203 15 ／ コードNo: oFF |
| 点検モードを抜ける | ❶ ＊と確認を同時に3秒以上押す | 年 月 日: (空白) ／ 時 分 ／ 棟 号室: (空白) ／ コードNo: (空白) |

## 2 ID照合動作確認

| 項目 | 操作説明 | 表示窓 |
|---|---|---|
| 点検モードに入る | ❶ [＊]と[確認]を同時に3秒以上押す | 年月日: ------ 時分 / 棟号室: (空欄) / コードNo: (空欄) |
| ID照合 | ❶ 住戸番号(3～5ケタ)を入力する<br>❷ [設定]を押す<br>例) [2][0][3][1][5][設定] (2棟315号室) | 年月日: 20315 時分 / 棟号室: (空欄) / コードNo: --- |
| | ❶ 非接触キーのキー番号([0]～[9])を入力する<br>❷ [0][0]を入力する<br>❸ ロビー番号([0][1]～[5][6])を入力する<br>❹ [▲]を押す<br>例) [0][0][0][0][1][▲] (キー番号：0) | 年月日: 20315 時分 / 棟号室: 00001 / コードNo: on |
| 点検モードを抜ける | ❶ [＊]と[確認]を同時に3秒以上押す | 年月日: (空欄) 時分 / 棟号室: (空欄) / コードNo: (空欄) |

## 3 エレベーター連動動作確認

| 項目 | 操作説明 | 表示窓 |
|---|---|---|
| 点検モードに入る | ❶ [＊]と[確認]を同時に3秒以上押す | 年月日: ------ 時分 / 棟号室: (空欄) / コードNo: (空欄) |
| エレベーター呼出 | ❶ 住戸番号(3～5ケタ)を入力する<br>❷ [設定]を押す<br>例) [2][0][3][1][5][設定] (2棟315号室) | 年月日: 20315 時分 / 棟号室: (空欄) / コードNo: --- |
| | ❶ [0][0]を入力する<br>❷ 付加コード([0][0])を入力する<br>❸ 出力ポート([1]または[2])を入力する<br>❹ [▼]を押す<br>例) [0][0][0][0][1][▼] | 年月日: 20315 時分 / 棟号室: 00001 / コードNo: on |
| 住戸による共同玄関解錠 | ❶ 住戸番号(3～5ケタ)を入力する<br>❷ [設定]を押す<br>例) [2][0][3][1][5][設定] (2棟315号室) | 年月日: 20315 時分 / 棟号室: (空欄) / コードNo: --- |
| | ❶ ロビー番号([0][1]～[5][6])を入力する<br>❷ 付加コード([0][0])を入力する<br>❸ 出力ポート([1]または[2])を入力する<br>❹ [▼]を押す<br>例) [0][1][0][0][1][▼] | 年月日: 20315 時分 / 棟号室: 01001 / コードNo: on |

## 4 エレベーター連動動作確認

| 項目 | 操作説明 | 表示窓 |
|---|---|---|
| 警報監視盤による共同玄関解錠 | ❶ [0][0][0][0][0]を入力する<br>❷ [設定]を押す | 年月日 000000 時分<br>棟 号室 (空白)<br>コードNo - - - |
| | ❶ ロビー番号([0][1]~[5][6])を入力する<br>❷ 付加コード([0][1])を入力する<br>❸ 出力ポート([1]または[2])を入力する<br>❹ [▼]を押す<br>例)[0][1][0][1][1][▼] | 年月日 000000 時分<br>棟 号室 01011<br>コードNo on |
| 暗証番号による共同玄関解錠 | ❶ [0][0][0][0][0]を入力する<br>❷ [設定]を押す | 年月日 000000 時分<br>棟 号室 (空白)<br>コードNo - - - |
| | ❶ ロビー番号([0][1]~[5][6])を入力する<br>❷ 付加コード([0][2])を入力する<br>❸ 出力ポート([1]または[2])を入力する<br>❹ [▼]を押す<br>例)[0][1][0][2][1][▼] | 年月日 000000 時分<br>棟 号室 01021<br>コードNo on |
| 点検モードを抜ける | ❶ [*]と[確認]を同時に3秒以上押す | 年月日 (空白) 時分<br>棟 号室 (空白)<br>コードNo (空白) |

# 仕　様

|  | 警報監視盤 | 副警報監視盤 |
|---|---|---|
|  | SHV4012・SHV4022・SHV4032 | SHV40101 |
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz | AC22V 50/60Hz |
| 消費電力(100端末使用時) | 通常時：33W　警報時最大：100W | ー |
| 消費電流 | ー | 通常時：250mA　警報時最大：700mA |
| 通話方式 | 受話器による同時通話 |  |
| 使用周囲温度 | 0℃～+40℃ |  |
| 呼出音 | 65dB以上（前方1m）<br>●ポロロン（ロビーインターホン、住宅情報盤<br>警報監視盤または副警報監視盤からの呼出音）<br>●ピンポン（ドアホン子器からの呼出音） |  |
| 警報音 | 70dB以上（前方1m）<br>●ウーウー（火災）<br>●ピッピッ（ガスもれ・CO（不完全燃焼））<br>●ピーポー（非常・防犯・コール・漏水）<br>●ピー（感知器配線断線、ガス異常、住戸電源断、<br>伝送・CPU異常（警報監視盤のみ）、その他異常（副警報監視盤のみ）） |  |
| 寸法 | 高さ：約240mm　幅：約370mm　奥行：約103mm |  |
| 質量 | 約3.3kg | 約3kg |

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">カメラ付ロビーインターホン</th><th colspan="2">ロビーインターホン</th></tr>
<tr><th></th><th colspan="2">XSHV5111S・XSHV5111Y<br>XSHV5112S</th><th colspan="2">XSHV5011S・XSHV5011Y<br>XSHV5012S</th></tr>
<tr><td>電源電圧</td><td colspan="4">AC22V</td></tr>
<tr><td>消費電流</td><td colspan="2">動作時：AC1.2A 待機時：AC0.3A</td><td colspan="2">動作時：AC0.9A 待機時：AC0.3A</td></tr>
<tr><td>使用周囲温度</td><td colspan="4">－10℃～+50℃</td></tr>
<tr><td>寸法</td><td colspan="4">高さ：約400mm　幅：約300mm　奥行：約74mm<br>（商品取付時、壁面より16mm）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">質量</td><td>XSHV5111S/Y</td><td rowspan="2">約3kg<br>（アルミパネル）</td><td>XSHV5112S</td><td rowspan="2">約4kg<br>（ステンレスパネル）</td></tr>
<tr><td>XSHV5011S/Y</td><td>XSHV5012S</td></tr>
</table>

| | 通話・映像制御盤 | |
|---|---|---|
| | SHV2311 | SHV2312 |
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz | |
| 消費電力 | 待機時：2.5W<br>動作時：5 W<br>最大負荷時：10W | 待機時：4.5W<br>動作時：7.5W<br>最大負荷時：20W |
| 分配出力 | 4分配 | |
| DC出力<br>(2分配器電源用) | DC24V | 2出力<br>(通話・映像路A,B)<br>DC24V |
| 使用周囲温度 | 0℃～+40℃ | |
| 寸法 | 高さ：約325mm　幅：約350mm<br>奥行：約80mm | |
| 質量 | 約6kg | 約7kg |

| | カメラアダプター |
|---|---|
| | SHV2921 |
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz |
| 消費電力 | 待機時：6 W<br>最大負荷時：19W |
| カラーカメラ子器給電電圧 | 待機時：8.5 V<br>動作時：22.5V |
| 使用周囲温度 | 0℃～+40℃ |
| 寸法 | 高さ：約325mm　幅：約350mm<br>奥行：約80mm |
| 質量 | 約7kg |

| | 信号増幅器 |
|---|---|
| | SHV4911 |
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz |
| 消費電力 | 18W |
| 住宅情報盤接続台数 | 1系統につき100台まで |
| 使用周囲温度 | 0℃～+40℃ |
| 寸法 | 高さ：約350mm　幅：約400mm<br>奥行：約125mm |
| 質量 | 約13kg |

| | インターフェース盤 | |
|---|---|---|
| | SHV4211 | SHV4221 |
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz | |
| 消費電力 | 6W | |
| インターフェース | RS232C準拠 | RS422準拠 |
| 使用周囲温度 | 0℃～+40℃ | |
| 寸法 | 高さ：約325mm　幅：約350mm<br>奥行：約80mm | |
| 質量 | 約6kg | |

| | 映像増幅器(1出力) |
|---|---|
| | SHV2411 |
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz |
| 消費電力 | 2.2W |
| 出力信号 | 信号・通話・映像 |
| 使用周囲温度 | −10℃～+40℃ |
| 寸法 | 高さ：約200mm　幅：約100mm<br>奥行：約60mm |
| 質量 | 約0.5kg |

| | 映像増幅器(4出力) | |
|---|---|---|
| | SHV2441 | SHV2442 |
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz | |
| 消費電力 | 動作時：5 W<br>待機時：2.5W | 動作時：7.5W<br>待機時：4.5W |
| 分配出力 | 4分配 | |
| 使用周囲温度 | −10℃～+40℃ | |
| 寸法 | 高さ：約325mm　幅：約350mm<br>奥行：約80mm | |
| 質量 | 約6kg | 約7kg |

| | 4分岐器(パイプシャフト収納型) |
|---|---|
| | SHV2143 |
| 分岐器接続台数 | 25台(1系統当たりの直列接続時) |
| 分岐信号 | 信号・通話・映像 |
| 使用周囲温度 | −10℃〜+40℃ |
| 寸法 | 高さ:約180mm 幅:約78mm 奥行:約24mm |
| 質量 | 約0.2kg |

| | 2分配器(パイプシャフト収納型) | |
|---|---|---|
| | SHV2223 | SHV2224 |
| 分配器接続台数 | 2台(1系統当たりの直列接続時) | |
| 動作電源 | 通話・映像制御盤より供給(DC24V) | |
| 分配信号 | 信号・通話・映像 | |
| 使用周囲温度 | −10℃〜+40℃ | |
| 寸法 | 高さ:約160mm 幅:約78mm 奥行:約49mm | |
| 質量 | 約0.2kg | |

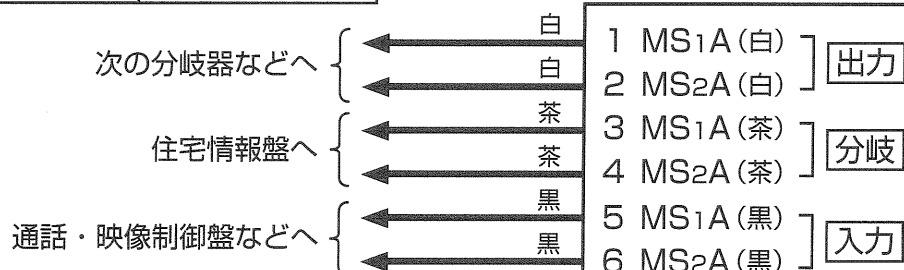
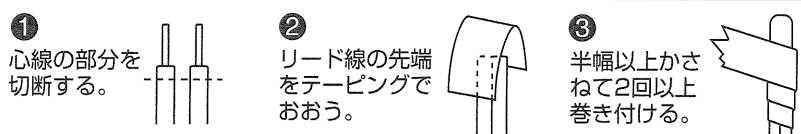
| | 1分岐器(パイプシャフト収納型) | |
|---|---|---|
| | SHV2113 | SHV2114 |
| 分岐器接続台数 | 25台(1系統当たりの直列接続時) | |
| 分岐信号 | 信号・通話・映像 | |
| 使用周囲温度 | −10℃〜+40℃ | |
| 寸法 | 高さ:約160mm 幅:約78mm 奥行:約49mm | |
| 質量 | 約0.2kg | |

| | 2分岐器(パイプシャフト収納型) | |
|---|---|---|
| | SHV2123 | SHV2124 |
| 分岐器接続台数 | 25台(1系統当たりの直列接続時) | |
| 分岐信号 | 信号・通話・映像 | |
| 使用周囲温度 | −10℃〜+40℃ | |
| 寸法 | 高さ:約180mm 幅:約78mm 奥行:約49mm | |
| 質量 | 約0.2kg | |

| | 1分岐器(ボックス収納型) | |
|---|---|---|
| | SHV2111 | SHV2112 |
| 分岐器接続台数 | 25台(1系統当たりの直列接続時) | |
| 分岐信号 | 信号・通話・映像 | |
| 使用周囲温度 | −10℃〜+50℃ | |
| 寸法 | 高さ:約71mm 幅:約45mm 奥行:約23mm | |
| 質量 | 約0.1kg | |

# 追加施工説明書

Vシリーズ用　1分岐器（小型・リード線タイプ）（1通話・1映像用）（ボックス収納型）（SHV2151）

## 配線方法

## ハンダ付け工法・圧着スリーブ工法

注

電線を接続する場合はハンダ付け工法か圧着スリーブ工法で処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。

### ハンダ付け工法

❶ 3回以上巻き付ける。

より線を巻き付ける
単線
より線

❷ 先端を曲げた後、ひげのでないようにハンダ付けする。

ハンダ付け

❸ 半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。

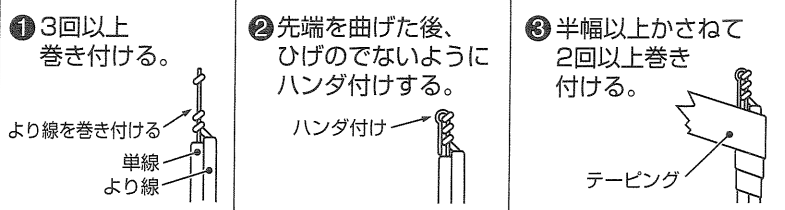
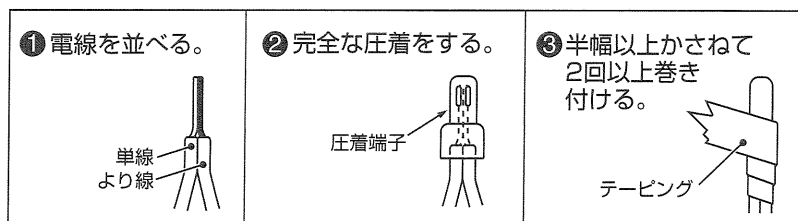
テーピング

### 圧着スリーブ工法

❶ 電線を並べる。

❷ 完全な圧着をする。

❸ 半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。

テーピング

## 仕　様

| 分岐器接続台数 | 25台（1系統当たり直列接続台数） |
|---|---|
| 分 岐 信 号 | 通話・映像 |
| 使用周囲温度 | －15℃～＋60℃ |
| 寸　　法 | 高さ：約53mm　幅：約21mm　奥行：約15mm |
| 質　　量 | 約20g |